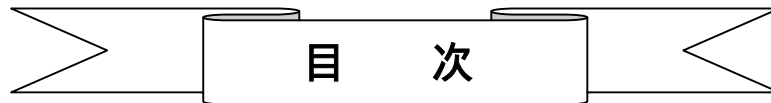


# 財務報告書

(平成25年度)

足立区 政策経営部

金額等は、表示単位未満の端数調整をしていないので、  
加減乗除した数値には一致しない場合があります。  
23区の平成25年度の数値は速報値です。



# 目次

1	平成25年度普通会計決算の状況	1
(1)	決算のまとめ	2
	実質収支比率	3
	経常収支比率	4
(2)	歳入のまとめ	5
(3)	歳出(性質別)のまとめ	9
	義務的経費	10
	投資的経費	14
	その他経費	15
(4)	歳出(目的別)のまとめ	16
(5)	将来の財政負担	18
	負債比率	18
	特別区債	19
	債務負担行為	22
	基金	23
(6)	その他	26
	性質別歳出の状況	26
	目的別性質別歳出の状況	27
	健全化判断比率	28
2	平成25年度特別会計決算の状況	29
(1)	国民健康保険特別会計	30
(2)	介護保険特別会計	32
(3)	後期高齢者医療特別会計	34
3	主要施策の成果報告	36
(1)	足立区の挑戦	36
(2)	主要事業一覧(分野別)	36
(3)	足立区の挑戦 成果報告	38
	孤立ゼロプロジェクト	38
	学びをつなぐ! 足立の教育	40
	体験で学ぶ! 学びの楽しさを発見!	42

ビューティフル・ウィンドウズ運動	44
区内企業・区民の「頑張る!」「挑む!」を応援します	46
大震災の発生 その日に備えて〔復興税関連事業〕	48
時代が求める公園への転換	50
(4) 主要事業 成果報告	52～99
(5) 復興税活用事業一覧表	100
4 主な施設の運営における経費と財源	101
・区民事務所	102
・足立区地域学習センター	103
・足立区立郷土博物館	104
・足立区総合スポーツセンター	105
・足立区立中央図書館	106
・足立区生物園	107
・足立区都市農業公園	108
・足立区花畑公園・桜花亭	109
・足立区立小学校	110
・足立区立中学校	111
・足立区立鋸南自然の家	112
・足立区立日光林間学園	113
・区立保育園	114
・ギャラクシティ（足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール）	115
5 主な事業における経費と財源	116
・子ども医療費助成事業	117
・障がい者自立支援給付費支給事業	118
・生活保護事業	119
・予防接種事業	120
・ごみ収集運搬事業	121
・児童・生徒の就学援助事業	122
・幼稚園等保護者補助事業	123

# 1 平成25年度普通会計決算の状況

## 【25年度決算の特徴】

財政規模は、歳入（収入）・歳出（支出）ともに24年度決算と比べ増加し、過去最大の財政規模となりました（P2参照）。

歳入は、財政調整交付金など使い方が特定されない財源（一般財源）、国庫支出金など使い方が特定された財源（特定財源）ともに増となりました（P5～8参照）。

歳出は、義務的経費において、人件費、公債費が減となったものの生活保護費などの扶助費が増えました（P9～17参照）。

財政構造の弾力性を表わす数値はかなり改善しましたが、財政の硬直化脱出まであと1.6ポイントです（P4参照）。

特別区債（区の借金）残高は、計画的な返済により減少していません（P13・19・20参照）。また、基金（区の貯金）は、積極的な活用と将来に備えた積立を行っています（P19・23～25参照）。

\*人口減少と少子高齢化が進む中、特に高齢化が急速に進行する見込みであり、福祉需要をはじめとする行政需要のさらなる増大と納税者人口の一層の減少が懸念されます。

\*市町村民税法人分が一部国税化されることでの財政調整交付金の減少が当区に大きな影響を及ぼすことが予想されます（P6 \*3参照）。

\*今後の状況変化を見据えて、施策の優先度を考慮し、事務事業の見直しや新たな財源の確保など様々な対策が必要です。

## 普通会計とは

「普通会計」とは、全国の地方公共団体の財務状況を比較するために、国の定める基準により各地方公共団体の会計を統一的に再構成したものです。

例えば、一般会計での目的別分類は足立区の場合、一番大きな分類での名称は総務費、民生費、環境衛生費・・・とあります。東京23区の中でもこの名称はさまざまで、区民生活費や保健福祉費、環境土木費など各区の特色に応じて名称がつけられ、分類されています。このため、各区の一般会計の分類のままでは、比較することができません。

全国の地方公共団体は、法律に基づいて一般会計を「普通会計」に統一して整理し、決算を総務省に提出しています。

< (1) 決算のまとめ >

## 平成 25 年度決算の全体像

25年度の決算額は、

歳入（収入）が2,630億18百万円

歳出（支出）が2,541億88百万円

歳入から歳出を単純に差引いた形式収支は、

88億30百万円の黒字

翌年度に繰り越すべき財源を差引いた実質収支は、

76億43百万円の黒字

財政調整基金への積立てと取り崩しなどを加えた実質単年度収支は、

26億円の黒字

### 普通会計決算総括表

単位：百万円

区 分	24 年度	25 年度	差引増減
歳 入 総 額	248,739	263,018	14,279
歳 出 総 額	242,010	254,188	12,178
歳入歳出差引額 (形式収支)	6,728	8,830	2,102
翌年度へ繰り越すべき財源	826	1,187	361
実 質 収 支	5,902	7,643	1,741
単 年 度 収 支	2,280	1,741	4,021
実 質 単 年 度 収 支	6,360	2,600	8,960

## 実質収支比率は引き続き適正な水準の範囲内に

「実質収支比率」とは、実質収支額の標準財政規模に対する比率です。その自治体の規模に合わせた純粋な収支の比率を表し、多すぎても少なすぎても良いというものではなく、3%～5%程度が望ましい水準とされています。

足立区の場合、年度によって増減はありますが、概ね望ましい範囲内で推移しており、財政運営の健全性は維持されていると言えます。

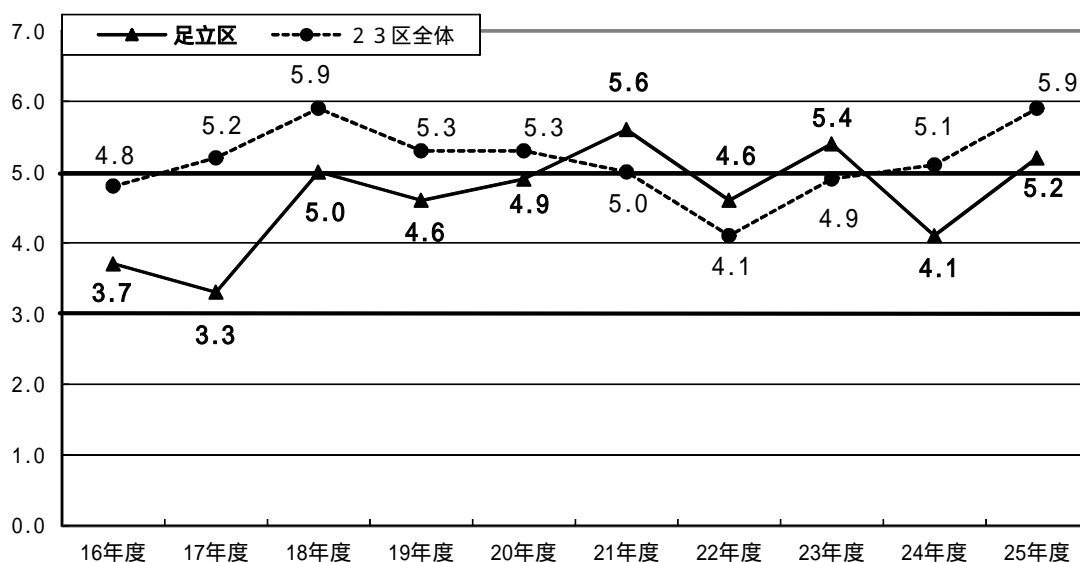
実質収支比率は5.2%で、前年度より1.1ポイント増加

5%を若干上回りましたが、ほぼ適性水準にあります。

23区全体の実質収支比率は5.9%

### 実質収支比率の推移

単位：%



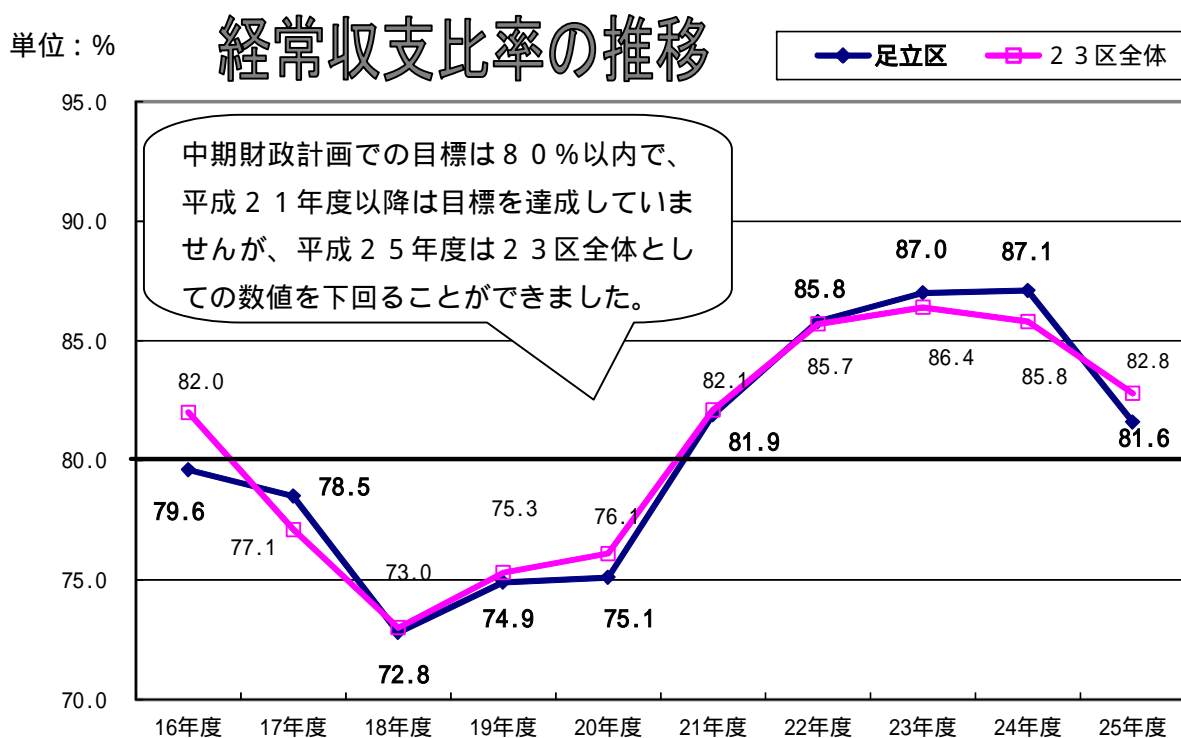
< (1) 決算 経常収支比率 >

## 財政の硬直化は改善傾向（経常収支比率 81.6%）

「経常収支比率」とは、定期的な収入のうち必ず支払う経費（生活保護費等の扶助費、職員の人件費、特別区債の返済にあてる公債費等）の割合を示したもので、財政構造の弾力性を測定する指標です。

25年度の経常収支比率は81.6%（黄色信号は薄くなり、硬直化脱出まであと1.6ポイントとなりました）

前年度経常収支比率87.1%から5.5ポイント減少、5年連続で80%を超過減少の主な要因 財政調整交付金・特別区税の増収、人件費・公債費の減少など



経常収支比率を家計に置き換えると

定期的に入ってくる収入（給与等）の中で、必ず支払う経費（家賃、光熱水費など）が占める割合を測る指標です。

経常収支比率が適正であれば、将来に備えて貯蓄をしたり、余裕のお金で趣味や旅行などを楽しんだりすることができます。

\* 経常収支比率は70%～80%が適正水準と考えられていて、都市部にあっては80%を超えると、その財政構造は弾力性を失いつつあると考えられます。



## 一般財源 96 億円増収、特定財源 46 億円増収

### - 財政調整交付金に依存する歳入 -

歳入は、次の2つに分類できます。

- (1) 一般財源 使い方が特定されず、どのような経費にも使用できる財源です。特別区税、財政調整交付金（P 6 参照）、地方譲与税などがあります。

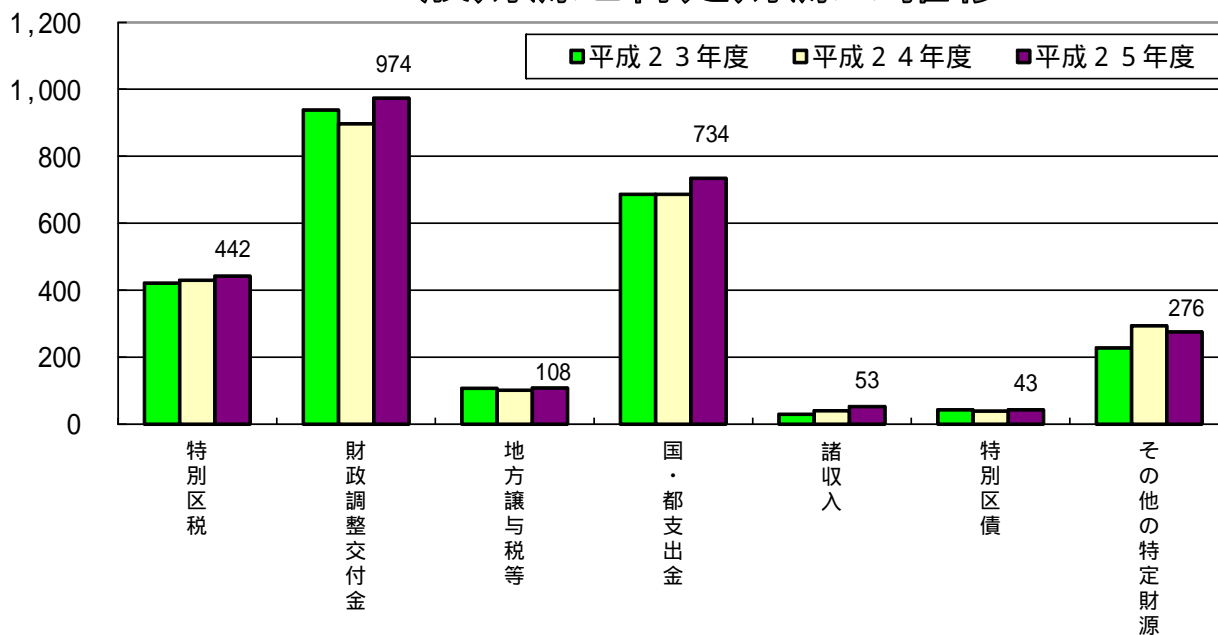
一般財源は 1,524 億円で、前年度に比べ 96 億円の増収  
歳入全体での構成比は 58.0% で前年度に比べ 0.6 ポイント増加  
増収の主な要因は、財政調整交付金 77 億円、特別区税 12 億円等

- (2) 特定財源 使い方が特定され、特定の経費にのみ使用できる財源です。国・都支出金、使用料、手数料、特別区債などがあります。

特定財源は 1,106 億円で、前年度に比べ 46 億円の増収  
歳入全体の構成比は 42.0% で前年度に比べ 0.6 ポイント減少  
増収の主な要因は、国庫支出金 37 億円、諸収入 14 億円、都道府県支出金 10 億円等の増収による

単位：億円

### 一般財源と特定財源の推移

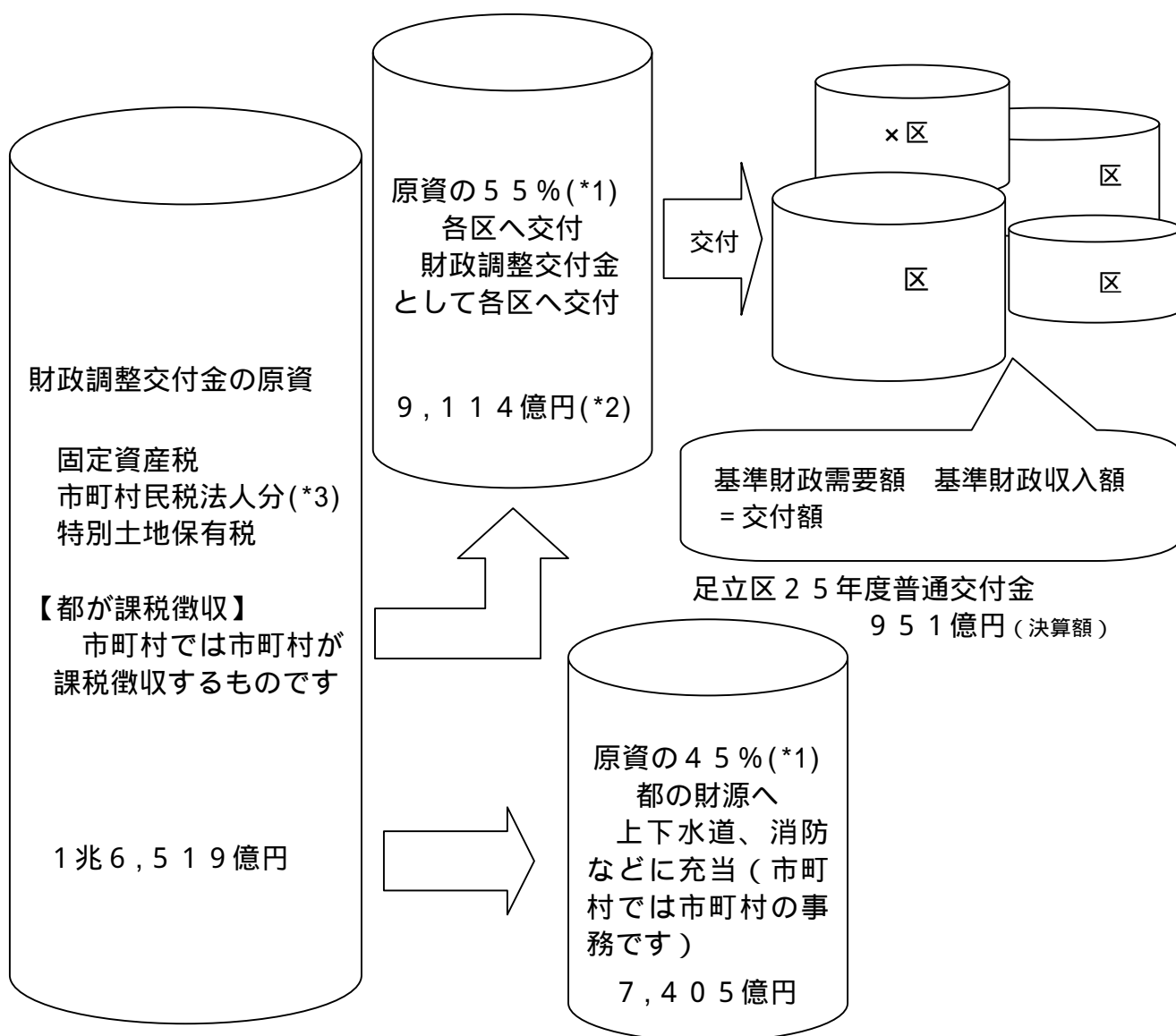


← 一般財源 | 特定財源 →

## 都区財政調整交付金のしくみ

「都区財政調整制度」とは、人口が集中する大都市地域における一体的・統一的なサービスの提供のために、23区と東京都の間で財源を調整するしくみです。

23区内で標準的な行政のサービスを提供するために、必要な費用（基準財政需要額）を人口など各区の状況に合わせて算定し、各区の基準財政収入額（23区共通の標準的な収入で算定）を差し引いて、不足がある場合に普通交付金として各区に交付されています。足立区には不可欠の財源です。



\*1 平成19年度から、区の財源は52%から55%、都の財源は48%から45%に改正されました。図中の数字は25年度フレームに基づく数値です。

\*2 9,114億円には、平成23年度分の精算額28億円を含む。

\*3 平成26年度税制改正大綱により、市町村民税法人分が一部国税化となります。財政調整交付金の原資である市町村民税法人分が減少することにより、今後、区に年数十億規模の大きな影響を及ぼすと見込まれます。

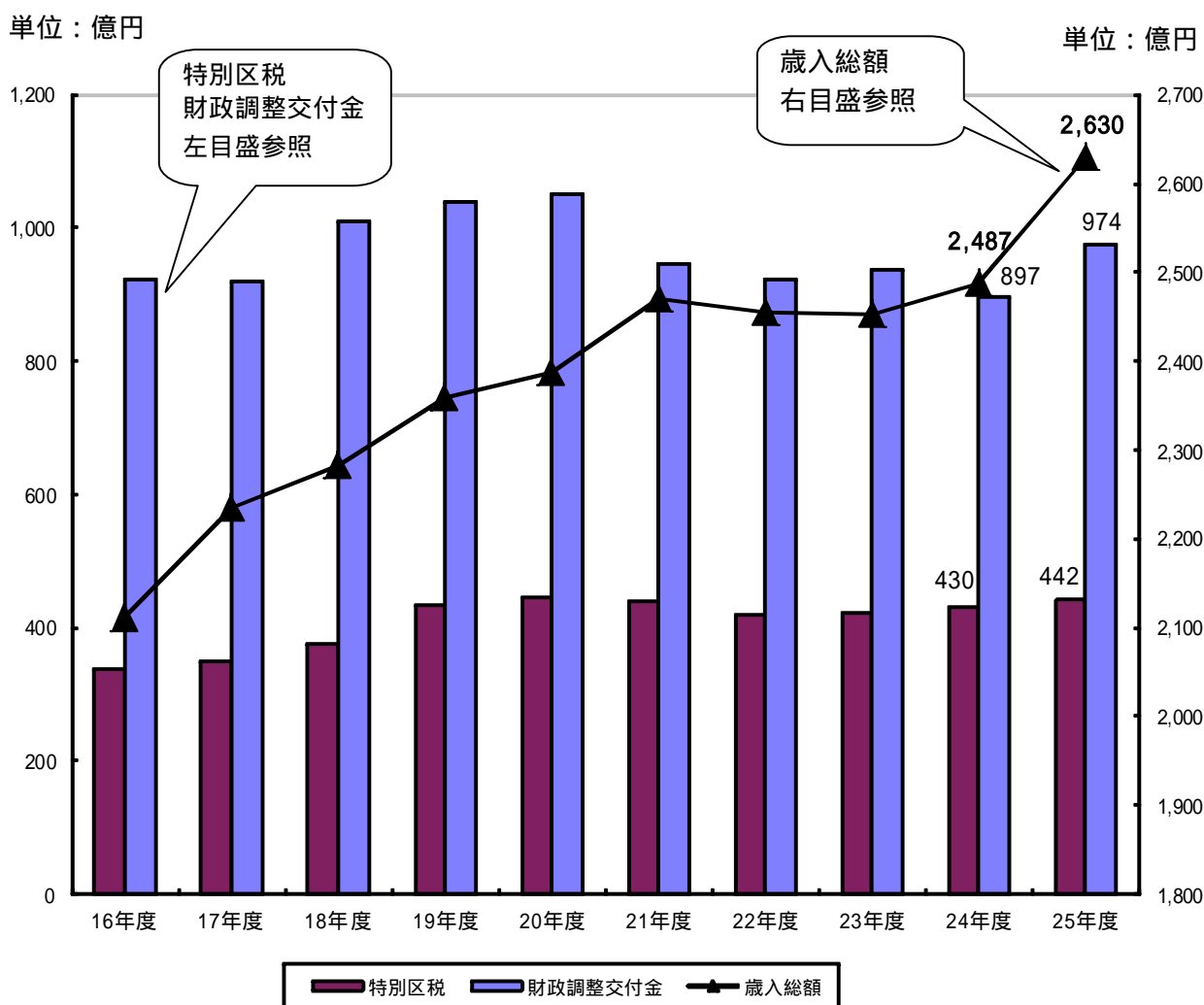
## 依然厳しい自主財源の確保

特別区税は、納税義務者数の増加等により12億円の増  
 歳入総額は、財政調整交付金77億円、国庫支出金38億円、諸収入14億円、  
 特別区税12億円等の増収により、前年度と比較して143億円の増収  
 自主財源（注1）の根幹である特別区税（注2）はここ数年増加傾向にあり  
 ますが、歳入総額に占める割合は16.8%と依然として低く、財政調整交付金  
 に依存せざるを得ない状況

注1 「自主財源」とは、足立区が独自に調達する財源で、特別区税、保育所費などの負担金、施設使用料などを指します。

注2 特別区税は所得によって税額が決定される特別区民税、種別によって課税される軽自動車税、特別区たばこ税の合計です。

### 歳入総額と特別区税・財政調整交付金の推移



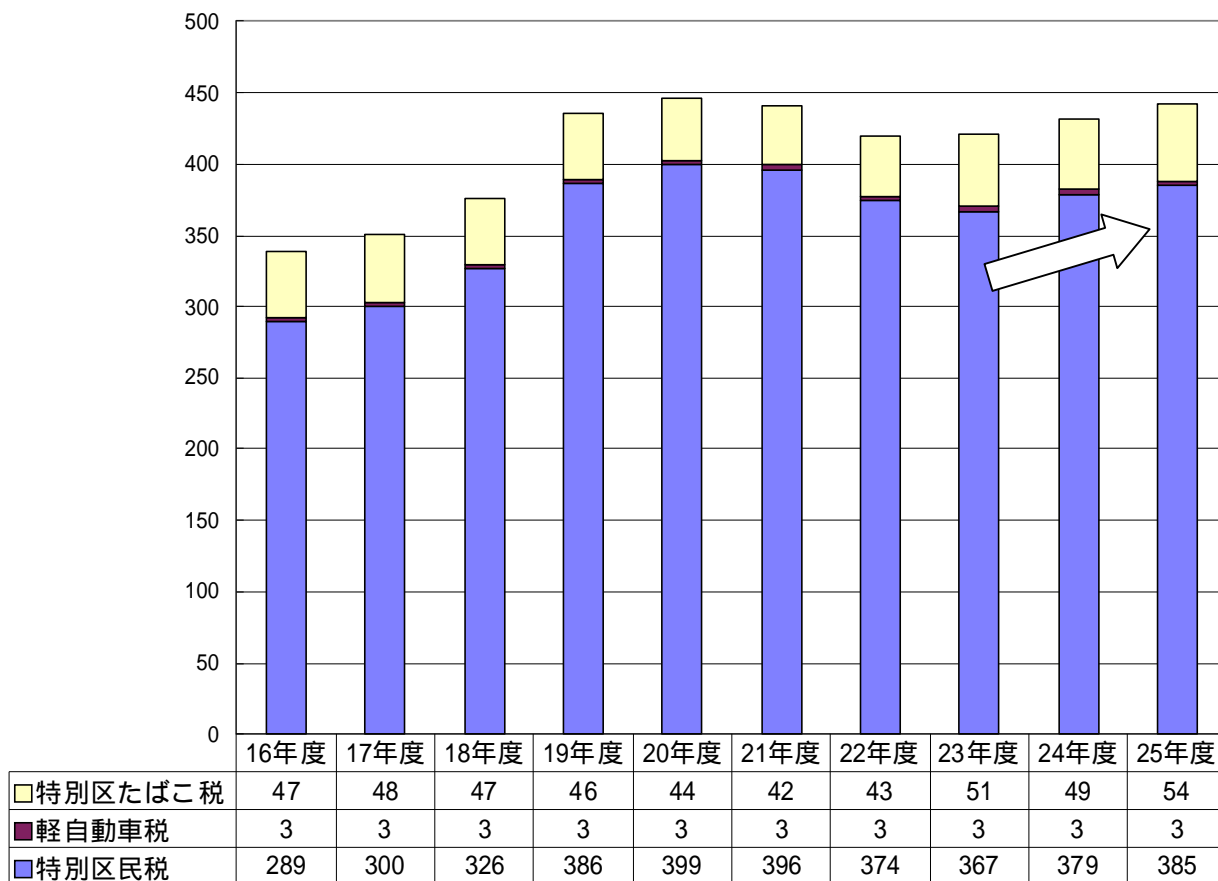
< (2) 歳入のまとめ >

## 特別区税は増収

特別区税は、特別区民税が6億円、特別区たばこ税が5億円の増収  
 全体としては対前年度比2.7%の増  
 特別区民税の徴収率は、88.7%（対前年度比0.5ポイント増）  
 その内訳は  
 現年課税分が96.5%（対前年度比0.2ポイント増）  
 滞納繰越分は23.3%（対前年度比1.4ポイント増）

単位：億円

### 特別区税収入の推移



特別区民税の増収の主な要因は、納税義務者数の増加(308,400人→313,026人)等によるものです。近年では、拠点開発などによる担税力のある転入者の増加や景気の動向により、少しずつ上向いてきました。

## 義務的経費はやや減少

歳出を性質別に分類すると、義務的経費、投資的経費、その他の経費の3つに分類できます。

### 義務的経費

人件費（職員給与等）、扶助費（生活保護費等）、公債費（借金である特別区債の返済にあてる経費）で、性質上容易に削減できない経費

### 投資的経費

道路、学校、公共施設の建設や用地購入など社会資本の形成に投入する経費

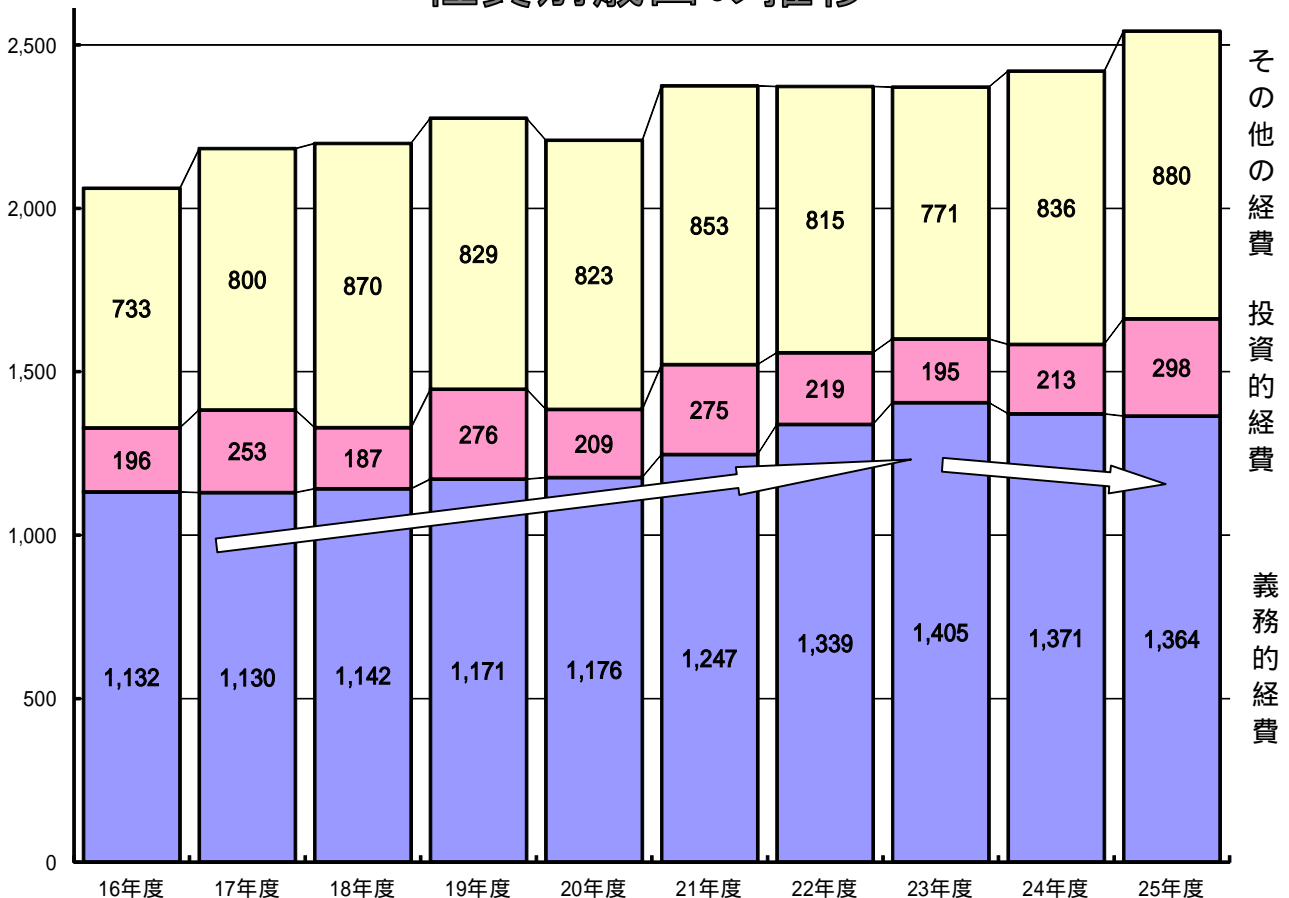
### その他の経費

義務的経費と投資的経費以外の経費

義務的経費は、平成23年度をピークに抑制され、投資的経費・その他経費が増加しています。義務的経費の歳出全体に占める割合も53.7%と前年度に比べ、3.0ポイント減少し、財政の硬直化がやや改善しています。

単位：億円

## 性質別歳出の推移



平成23年度は、大口（59億円）の満期一括償還があったため、公債費が一時的に大きく伸びました。

< (3) 歳出(性質別) 義務的経費 >

## 支出の半分以上を占める義務的経費

職員給与、議員報酬、附属機関委員報酬等の人件費は、前年度に比べ8億円減額  
生活保護費等の扶助費は11億円増額(P12参照)

区の借金である特別区債の返済にあてる公債費は9億円減額

合計で6億円の減額

支出に占める義務的経費の構成比は53.7%

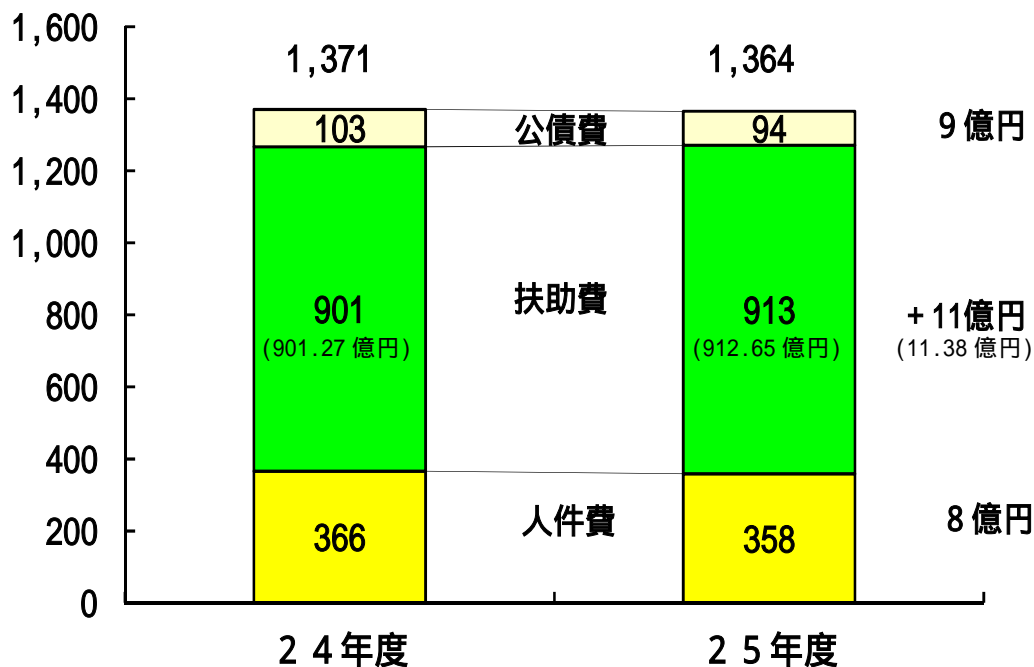
昨年度に比べ3.0ポイント減少

23区の状況は

義務的経費の構成比平均	51.4% (昨年度より1.0ポイント減少)
最小値	31.8%
最大値	60.9%

## 義務的経費の内訳

単位：億円



## 人件費比率はさらに1.0ポイント下降

義務的経費のうち人件費は、8億円減少

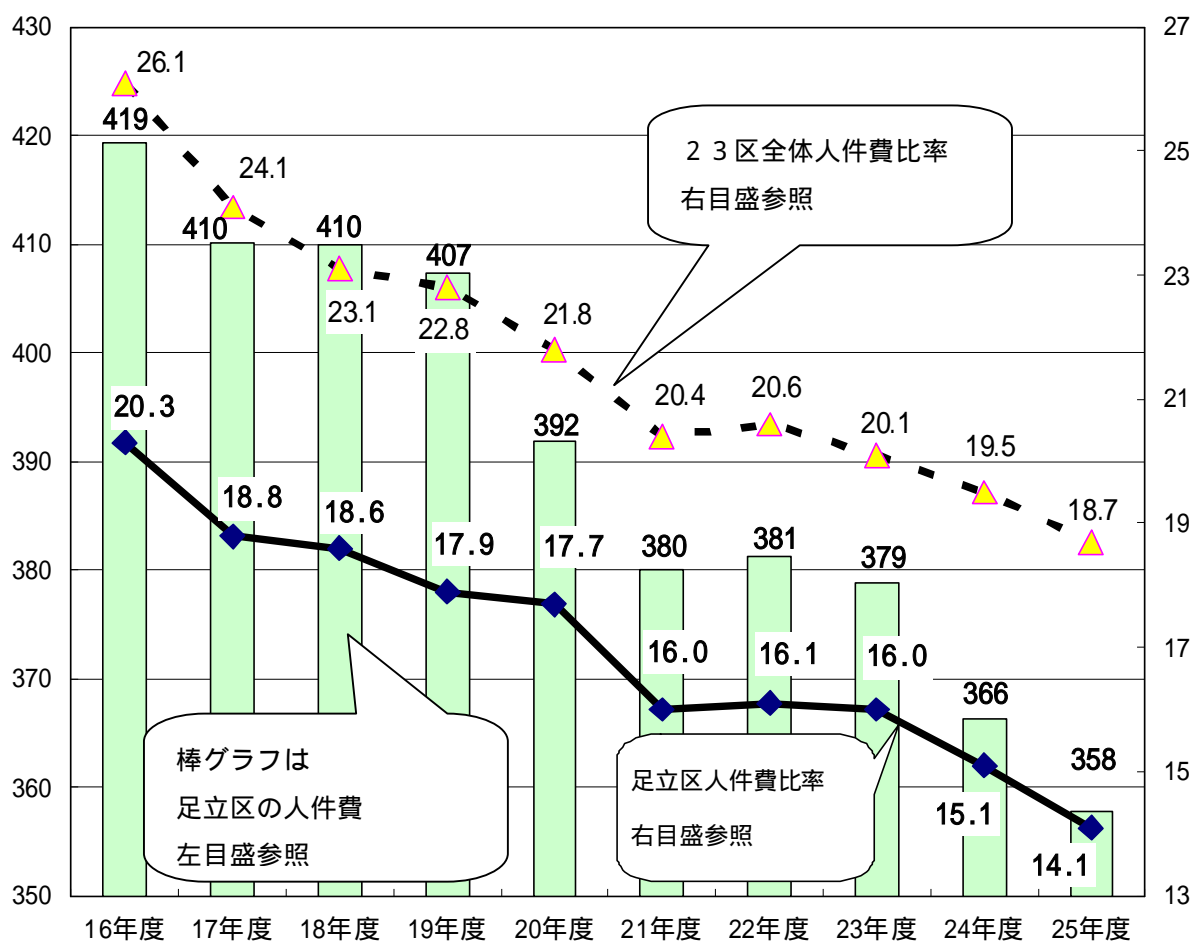
人件費の減少の主な要因は、職員給5億円減

歳出総額に占める割合(人件費比率)は、前年度に比べ1.0ポイント下降して、23区で一番低い14.1%となり、23区との差は4.6ポイントに広がっています。

### 人件費と人件費比率の推移

単位: 億円

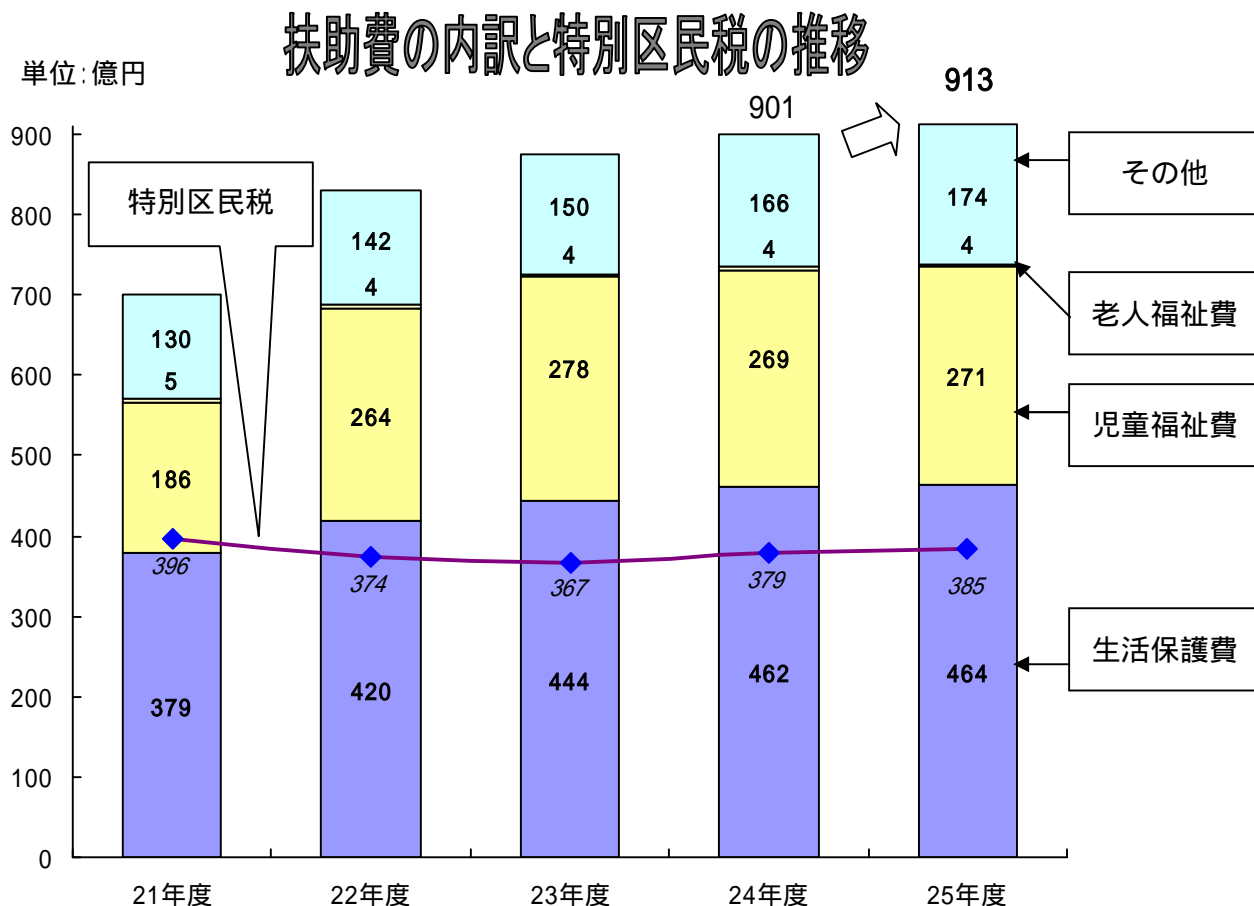
単位: %



< (3) 歳出(性質別) 義務的経費 >

## 扶助費は11億円の増加

生活保護費や児童手当等の扶助費は、913億円で前年度に比べ11億円(1.3%)の増加。特別区民税収入(385億円)の約2.4倍にあたります。



#### 生活保護費

生活保護受給者数・保護費いずれも伸びているが、伸び率は鈍化。

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
受給者数(人)	21,758	23,587	24,731	25,808	26,207
受給者増減率(%)	10.8	8.4	4.9	4.4	1.5

受給者数は各年度3月31日時点

#### 児童福祉費

児童手当106億円、私立保育園の運営費助成52億円、子ども医療費助成29億円、児童育成手当21億円 など

#### その他

障がい者自立支援給付107億円、心身障がい者福祉手当2億円、公害健康被害の補償等1億円 など



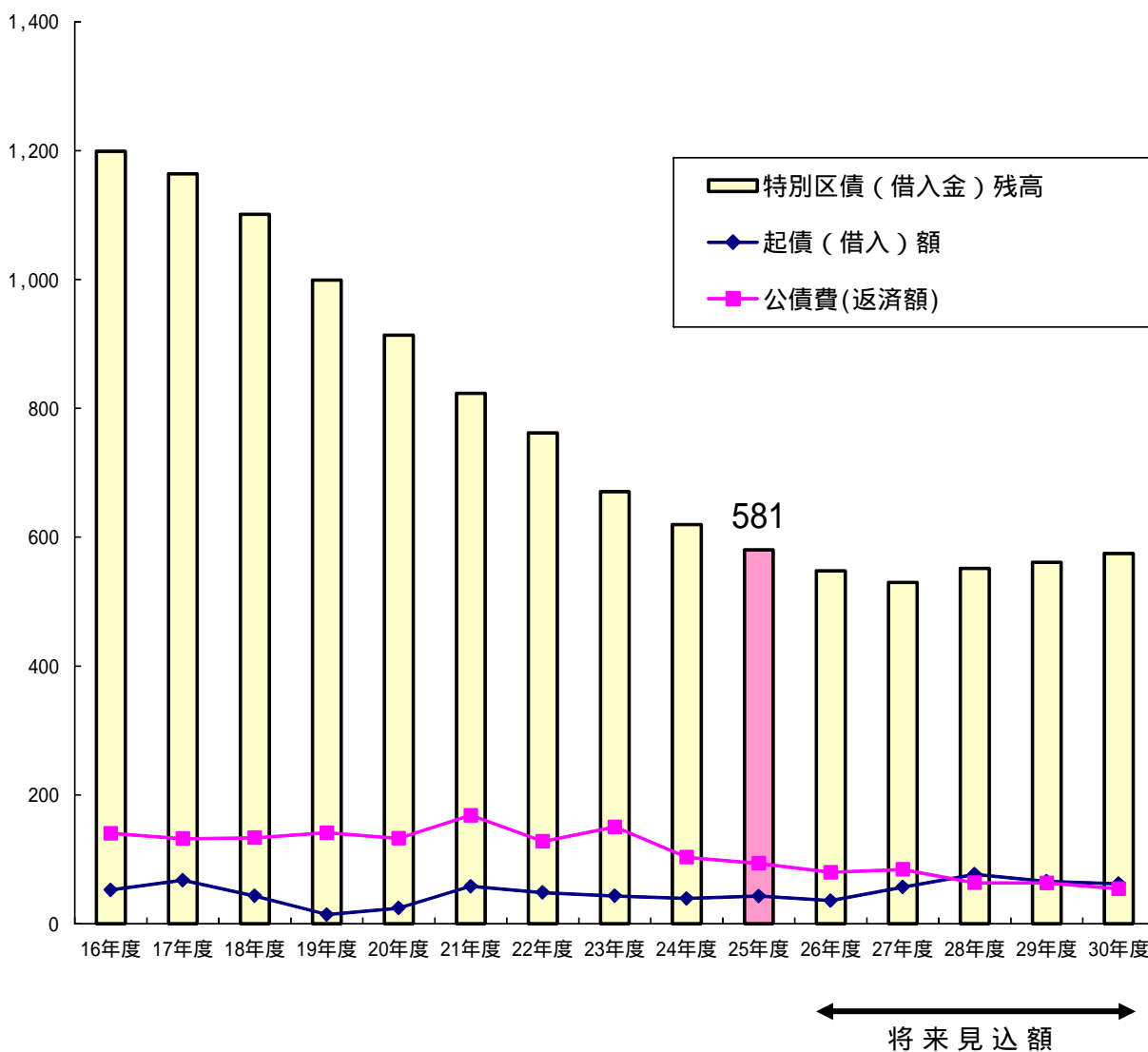
## 特別区債は計画的に返済

特別区債は、区が借り入れた借金で、家計に例えると住宅ローン等の借金にあたります。公債費は、この特別区債の返済にあてるお金です。

公債費は94億円(元金:82億円、利子:12億円)  
前年度に比べ9億円(9.0%)の減額

単位:億円

## 特別区債の推移



## 投資的経費は 85 億円の増額

投資的経費とは、道路・学校・公共施設の建設や用地購入など社会資本の形成に投入する経費です。

普通建設事業費( )は、全体で297億61百万円  
前年度に比べると、84億57百万円(39.7%)の増額

《主な増減要因》

- |                |            |
|----------------|------------|
| ・ 区立小・中学校の改築事業 | 44億97百万円の増 |
| ・ 鉄道立体化の促進事業   | 38億40百万円の増 |
| ・ こども科学館の改修事業  | 14億14百万円の減 |

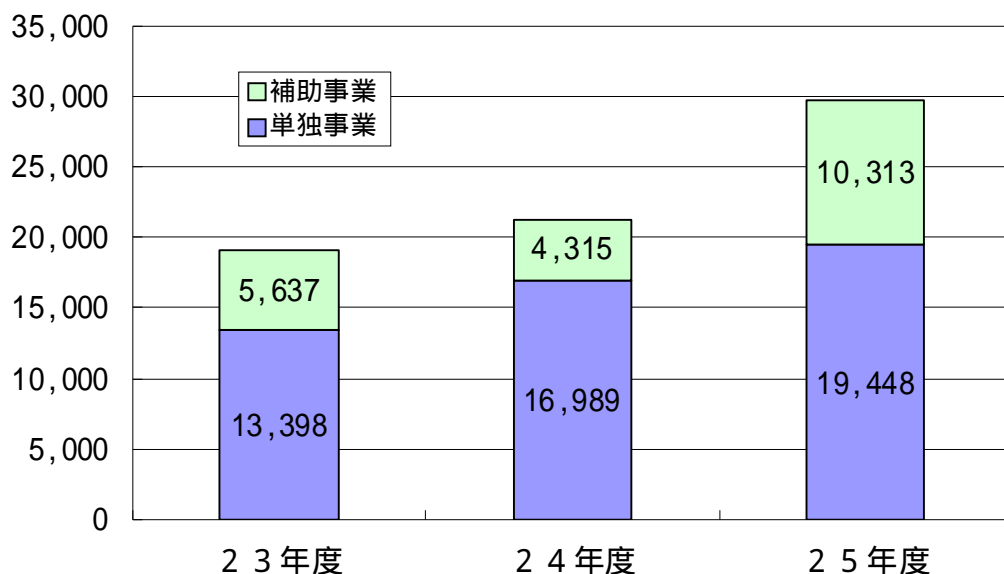
普通建設事業費とは  
道路や橋、学校、庁舎等の新築・改築・改良事業に投入する経費です。国からの負担金や補助金を受けて実施する「補助事業」と、足立区独自の経費で任意に実施する「単独事業」があります。

災害時の復旧事業は、これから除かれます。

区立小・中学校の改築は2か年工事になるため、年次により増減が生じます。

### 普通建設事業費の推移

単位：百万円



平成23年度の投資的経費は、普通建設事業費のほか災害復旧事業費4億50百万円がありました。

## その他の経費は5.2%の増加

その他の経費は、物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金からなっています。

全体では880億08百万円で、前年度に比べ43億63百万円(5.2%)の増歳出総額に占める構成比では34.6%で、前年度と同じ経費の内訳と主な増減要因は下記のとおり

### その他の経費一覧

単位：百万円

区 分	24年度	25年度	増減額	増減率	
その他の経費	83,646	88,008	4,363	5.2%	
内 訳	物件費	33,467	33,726	259	0.8%
	維持補修費	1,191	1,160	31	2.6%
	補助費等	13,569	14,390	821	6.0%
	積立金	10,214	13,877	3,663	35.9%
	投資及び出資金	0	0	0	-
	貸付金	542	172	369	68.2%
	繰出金	24,663	24,684	21	0.1%

#### 【主な増減とその要因】

(1)「物件費」は、2億59百万円の増額

内訳 こども未来創造館管理運営事務 5億12百万円の増額  
情報システム構築、改修事業 3億66百万円の減額 等

(2)「補助費等」は、8億21百万円の増額

内訳 認証保育所運営経費助成事業 1億46百万円の増額  
私立保育園の運営費助成事業 1億27百万円の増額 等

(3)「積立金」は、36億63百万円の増額

内訳 義務教育施設建設資金積立基金への積立49億89百万円の増額  
財政調整基金への積立 8億91百万円の減額 等

(4)「貸付金」は、3億69百万円の減額

内訳 土地開発公社借入金元利償還相当貸付金 3億51百万円の減額 等

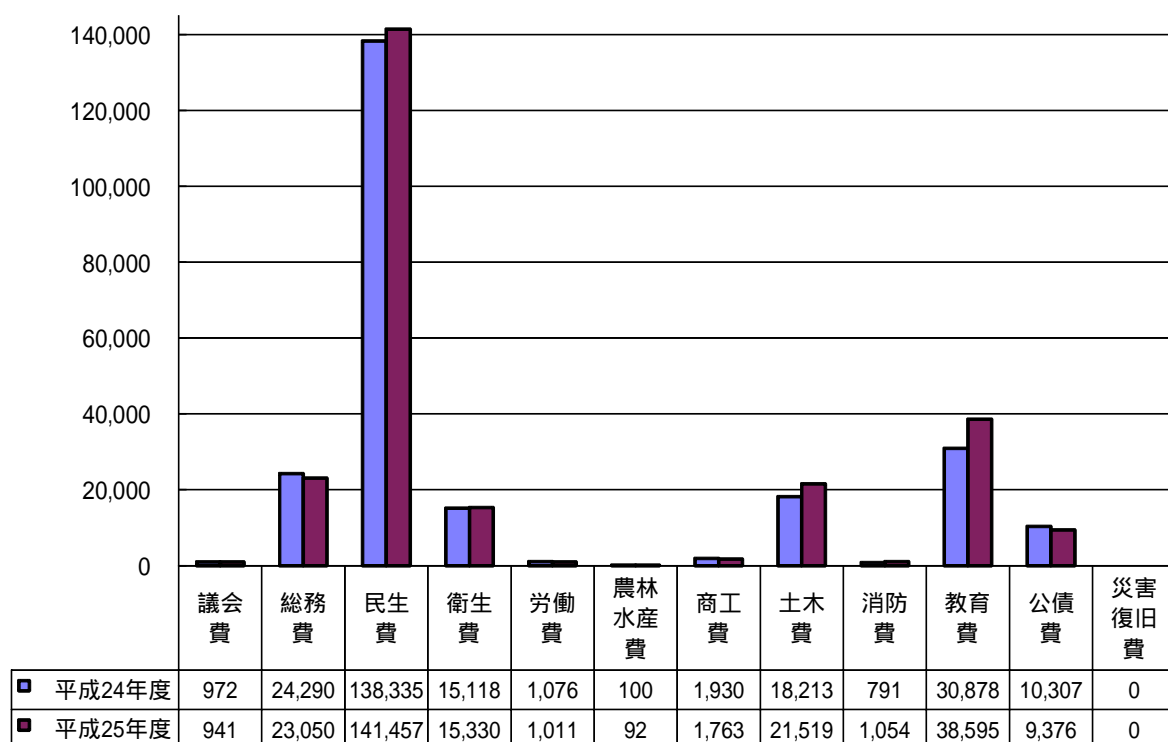
< (4) 歳出(目的別)のまとめ >

## 支出の55.7%は民生費

歳出(支出)の内訳を、目的別(どの分野にどれだけの経費が投入されているか)に分類すると次のようになります。民生費1,414億57百万円は、歳出全体2,541億87百万円の55.7%を占めています。

### 目的別歳出の状況

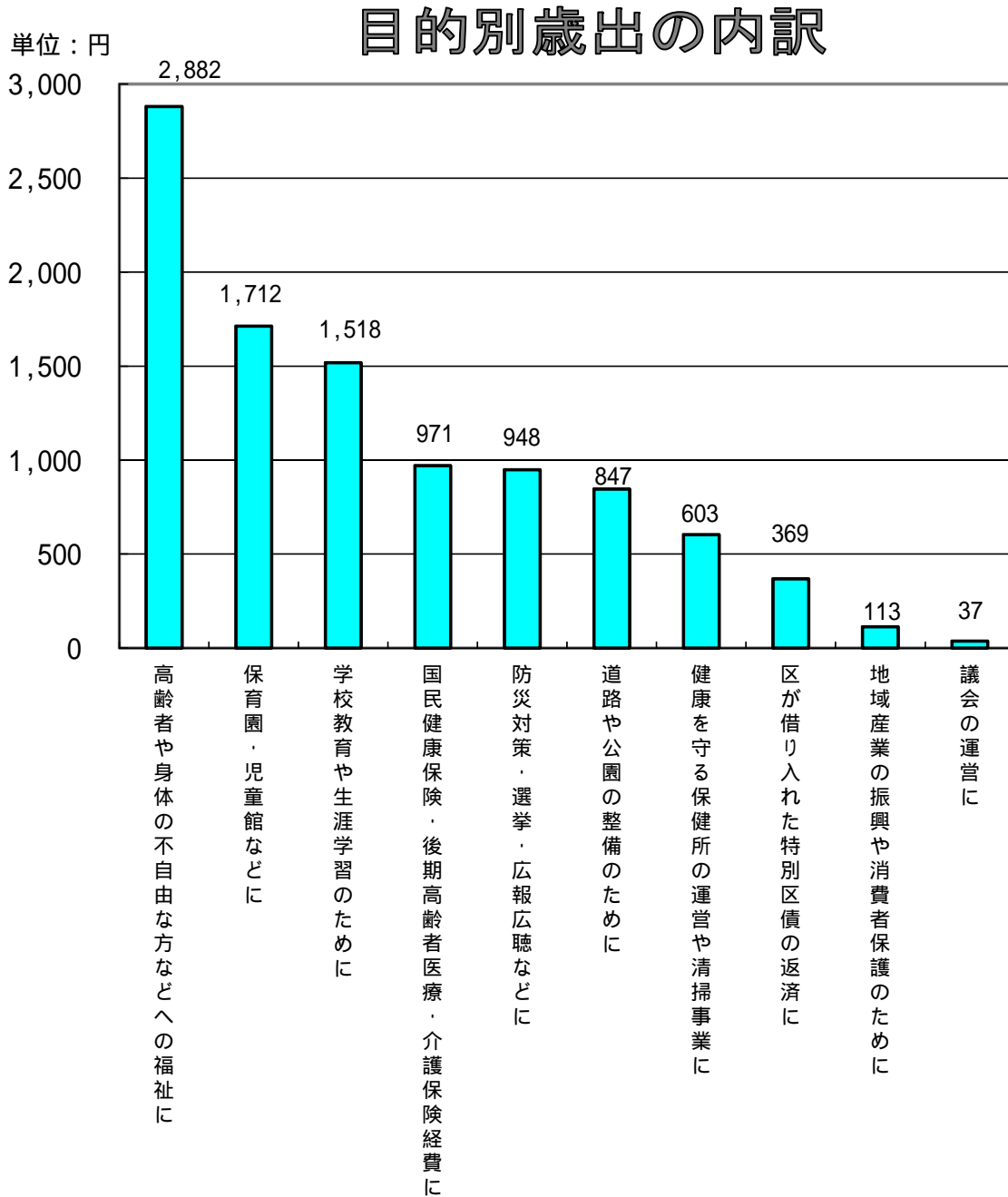
単位：百万円



#### 【主な増減とその要因】

- (1) 「総務費」は、財政調整基金積立金8億91百万円の減額、退職手当6億41百万円の増額、情報システム改修事業3億66百万円の減額等により、12億40百万円の減額
- (2) 「民生費」は、子ども手当20億13百万円の減額(児童手当17億08百万円増額)、生活保護給付11億07百万円の増額、特別養護老人ホーム等の整備助成8億14百万円の増額等により、31億23百万円の増額
- (3) 「土木費」は、鉄道立体化の促進38億40百万円の増、土地区画整理6億40百万円の減額等により、33億06百万円の増額
- (4) 「教育費」は、義務教育施設建設資金積立基金積立49億89百万円の増額、小・中学校改築事業45億57百万円の増額、こども科学館の改修14億14百万円の減額等により77億16百万円の増額

歳出総額を 10,000 円とすると、その内訳は・・・



## 負債比率は昨年度並

足立区の負債比率は、24年度決算では0.19でしたが、25年度決算は、0.21と小さくなりました。23区全体の数値は0.27であり、23区全体との較差は0.01広がりました。

### 負債比率とは

歳入総額に占める負債額（借金から貯金を引いた額）の割合。

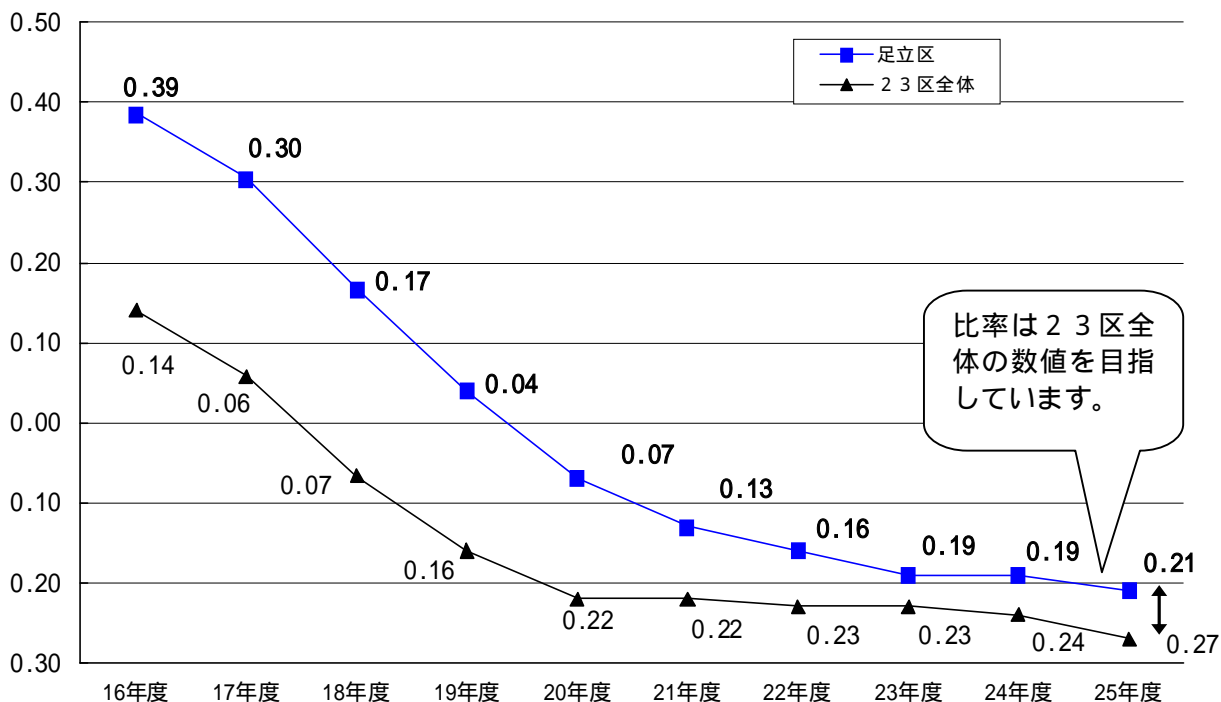
借金が少なく貯金が多いほど、数値は小さくなります。つまり、足立区（0.21）は、借金より貯金のほうが大きいのですが、23区全体の数値（0.27）と比べるとまだまだ貯金が少ないということです。

負債比率 = (特別区債現在高(除く臨時財政対策債) 積立基金残高  
実質収支) ÷ 普通会計歳入決算総額

25年度決算数値に基づいて算出すると・・・

$$0.21 = (581 \text{ 億円} - 1,065 \text{ 億円} - 76 \text{ 億円}) \div 2,630 \text{ 億円}$$

## 負債比率の推移



## 特別区債残高は23区の1割を占める

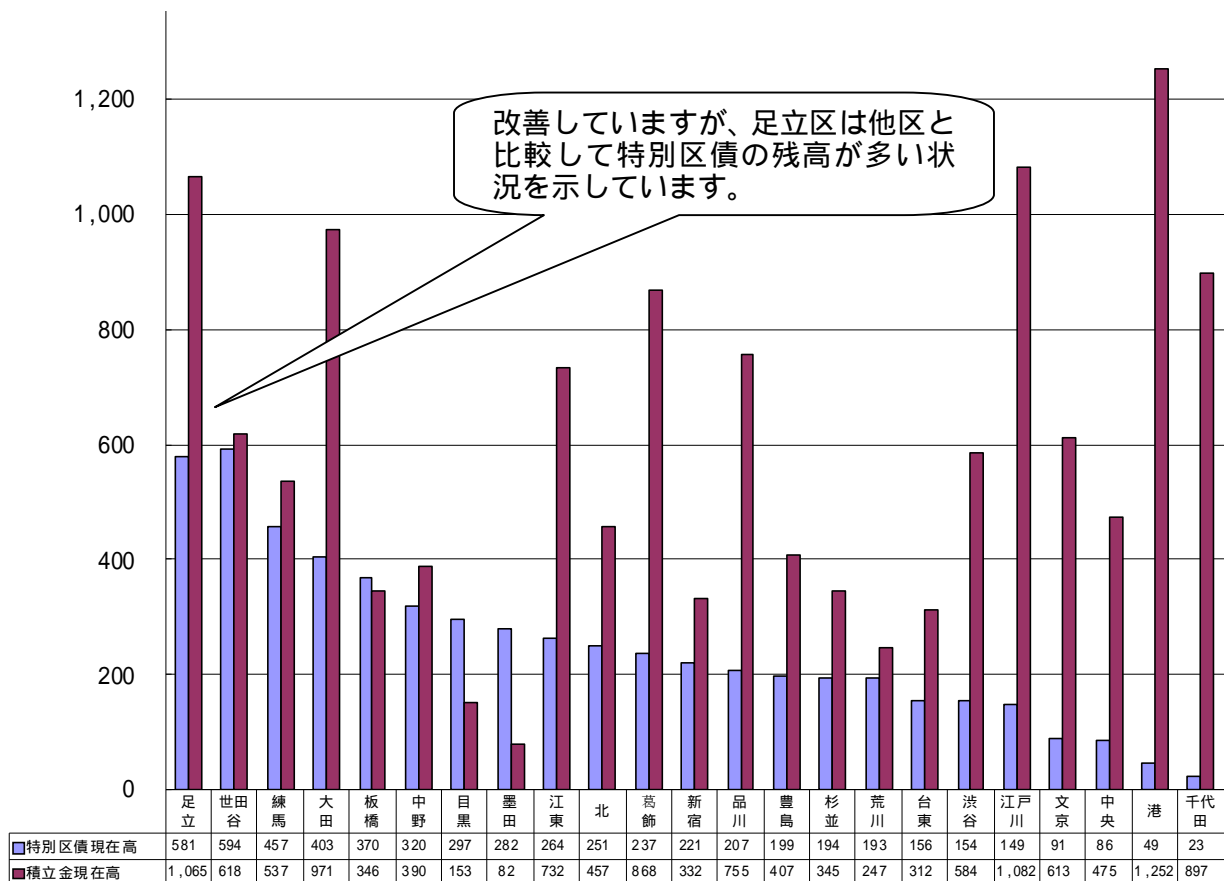
皆さんも、家や自動車など高額なものを購入するときに、ローンを組んで購入すると思います。区の仕事でも、学校や道路などの建設事業は多額な経費がかかるためローンを組んでいます。これを特別区債とよんでいます。特別区債の残高とは、ローンの残高を意味します。また特別区債の発行とは、新規のローンを組んだことを意味します。

自主財源の少ない区にとって資金確保のための一手段として特別区債の発行は必要ですが、将来負担の大きな要因となるため、世代間負担の公平性を保ちながら計画的な発行をしています。

24年度末の特別区債残高は619億73百万円で、25年度の新たな特別区債発行額（借入額）は42億89百万円、元金償還額（返済額）は82億12百万円で、残高は差し引き39億23百万円の減額  
25年度末残高は580億50百万円(対前年度比6.3%減)  
23区全体で25年度決算時の特別区債残高は5,778億円（足立区は全体の約1割）

## 23区の特別区債と積立金の状況(特別区債残高順)

単位：億円



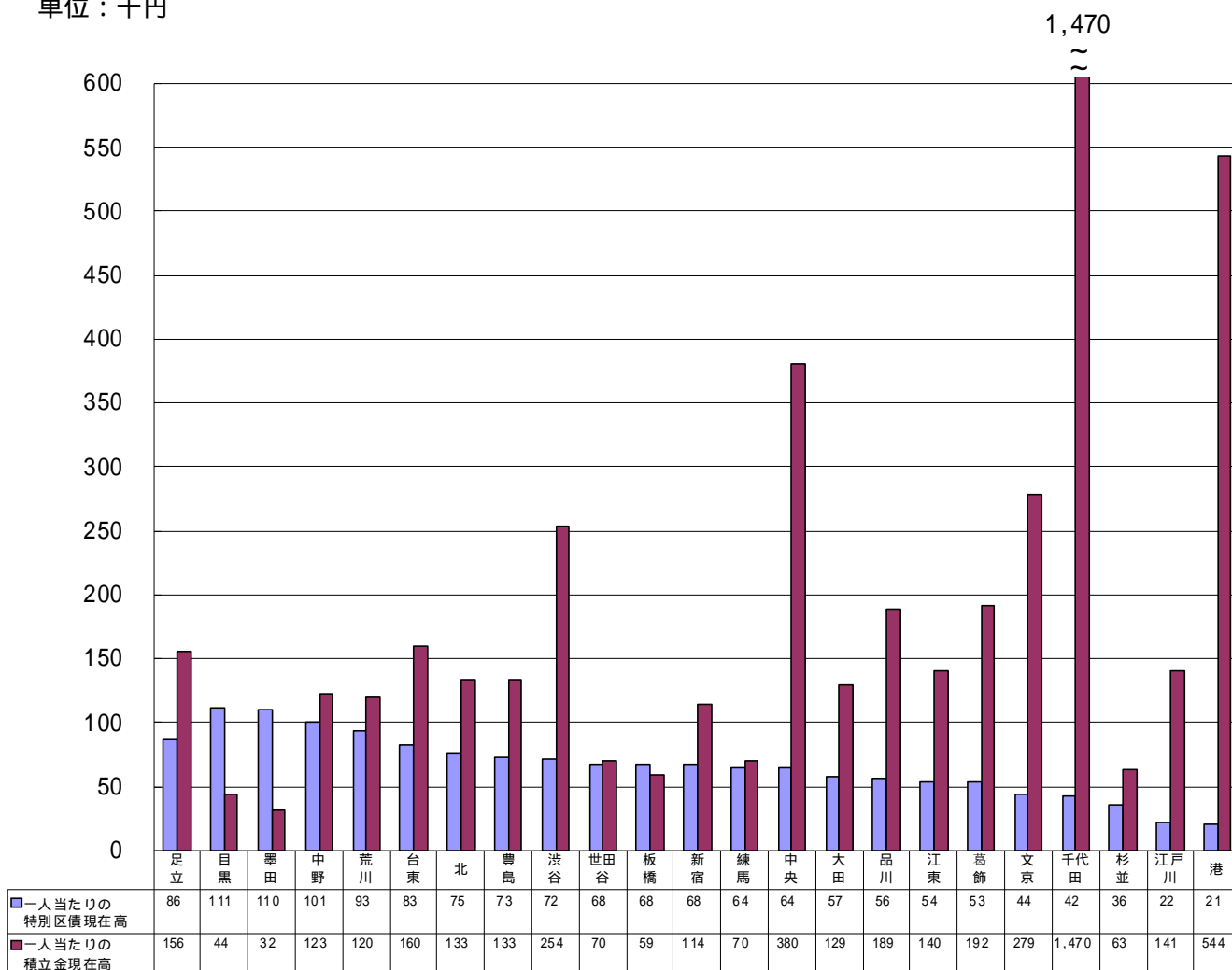
## 特別区債・積立金の残高を区民一人当たりになると...

特別区債及び積立金の残高を平成26年4月1日現在の人口(67万1,333人)で割り返して一人当たりの数字で表しますと、特別区債は、86千円で23区中5番目(総額では2番目)、積立金は156千円で9番目(総額では3番目)となっています。積立金から特別区債を単純に差し引いた金額は12番目(総額でも12番目)でちょうど真ん中に位置しています。

特別区債残高と積立金残高の比較(P19参照)や税収額(P8参照)などを考慮すると、積立金はまだまだ十分な状態とはいえません。今後の小中学校や公共施設更新に備えるとともに、経済動向を注視していきます。

### 23区の区民一人当たりの特別区債と積立金残高の状況 (特別区債残高順)

単位：千円





## 特別区債を財源として実施した事業

特別区債の返済は、公債費として5年から25年に分割して支払います。長期に渡って分割払いにすることで負担を平準化するようにしています。

平成25年度は次の事業のために特別区債を発行しました。

### 特別区債を財源とした事業一覧

単位：百万円

事業の名称	発行額	特別区債の名称
道路橋梁整備事業 区画街路14号線	175	道路整備債
都市計画事業 西新井駅西口周辺地区、千住仲町地区	46	総合住環境整備債
西新井四丁目公園、舎人五丁目公園	534	公園緑地新設拡充債
佐野六木土地地区画整理	249	土地地区画整理債
学校施設建設事業 【改築】足立小学校、本木小学校、加平小学校	2,094	校舎建設債
伊興中学校拡張用地購入	378	校地取得造成債
学校施設整備事業 【大規模改修】第十中学校、第十二中学校、東島根中学校、【外装改修】東綾瀬小学校、西新井第一小学校、花畑第一小学校	810	学校施設改修債
災害援護資金事業 災害援護資金貸付	3.2	東日本大震災災害援護資金債
合 計	4,289.2	

## 債務負担行為の翌年度以降支出予定額は減少

区の仕事は単年度内に契約し執行することが原則ですが、例外として2年度以上に渡って契約し執行することが認められています。それが債務負担行為です。2年度以上に渡る契約は、後年度の負担となりますので、計画的な取扱いが必要です。そのため、契約の前にその全体の限度額と期間を議会の議決を得て予算として定めています。

### 【主な債務負担行為契約】

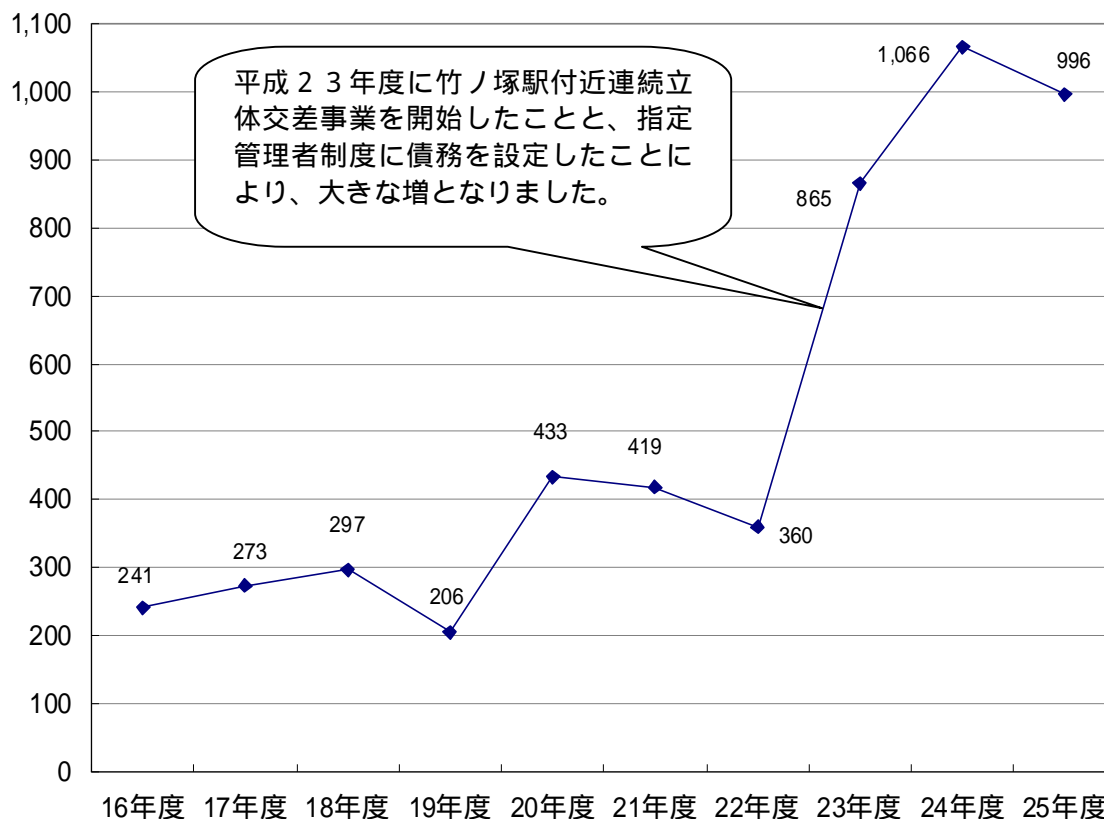
単年度では工事が完了しない大型事業（主に施設建設事業が多い）など  
 24年度末の債務負担行為残高は1,066億円、25年度末は996億円  
 主な増減理由は、事業の進捗による翌年度以降の支出予定額の減少

### 【主な翌年度以降支出予定額】

竹ノ塚駅付近連続立体交差事業	425億74百万円
足立小学校新築工事	25億26百万円
補助第138号線その3工区整備事業負担金	21億76百万円

## 債務負担行為の翌年度以降支出予定額の推移

単位：億円



## 積立金は19億円増加

25年度の主な積立額は、財政調整基金に42億円、公共施設建設資金積立基金に73億円、義務教育施設建設資金積立基金に51億円

25年度の主な取崩額は、減債基金で54億円、義務教育施設建設資金積立基金で42億円、竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立基金で22億円  
基金からの取崩額の主な用途は、P25を参照

### 特定目的基金等の積立額等の状況

単位：百万円

基金の名称	24年度末	25年度		25年度末	増減
	現在高	積立額	取崩額	現在高	
財政調整基金	22,557	4,178	319	26,416	3,859
減債基金	12,955	35	5,443	7,547	5,408
公共施設建設資金積立基金	17,877	7,296	1,104	24,069	6,192
地域福祉振興基金	7,083	28	1,180	5,931	1,152
義務教育施設建設資金積立基金	27,240	5,056	4,162	28,134	894
育英資金積立基金	791	94	85	800	9
住宅等対策資金積立基金	140	0	30	111	29
一般区営住宅改修整備資金積立基金	1,678	154	67	1,764	86
環境基金	388	1	6	383	5
文化芸術振興基金	286	1	36	251	35
竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立基金	11,322	23	2,168	9,177	2,145
緑の基金	1,503	6	24	1,485	18
協働パートナー基金	218	4	4	218	0
緊急待機児童対策基金	330	0	145	185	145
子ども元気基金	188	0	188	0	188
合計	104,557	16,877	14,962	106,471	1,914

財政調整基金の積立額には、24年度の歳計剰余金から基金に編入した30億円が含まれています。

減債基金の積立額からは、普通会計決算上のルールにより、満期一括償還のために元金の6%積立を行った分は除外されています。

## 特定目的基金等の残高推移

基金は、家計に例えると目的を決めて貯めている預金にあたります。財源の不足が発生したときは、貯金をおろすのと同様に、財政調整基金等を取り崩して対応しています。

基金には、それぞれ特定の目的があり、その目的以外には活用できません。

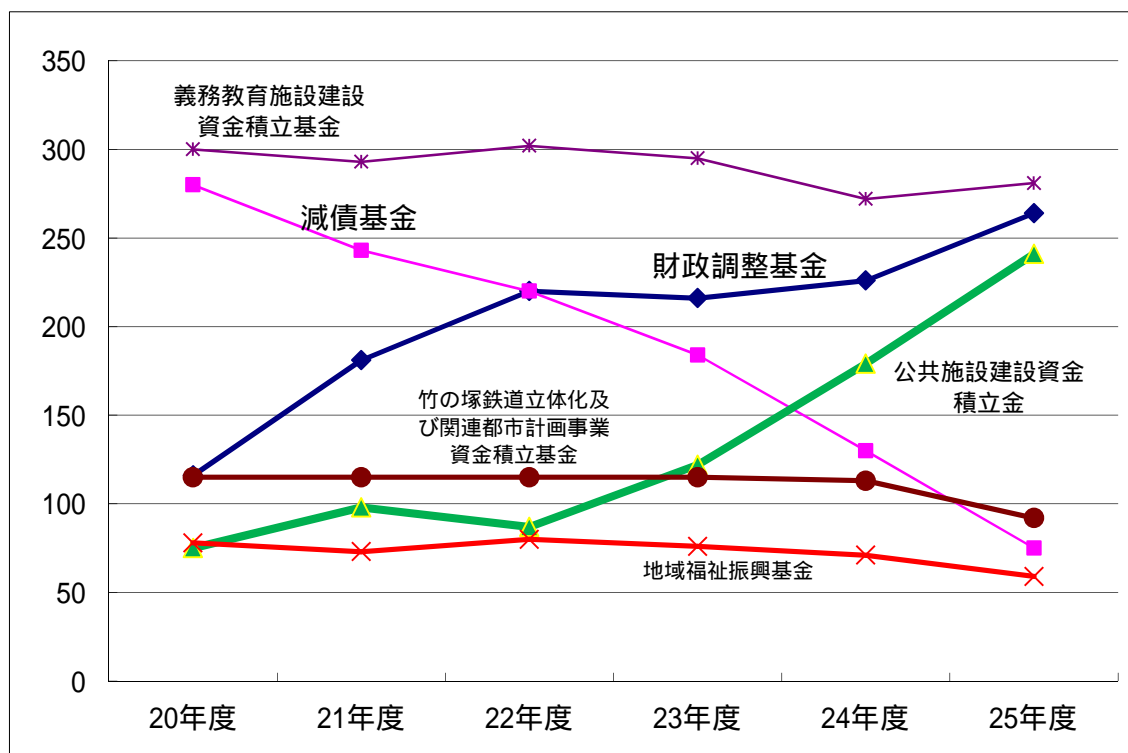
主な基金の残高の推移は次のとおりです。

### 主な基金の年度末残高推移

単位:億円

基金年度末残高	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
財政調整基金	116	181	220	216	226	264
減債基金	280	243	220	184	130	75
公共施設建設資金積立金	75	98	87	122	179	241
地域福祉振興基金	78	73	80	76	71	59
義務教育施設建設資金積立基金	300	293	302	295	272	281
竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立基金	115	115	115	115	113	92

単位:億円



## 積立金を活用してさまざまな事業を実施

区では将来の財政負担に備えて、様々な基金への積立を行っており、基金または積立基金といった名称で、議会の議決を得た条例に基づいて基金を設置しています。それぞれの基金は特定の目的を持っており、その目的以外に活用することはできません。

25年度に、基金を取り崩して事業に活かした主な事例は、次のものです。

### 積立金の主な活用状況

単位：百万円

基金の名称	取崩額	活用した事業内容
財政調整基金	319	財源の調整 不足する財源に充当
減債基金	5,443	特別区債元金の償還 満期一括償還債返済の経費
公共施設建設資金積立基金	1,104	公共施設建設事業 公共施設の改修事業など
地域福祉振興基金	1,180	福祉施設整備助成事業 特別養護老人ホームの整備助成事業など
義務教育施設建設資金積立基金	4,162	義務教育施設建設事業 小中学校施設の改築・改修工事など
育英資金積立基金	85	育英資金貸付事業 経済的理由により進学が困難な区民の方への貸付資金
環境基金	6	環境計画推進事業 区内で環境に関する先進的な研究・開発などを行う団体等への活動支援助成
文化芸術振興基金	36	文化芸術活動推進事業 ギャラクシティの改修や区立学校を対象とした演劇鑑賞事業等の実施など
竹の塚鉄道立体化及び関連都市計画事業資金積立金	2,168	鉄道立体化の促進事業 竹ノ塚駅付近の鉄道を高架化する工事費など
緑の基金	24	緑の普及啓発事業 区立保育園への緑のカーテン設置など
緊急待機児童対策基金	145	待機児童解消事業 保育施設や学童保育室の待機児童解消のための認証保育室等の保育施設、学童保育室整備
合計	14,672	

< (6) その他 性質別歳出の状況 >

## 性質別歳出の状況

### 性質別歳出 前年度との比較

単位：百万円、%

区 分	24年度		25年度		増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
<b>歳出総額</b>	242,010	100.0	254,188	100.0	12,178	5.0
<b>義務的経費</b>	137,061	56.6	136,419	53.7	642	0.5
人件費	36,631	15.1	35,783	14.1	848	2.3
うち職員給	23,507	9.7	22,968	9.0	539	2.3
うち退職金	3,672	1.5	3,585	1.4	87	2.4
扶助費	90,127	37.2	91,265	35.9	1,138	1.3
公債費	10,304	4.3	9,372	3.7	932	9.0
<b>投資的経費</b>	21,304	8.8	29,761	11.7	8,457	39.7
普通建設事業費	21,304	8.8	29,761	11.7	8,457	39.7
失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
<b>その他経費</b>	83,646	34.6	88,008	34.6	4,363	5.2
物件費	33,467	13.8	33,726	13.3	259	0.8
維持補修費	1,191	0.5	1,160	0.5	31	2.6
補助費等	13,569	5.6	14,390	5.7	821	6.0
積立金	10,214	4.2	13,877	5.5	3,663	35.9
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	-
貸付金	542	0.2	172	0.1	369	68.2
繰出金	24,663	10.2	24,684	9.7	21	0.1

## 目的別・性質別歳出の状況

目的別の歳出（総務費、民生費など）がどのような性質別の歳出（人件費、扶助費など）で構成されているかを表しており、各費目の特徴を把握することができます。

### 目的別・性質別歳出の状況

単位：百万円

目的別 区分	25年度 計	性質別区分				
		人件費	扶助費	公債費	投資的 経費	その他 経費
議会費	941	806	0	0	0	136
総務費	23,050	9,258	0	0	439	13,353
民生費	141,457	13,362	88,612	0	2,287	37,196
衛生費	15,330	4,092	1,235	0	819	9,184
労働費	1,011	76	0	0	142	793
農林水産費	92	61	0	0	12	18
商工費	1,763	538	0	0	47	1,178
土木費	21,519	3,631	0	0	12,971	4,917
消防費	1,054	144	0	0	343	567
教育費	38,595	3,815	1,418	0	12,701	20,661
災害復旧費	0	0	0	0	0	0
公債費	9,376	0	0	9,372	0	4
諸支出金	0	0	0	0	0	0
計	254,188	35,783	91,265	9,372	29,761	88,008

< (6) その他 健全化判断比率 >

## 健全化判断比率は問題なし

自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が平成19年6月に公布されました。

自治体の財政に影響を及ぼすすべての会計を対象に「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標（健全化判断比率）を用いて自治体財政の健全度を判断します。指標が早期健全化基準以上の自治体は財政健全化計画、財政再生基準以上の自治体は財政再生計画を策定し財政の健全化を目指さなければなりません。

【参考】総務省の公表によれば、平成24年度決算で早期健全化基準以上の団体は、1,789団体中2団体（北海道夕張市、大阪府泉佐野市）だけでした。

### 平成25年度決算に基づく足立区の健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	0.5%	-
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は、「-」で表示しています。

(1) 実質赤字比率（一般会計の実質赤字額の標準財政規模（ ）に対する比率）

足立区の平成25年度決算における一般会計の実質収支は76億円の黒字でした。

(2) 連結実質赤字比率（全会計の実質赤字額の標準財政規模に対する比率）

足立区の平成25年度決算における全会計（一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）の実質収支は105億円の黒字でした。

(3) 実質公債費比率（公債費〔借入金の返済及びこれに準じる額〕の標準財政規模に対する比率）

足立区の平成25年度決算に基づく実質公債費比率は23年度：0.8%、24年度：0.1%、平成25年度：0.8%の平均で0.5%でした。

(4) 将来負担比率（一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

足立区の平成25年度決算に基づく将来負担額は、区債の残高、債務負担行為による支出予定額、退職手当支給予定額などの合計で1,147億円でした。一方で、基金の残高や国が定めた額など将来負担額から控除される額の合計は2,749億円で、差し引き1,601億円のマイナスとなり、将来負担比率は算定されませんでした。

### 標準財政規模とは

地方公共団体の一般財源の標準的な規模を示す指標。平成25年度足立区の健全化判断比率算出の基となる足立区の標準財政規模は、1,484億円でした。



## 2 平成25年度特別会計決算の状況

特別会計の平成25年度決算は、
国民健康保険特別会計（P30・31）
歳入850億円 歳出832億円
介護保険特別会計（P32・33）
歳入456億円 歳出447億円
後期高齢者医療特別会計（P34・35）
歳入66億円 歳出65億円

一般会計は統計処理として普通会計に整理しますが、特別会計は普通会計とは別に特別会計として決算をします。

普通会計と特別会計の間での予算の移動は、繰出金と繰入金で処理されます。繰出金として歳出している内容は、法律等で国や都とともに区が負担しなければならない負担金や、人件費、事務費、財源不足に対する補てんなどです。足立区の繰出金は、医療費など社会保障に関する経費であって義務的経費と同様の性質を持つため、繰出金が増額することは区の財政に大きな影響を及ぼすこととなります。

普通会計の繰出金の合計と特別会計の繰入金の合計は一致しない場合があります。

< (1) 国民健康保険特別会計 >

## 国民健康保険特別会計の決算状況

保険料（基礎分+支援金） 均等割 41,400円(前年度40,200円) 所得割 8.36%	25年度末被保険者数 214,689人(前年度比6,040人減) 人口に対する加入率31.98%(前年度32.96%)																																
<table border="1"> <tr> <td><b>歳入総額</b></td> <td><b>850億円</b></td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>197億円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>180億円</td> </tr> <tr> <td>前期高齢者交付金</td> <td>167億円</td> </tr> <tr> <td>繰入金（区一般会計から）</td> <td>116億円</td> </tr> <tr> <td>共同事業交付金</td> <td>89億円</td> </tr> <tr> <td>都支出金</td> <td>52億円</td> </tr> <tr> <td>療養給付費等交付金</td> <td>28億円</td> </tr> <tr> <td>その他（繰越金等）</td> <td>21億円</td> </tr> </table>	<b>歳入総額</b>	<b>850億円</b>	国庫支出金	197億円	保険料	180億円	前期高齢者交付金	167億円	繰入金（区一般会計から）	116億円	共同事業交付金	89億円	都支出金	52億円	療養給付費等交付金	28億円	その他（繰越金等）	21億円	<table border="1"> <tr> <td><b>歳出総額</b></td> <td><b>832億円</b></td> </tr> <tr> <td>保険給付費</td> <td>551億円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者支援金等</td> <td>115億円</td> </tr> <tr> <td>共同事業拠出金</td> <td>88億円</td> </tr> <tr> <td>介護納付金</td> <td>49億円</td> </tr> <tr> <td>その他（保健事業費等）</td> <td>17億円</td> </tr> <tr> <td>事務費（職員給与費等）</td> <td>11億円</td> </tr> </table>	<b>歳出総額</b>	<b>832億円</b>	保険給付費	551億円	後期高齢者支援金等	115億円	共同事業拠出金	88億円	介護納付金	49億円	その他（保健事業費等）	17億円	事務費（職員給与費等）	11億円
<b>歳入総額</b>	<b>850億円</b>																																
国庫支出金	197億円																																
保険料	180億円																																
前期高齢者交付金	167億円																																
繰入金（区一般会計から）	116億円																																
共同事業交付金	89億円																																
都支出金	52億円																																
療養給付費等交付金	28億円																																
その他（繰越金等）	21億円																																
<b>歳出総額</b>	<b>832億円</b>																																
保険給付費	551億円																																
後期高齢者支援金等	115億円																																
共同事業拠出金	88億円																																
介護納付金	49億円																																
その他（保健事業費等）	17億円																																
事務費（職員給与費等）	11億円																																
	<table border="1"> <tr> <td><b>収 支</b></td> <td><b>18億円</b></td> </tr> </table>	<b>収 支</b>	<b>18億円</b>																														
<b>収 支</b>	<b>18億円</b>																																

### 一般会計からの繰入金116億円のうち 国民健康保険特別会計に対する赤字補てんは93億円

23区では、療養給付費等から前期高齢者交付金を控除した額の50%を保険料でまかなうように設定されています。残りの50%は国や都道府県が負担するため、仮に保険料がすべて収納されれば、原則として赤字は発生しません。

しかし、23区は統一保険料率を設定しており、この保険料率を足立区に適用すると、他区と比べ所得階層が低いため、保険料だけでは保険給付費等に必要な経費をまかなえません。さらに、保険料の収納率が低いことが重なり、毎年度、国保会計には赤字が生じており、一般会計から財源を補てんしています。

#### 【歳入】

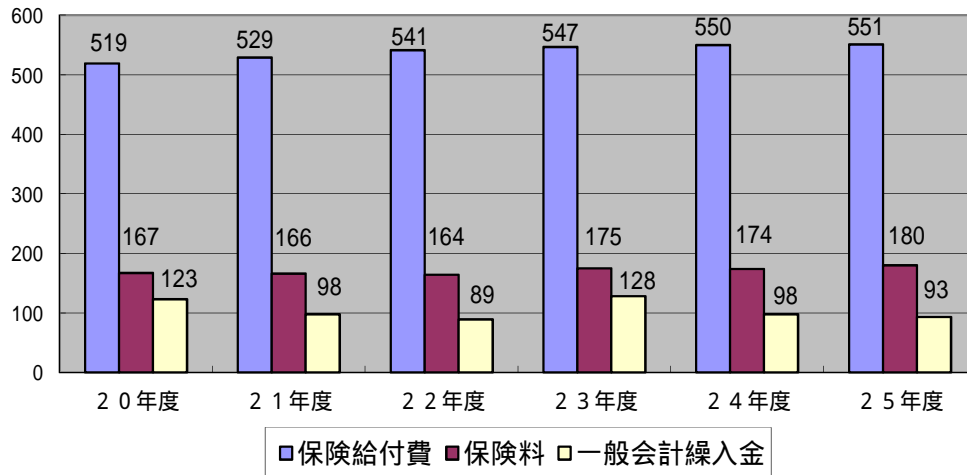
25年度の歳入総額は850億円で、前年度に比べ2億円の増額となりました。これは、国民健康保険料が6億円増額、国庫支出金が5億円増額、前期高齢者交付金が5億円減額、繰入金が4億円減額などによるものです。歳入総額に占める割合は、国民健康保険料が21%、国・都等からの交付金が63%、一般会計からの繰入金が14%となっています。

#### 【歳出】

25年度の歳出総額は832億円で、前年度に比べ4億円の増額となりました。これは、後期高齢者支援金等が3億円増額、介護納付金が2億円の増額、保険給付費が1億円増額、共同事業拠出金が3億円減額などによるものです。歳出総額に占める割合は、保険給付費が66%、後期高齢者支援金等が14%、共同事業拠出金が11%、介護納付金が6%となっています。

保険給付費と保険料、一般会計繰入金（赤字補てん分）の推移

単位：億円



【保険給付費の推移】

20年度に519億円だった保険給付費は、25年度には551億円となり、5年間で6.2%、32億円増額しました。前年度に比べ24年度は0.5%、25年度は0.3%増加しました。

【被保険者数の推移】

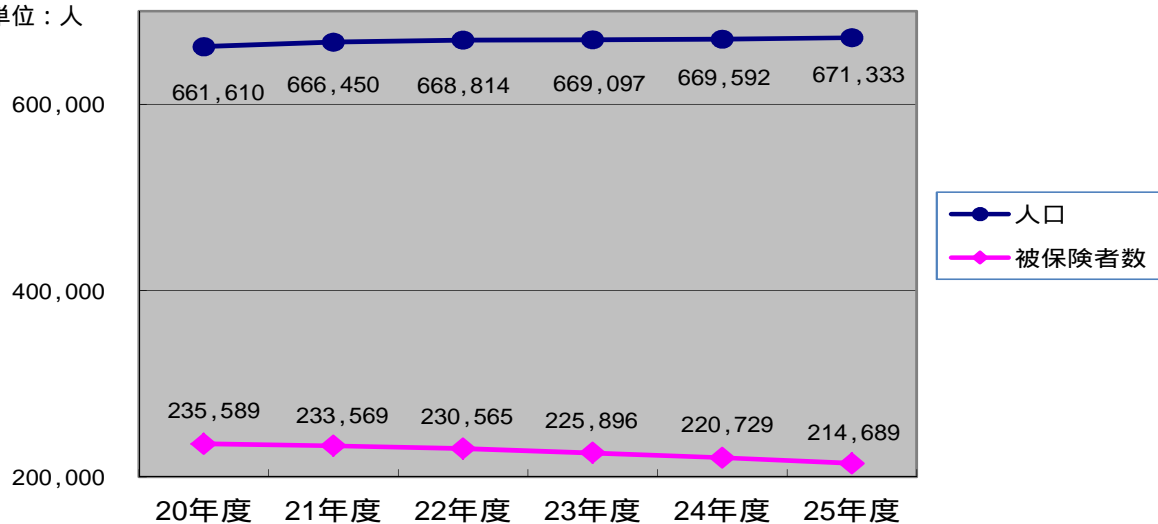
足立区の人口は近年増加傾向にあり、20年度末は661,610人、610人でしたが、25年度末には671,333人となり、5年間で9,723人増加しました。

足立区国民健康保険の被保険者数は、20年度に後期高齢者医療制度が開始された際に、同制度へ約46,000人の移行があったため、大幅な減少がありました。その後は逡減傾向が続いており、25年度は前年度に比べ6,040人減少しました。

なお、被保険者数は減少していますが、前期高齢者の割合増加や、医療技術の高度化による一人あたり保険給付費の増を主な要因として、保険給付費は増大傾向となっています。

足立区人口と被保険者数の推移

単位：人



## 介護保険特別会計の決算状況

<b>歳入総額</b>	<b>456億円</b>		<b>歳出総額</b>	<b>447億円</b>
保険料	96億円		保険給付費	422億円
区に直接納入される第1号被保険者の 保険料			地域支援事業費	8億円
国庫支出金	101億円		事務費（職員給与費等）	9億円
都支出金	62億円		その他(国庫支出金の返還金等)	8億円
支払基金交付金	124億円			
加入する健康保険から社会保険診療報酬 支払基金を通じて納入される40歳～ 64歳までの第2号被保険者の保険料				
繰入金（区一般会計から）	65億円			
その他（繰越金等）	8億円			
			<b>収 支</b>	<b>9億円</b>

平成25年度末被保険者数

第1号被保険者 159,645人（前年度比4,618人増）

### 【歳入】

25年度の歳入総額は456億円でした。これは24年度を27億円上回っています。第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料収入は、96億円で、歳入に占める率は21%でした。また、第2号被保険者（40歳～64歳の方）の保険料相当額である支払基金交付金は124億円で全体の27%でした。そのほか、国や都、区が負担する費用が228億円で、歳入に占める率は50%でした。

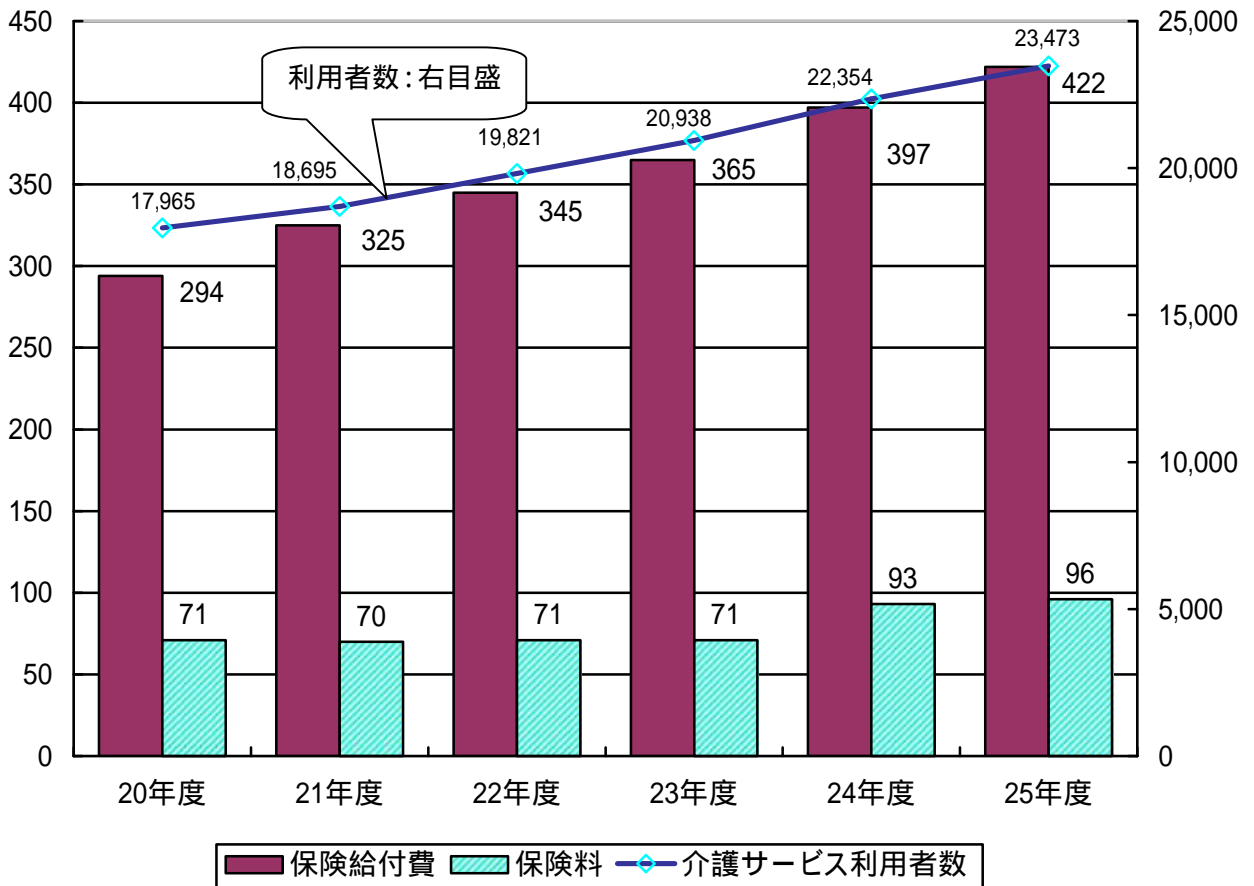
### 【歳出】

25年度の歳出総額は447億円でした。24年度を26億円上回っています。歳出総額のうち94%は保険給付費で422億円です。24年度は397億円で、25億円上回っています。保険給付費の内訳では、訪問介護や通所介護などの居宅サービス費が281億円、特別養護老人ホームなどの施設サービス費が114億円、特定入所者介護サービス費が13億円となっています。また、介護予防への取り組みを行う地域支援事業費は、8億円、要介護認定に必要な事務費と介護保険運営のための人件費等である総務費は9億円でした。

単位:億円

## 保険給付費・利用者の伸びと保険料の推移

単位:人



### 【保険給付費】

利用者数の伸びとともに保険給付費も年々上昇しており、20年度の294億円が25年度には422億円と、5年間で128億円増加し、1.4倍になりました。

伸び率は、介護報酬改定の影響を受けながら変動しており、5年間の対前年度伸び率の平均は7.5%となりました。

### 【第1号被保険者の保険料】

20年度から23年度までの基準額は4,380円となっており、保険料収納額は平均7.1億円と、ほぼ横ばいになっています。

24年度は基準額を5,570円に改定したため、保険料収納額も24年度は9.3億円、25年度は9.6億円に増加しました。

## 後期高齢者医療特別会計の決算状況

<table> <tr> <td>歳入総額</td> <td>66億円</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>45億円</td> </tr> <tr> <td>繰入金（区一般会計から）</td> <td>15億円</td> </tr> <tr> <td>その他（健診受託費等）</td> <td>6億円</td> </tr> </table>	歳入総額	66億円	保険料	45億円	繰入金（区一般会計から）	15億円	その他（健診受託費等）	6億円		<table> <tr> <td>歳出総額</td> <td>65億円</td> </tr> <tr> <td>広域連合納付金</td> <td>55億円</td> </tr> <tr> <td>事務費（職員給与費等）</td> <td>2億円</td> </tr> <tr> <td>その他（葬祭費等）</td> <td>8億円</td> </tr> </table>	歳出総額	65億円	広域連合納付金	55億円	事務費（職員給与費等）	2億円	その他（葬祭費等）	8億円
歳入総額	66億円																	
保険料	45億円																	
繰入金（区一般会計から）	15億円																	
その他（健診受託費等）	6億円																	
歳出総額	65億円																	
広域連合納付金	55億円																	
事務費（職員給与費等）	2億円																	
その他（葬祭費等）	8億円																	
		<table> <tr> <td>収支</td> <td>1億円</td> </tr> </table>	収支	1億円														
収支	1億円																	

平成25年度末被保険者数 68,751人（前年度比 2,188人増）

普通会計決算においては、「東京都後期高齢者医療広域連合」等が実施している以下の項目を、後期高齢者医療特別会計の決算総額から除いています。

歳入		歳出	
事務費繰入金等	2億円	事務費負担金	3億円
療養給付費繰入金	45億円	療養給付費負担金	45億円
保険料軽減措置繰入金	5億円	保険料軽減措置負担金	4億円

### 【歳入（普通会計決算）】

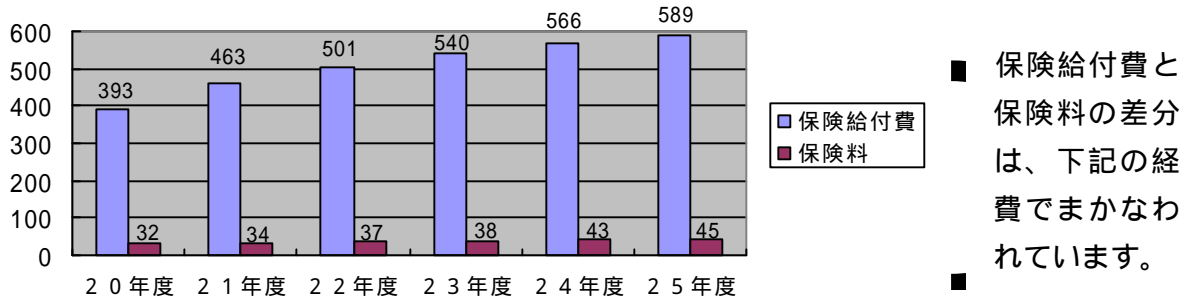
25年度の歳入総額は、24年度を2億円上回り、66億円でした。被保険者からの保険料収入は45億円で、歳入に占める率は68%でした。また、区が負担する費用（一般会計からの繰入金）が15億円で全体の23%、保険者（東京都後期高齢者医療広域連合）からの健康診査委託費や特別会計内繰越金などそのほかの収入が6億円で全体の9%を占めています。

### 【歳出（普通会計決算）】

25年度の歳出総額は、24年度を3億円上回り、65億円でした。歳出総額のうち85%は、徴収した保険料など広域連合への納付金で55億円（24年度52億円）です。また、区が制度を運営するための事務費が2億円、葬祭給付や健康診査実施費用などそのほかの支出が8億円でした。

後期高齢者医療保険料と保険給付費の推移

単位：億円



■ 保険給付費と保険料の差分は、下記の経費でまかなわれています。

後期高齢者医療制度の財政は医療費の患者負担分を除き、保険料（約1割）のほか、公費（約5割）、現役世代からの支援金（約4割）で運営します。なお、区民の皆様からお預かりした保険料と区の負担する経費以外は、国など各納付義務者から保険者である東京都後期高齢者医療広域連合に直接支払われています。

【保険給付費の推移】

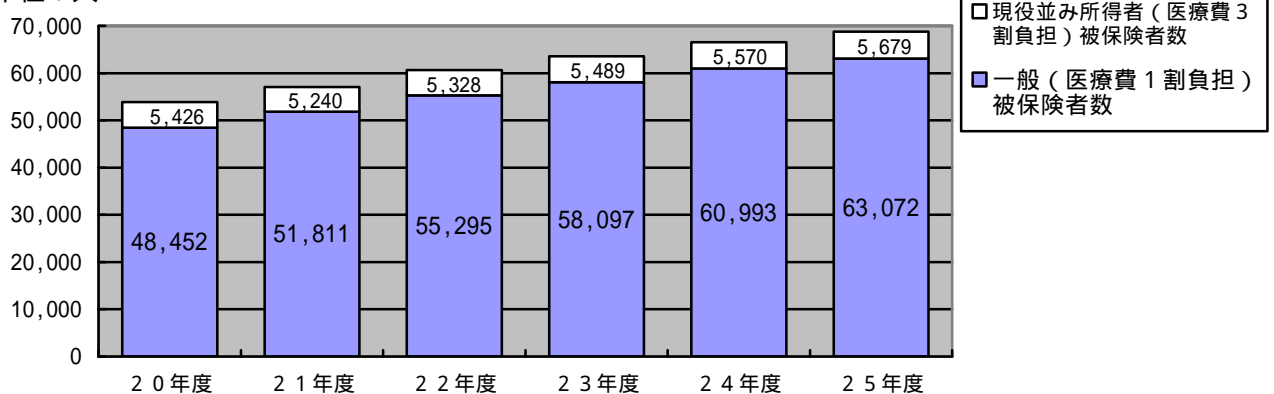
保険給付費は制度開始年度の20年度は393億円でしたが、24年度には566億円、25年度には589億円と年々増加しています。5年間で196億円、49.9%の増となります。これは一人あたりの給付費が伸びたことや、被保険者数の増加の影響によるものです。

【保険料の推移】

後期高齢者医療保険料の均等割額及び所得割率は2年ごとに見直されます。25年度は均等割額40,100円、所得割率8.19%でした。24年度の収納額43億円に対し、25年度の収納額は45億円と2億円の増となりました。

各年度末負担割合別被保険者数の推移

単位：人



【被保険者数の推移】

24年度末の66,563人から25年度末の68,751人と3.3%の伸びとなりました。そのうち医療費の1割を負担する被保険者の割合は24年度が92% (60,993人)、25年度も92% (63,072人) となっています。

### 3 主要施策の成果報告

平成25年度予算は、  
**「確かな明日のために 今、さらなる挑戦」と名づけ、**  
 限られた財源を最優先の施策に振り向け、持続可能な「確かな明日」を  
 迎えるため、今なすべきことを迅速かつ着実に行うことを目指しました。

「足立区第二次重点プロジェクト推進戦略」の「子ども」「暮らし」「ま  
 づくり」「経営改革」の4つの柱の施策をさらに発展・充実させるため、  
 次の事業一覧のような事業を展開しました。

#### (1) 足立区の挑戦一覧

頁	【平成25年度 足立区の挑戦】
38～39	〔1〕孤立ゼロプロジェクト
40～41	〔2〕学びをつなぐ！足立の教育 ～基礎学力の徹底習得に向けて～
42～43	〔3〕体験で学ぶ！学びの楽しさを発見！ - 大学連携・自然教室・こども未来創造館
44～45	〔4〕ビューティフル・ウィンドウズ運動 ～協働でめざす 安全で安心なまち あだち～
46～47	〔5〕区内企業・区民の「頑張る！」「挑む！」を応援します
48～49	〔6〕大震災の発生 その日に備えて ～防災・減災事業を強化します～（復興税関連事業）
50～51	〔7〕時代が求める公園への転換

#### (2) 主要事業一覧（分野別）

分野	頁	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	執行率(%)
子 ど も	52	区立認定こども園運営管理事業 / 私立認定こども園施設整備助成事業 / 私立認定こども園事業費補助事業	432,429	418,051	96.68
	53	幼児教育振興事業	41,366	39,663	95.88
	54	学力向上のための講師配置事業(副担任講師配置事業)	412,510	369,880	89.67
	55	学力向上対策推進事業	138,754	129,252	93.15
	56	中学校放課後学習推進事業 / 学校図書充実事業	80,235	74,786	93.21
	57	教育課題解決への取組事務 / 教職員の研修事務	38,521	31,537	81.87
	58	放課後子ども教室推進事業	252,956	211,715	83.70
	59	こども未来創造館管理運営事務	530,077	525,625	99.16
	60	体験学習推進事業 / 小学校自然教室事業 / 中学校自然教室事業	186,369	183,647	98.54
	61	小・中学校給食業務運営事業(おいしい給食の推進)	2,500,018	2,467,892	98.71
	62	予防接種事業 / がん検診事業	885,006	858,587	97.01
	63	こどもと家庭支援事業	18,478	15,488	83.82
	64	学童保育室運営事業 / 学童保育室管理事務 / 住区施設運営委託事務(学童保育事業)	986,303	941,035	95.41
	65	保育施設整備事業 / 私立保育園施設整備助成事業 / 保育室運営経費助成事業 / 認証保育所運営経費助成事業 / 認証保育所等利用者助成事業 / 家庭福祉員保育経費助成事業	3,269,835	3,199,796	97.86
66	子育てサロン管理運営事務 / 住区施設運営委託事務(子育てサロン事業)	79,288	76,739	96.79	
<b>合 計</b>			<b>9,852,145</b>	<b>9,543,693</b>	



分野	頁	事業名	予算現額(千円)	決算額(千円)	執行率(%)
く ら し	67	公益活動げんき応援事業 / 地域活動人材養成事業 / 協働パートナー基金積立金	14,894	13,882	93.21
	68	町会・自治会連合会活動支援事務 / 町会・自治会活動支援事務 / 町会・自治会会館整備助成事業	119,598	114,012	95.33
	69	介護予防事業(二次予防・通所型介護予防教室)	96,006	84,218	87.72
	70	地域包括支援センター運営事業(あんしんネットワーク事業)	76,789	66,700	86.86
	71	孤立ゼロプロジェクト推進事業	102,777	100,317	97.61
	72	特別養護老人ホーム等の整備助成事業	1,143,897	1,142,841	99.91
	73	健康あだち21推進事業 / 食育推進事業	10,821	8,312	76.81
	74	こころといのちの相談支援事業 / いのち支える寄り添い支援事業	48,888	47,724	97.62
	75	中小企業融資事業 / 経営革新支援事業 / ニュービジネス支援事業	601,258	544,154	90.50
	76	就労支援事業	60,716	60,269	99.26
	77	緊急雇用対策事業	460,074	456,556	99.24
	78	産業展示会事業	26,500	26,344	99.41
	79	創業支援施設の管理運営事業	45,652	45,167	98.94
	80	産学公連携促進事業	9,564	8,175	85.48
	81	商店街環境整備支援事業 / 商店街活動支援事業	179,040	165,645	92.52
	82	生活安全支援事務(ビューティフル・ウィンドウズ運動)	175,197	166,289	94.92
	83	美化推進事業	26,152	24,959	95.44
	84	生活環境保全対策事業(ごみ屋敷等対策事業)	3,941	1,957	49.66
	85	自転車の放置対策事業 / 民営自転車駐車場設置補助金交付事業	312,741	309,535	98.97
	86	環境計画推進事業(経常)(クリーンエネルギー等の普及促進)	147,391	140,767	95.51
87	資源化物行政回収事業	988,992	918,946	92.92	
88	国民健康保険一般事務(ジェネリック医薬品の普及促進)	382,324	339,242	88.73	
89	国民体育大会推進事業	158,202	154,009	97.35	
合計			5,191,414	4,940,020	
ま ち し く ら	90	鉄道立体化の促進事業	7,005,630	4,393,121	62.71
	91	防災訓練実施事業	52,921	50,409	95.25
	92	道路の新設事業 / 道路の改良事業	865,713	780,726	90.18
	93	密集市街地整備事業 / 都市防災不燃化促進事業	483,707	340,946	70.49
	94	建築物耐震化促進事業 / 老朽家屋対策事業 / 細街路整備事業	1,354,989	1,165,640	86.03
	95	緑の普及啓発事業	38,667	35,317	91.34
	96	公園等の整備事業	1,142,536	1,078,827	94.42
合計			10,944,163	7,844,986	
経 営 改 革	97	公共サービス改革の推進事務	136,995	131,101	95.70
	98	シティプロモーション事業	20,122	18,689	92.88
	99	住民基本台帳事務(証明書のコンビニ交付)	52,034	48,929	94.03
合計			209,151	198,719	
総計(48事業)			26,196,873	22,527,418	

執行率が80%未満の事業は、該当ページに主な不用額説明(予算現額と決算額との差)を記載しています。

# 平成25年度 足立区の挑戦〔1〕

## 孤立ゼロプロジェクト

### 「お互いさま」のまちづくり

気づく：6,152千円



町会・自治会からの調査員640名が民生・児童委員と連携して、8,226世帯へ「世間話をする頻度」「困りごとの相談相手」などについて、聴き取り調査を実施しました。

高齢者実態調査経費【2,496千円】

孤立ゼロプロジェクト推進連絡会経費【411千円】

消耗品など【3,245千円】

つなげる：88,602千円



調査の結果は、関係機関と情報共有するとともに、地域包括支援センターにて状況を確認し、605世帯を各施設や必要なサービスにつなげました。また、各地域包括支援センターで開催する「あんしんネットワーク連絡会」において情報共有を図りました。

地域包括支援センター業務委託経費【88,602千円】

寄り添う：5,563千円



「絆のあんしん協力員定期訪問の手引き」を作成し、実態調査に取り組んだ町会・自治会員や希望者を対象に「絆のあんしん協力員養成研修」を9回開催して396名が「絆のあんしん協力員」として登録しました。

データベース作成経費【2,507千円】

絆のあんしん協力員の手引き【719千円】

消耗品など【2,337千円】

### 絆のあんしん協力員登録者396人



絆のあんしん協力員定期訪問の手引き

	絆のあんしん協力員養成研修実施結果	参加者数
第1回	平成25年6月6日(木) 9:00~10:15	149人
第2回	平成25年6月6日(木) 14:00~15:15	156人
第3回	平成25年6月7日(金) 9:00~10:15	88人
第4回	平成25年6月7日(金) 14:00~15:15	87人
第5回	平成25年10月27日(日) 14:00~15:15	20人
第6回	平成25年10月29日(火) 14:00~15:15	75人
第7回	平成25年11月1日(金) 14:00~15:15	49人
第8回	平成25年11月17日(日) 10:30~11:45	19人
第9回	平成25年11月19日(火) 14:00~15:15	58人
	合計	701人

# 孤立ゼロプロジェクト本格始動!

## 1 孤立ゼロプロジェクト実態調査開始町会・自治会【平成26年3月31日現在】

町会・自治会数	活動開始町会・自治会数	実施率
436	113	25.92%

【内訳】

・調査準備中: 5団体 ・調査中: 20団体 ・調査済: 88団体

## 2 孤立ゼロプロジェクト実態調査実施状況【調査終了町会・自治会: 88団体】

区分	調査世帯数	入院・不在等	孤立のおそれ	不同意
70歳以上単身世帯	6,549世帯	525世帯	750世帯	215世帯
75歳以上のみ世帯	1,677世帯	32世帯	143世帯・286人	55世帯・110人
合計	8,226世帯	557世帯	893世帯・1,036人	270世帯・325人

## 3 孤立の恐れがあると判断された世帯のその後の対応

対象世帯 893世帯 1,036人

地域包括支援センターにより状況確認中	孤立状態ではないと判断	絆のあんしん協力員の訪問	地域包括支援センターによる支援	介護保険サービス等開始
288世帯 336人 (32.3%)	344世帯 409人 (38.5%)	70世帯 77人 (7.8%)	145世帯 160人 (16.2%)	46世帯 54人 (5.2%)

## “居場所づくり”から“社会参加”へ



住区センター・悠々館や地域サロン活動（ふれあいの場）などでの交流につなげていきます。

自らが生きがいをもち、町会・自治会、地域学習センター、大学、NPO、ボランティア活動などに参加できるよう支援していきます。

担当課係

絆づくり担当課絆づくり事業調整担当

問合せ先(直通)

3880-5184

# 平成25年度 足立区の挑戦〔2〕

学びをつなぐ！足立の教育 ～基礎学力の徹底習得に向けて～

0歳～15歳までの「一連の学び」を提供して

## 全ての子どもたちの基礎的・基本的学力

### 民間教育機関を活用した学ぶ機会の提供

【あだち小学生基礎学習教室】(92,311千円)

対象：小学3・4年生 教科：国語・算数

【中学生補習講座】(11,471千円)

対象：中学2年生 教科：数学・英語

【足立はばたき塾】(25,470千円)

対象：中学3年生 教科：数学・英語

### きめ細かい授業と指導

【副担任講師の配置】(369,880千円)

対象：小学校は原則1年生 中学校は教科指導  
基礎学力重点校には増員配置

【多層指導モデルの実践】(1,010千円)

対象：モデル校 小学校5校

### 学習環境の充実

【学校図書館支援員の配置】(62,700千円)

対象：全中学校

【学校図書購入による蔵書充実】(74,667千円)

対象：全小中学校(31年度までに図書整備率100%)

### 学びのスムーズな連続(幼保 → 小 → 中)

【小中連携モデル事業】(2,036千円)

対象：モデル校 小中学校6校(3組)

【幼保小連携事業】(141千円)

対象：全小学校

幼稚園・認定こども園・保育所・認証保育所

### 就学前の学びの芽を育む

【あだち5歳児プログラム】

対象：全区立保育園・認定こども園

【絵本活動推進プロジェクト】(3,959千円)

対象：全区立保育園・認定こども園

【読み語り推進事業】

対象：各保健総合センター・全保育園

学力調査の結果を踏まえて、さらなる基礎学力の定着に取り組みます。



事業評価の結果を踏まえながら、引き続き事業に取り組みます。

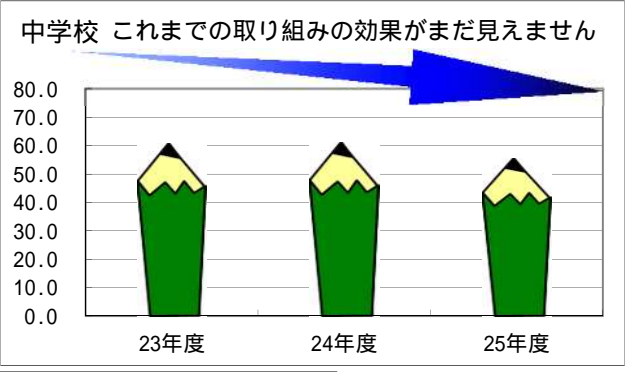
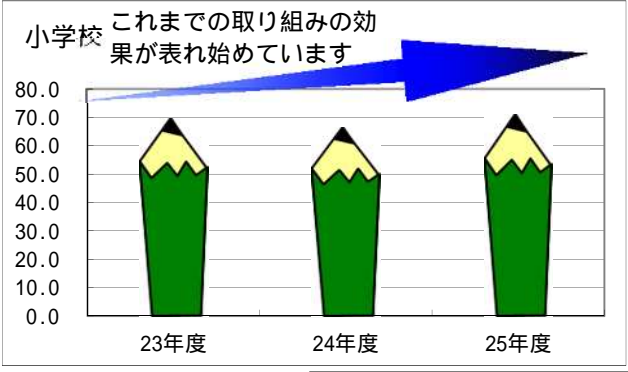
重点プロジェクトの分野:子ども

事業名: 学力向上対策推進事業 / 学力向上のための講師配置事業(副担任講師配置事業) / 教育課題解決への取組事務 ほか

関連頁: 53・54・55・56・57

の定着をめざしています

詳しい内容は、  
関連頁をご覧ください



26年度に挑戦するさらなる取り組み

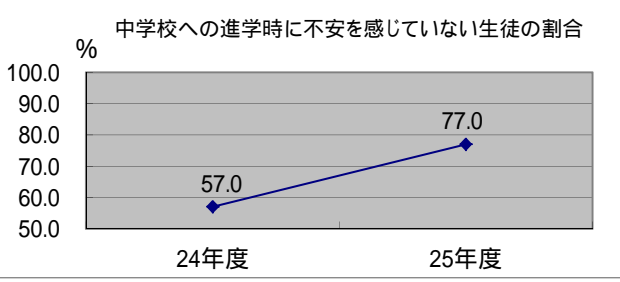
**小学校**  
そだち指導員の配置  
授業に遅れが生じた児童に、指導員が別教室等で個別指導を行います。

**小・中学校**  
教員養成講座  
民間塾によるインターネットを活用した教員養成講座を導入し、若手教員の授業力アップを支援します。

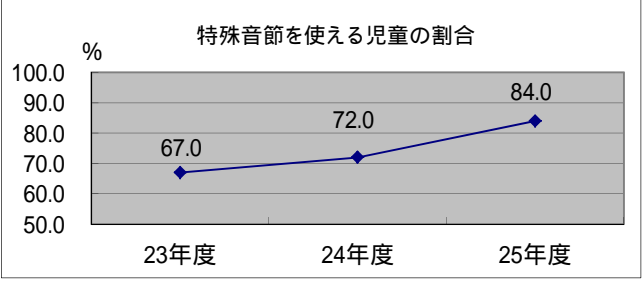
**中学校**  
教科指導専門員の配置  
中学生の国語・数学・英語3教科の学力定着に向けて、教員の授業力アップを支援します。

**中学校**  
中1夏季勉強合宿  
数学のつまずき解消のため、数学が苦手な生徒に対して宿泊勉強会を実施します。

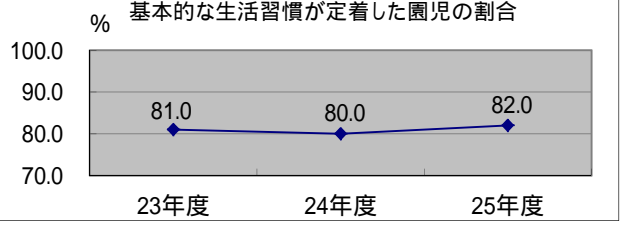
小中連携モデル事業



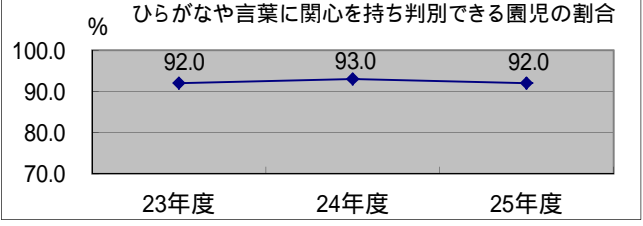
多層指導モデルの実践



幼児教育推進事業



幼児教育推進事業



担当課係	学力定着推進担当課(係) 幼児プロジェクト推進担当課(係) 教育政策課学校経理係 教育指導室教育指導係・調査担当 教職員課事業推進係 子ども家庭課子ども施策推進担当	問合せ先(直通)	3880-6717 3880-5431 3880-5483 3880-5974 3880-5964 3880-5266
------	---	----------	--



# 平成25年度 足立区の挑戦〔3〕

体験で学ぶ！ 学びの楽しさを発見！ -大学連携・自然教室・こども未来創造館

**あだち子ども百人一首大会** 対象：小・中学生  
参加人数：小学生285人  
中学生156人



【参加者の感想】  
「日頃の練習の成果が発揮できてよかった。」  
「次の大会にも出たい！」など

(2,469千円)

小学生の部・中学生の部に分けて開催

## 大学連携

(7,400千円)

**体験！1日大学生** 対象：中学生  
参加人数：521人

【アンケート結果】  
参加生徒の96%が  
「進路について考えるいい機会となった！」



大学の講義、研究室の見学  
(帝京科学大学千住キャンパス)

**夢の体験教室** 対象：小学校5・6年生  
参加人数：297人



大学生が行う授業を体験  
(帝京科学大学千住キャンパス)

【参加児童の感想】  
「大学生のお兄さん、お姉さんがいろいろ教えてくれてよかった。」  
「知らなかったことがいっぱいわかって楽しかった。」など

**大学遠足** 対象：小学校4年生  
参加人数：516人

【参加児童の感想】  
「葉っぱや石を使って遊びを工夫するのがおもしろかった。」  
「川の生き物をたくさん見つけられて楽しかった。」など



豊かな自然の中で野外活動  
(帝京科学大学上野原キャンパス他)

**ふれあい動物教室** 対象：小学校2年生  
参加人数：1,388人



小動物とのふれあい体験  
(区内各小学校)

【参加児童の感想】  
「触ってみたら気持ちよかった。」  
「動物と仲良くなれて楽しかった。」など

## 自然教室

(173,307千円)

**魚沼** 対象：中学校1年生  
または2年生  
参加人数：4,717人

【参加生徒の感想】  
「田植えをして農業の大変さがわかった。」  
「友だちと協力して生活ができた。」など



田植え体験

**日光** 対象：小学校6年生  
参加人数：5,364人



東照宮見学

【参加児童の感想】  
「東照宮は迫力があり、彫刻が綺麗だった。」  
「歴史や文化をもっと知りたいと思った。」など

**鋸南** 対象：小学校5年生  
参加人数：5,201人

【参加児童の感想】  
「いろいろな魚が捕れて嬉しかった。」  
「自分の知らない野菜を採った。」など



地引網体験

中学校での体験

小学校での体験

の向上

# どきどきワクワクの こども未来創造館

(525,625千円)

ギャラクシティは、「科学」「ものづくり」「体を動かす遊び・体験」の3分野を軸に、多彩な体験学習の機会を提供し、子どもたちの夢やチャレンジを支援しています。

## 科学



地球上で一番宇宙に近い「東京大学チリ・アタカマ天文台」など、現地の星空映像から宇宙の神秘を発見！

## 平成25年度総入場者数

**1,482,899人**

西新井文化ホール入場者数を除く



楽しく学べるサイエンスショー、迫力あふれる星空観望会など、多彩なプログラムを体験！

## ものづくり



食を楽しみ、豊かな知識を身に付ける『親子でプレ給食体験！あだちじまん給食』を体験！また、自由な発想で工作し、創造力や感性を高める『うちのアートフルガレージ』では、個性豊かなイスづくりを体験！など

あだちの職人さんと"ものづくり"プログラム『江戸木彫刻』『なまえプレート』づくり』『江戸指物』『ヒノキの本箱』づくり』『セルロイド』『まねきねこ』づくり』などでは、ものづくりを楽しみながら伝統文化を学習！

## 体を動かす遊び・体験



充実した設備を活かし、チャレンジ精神を刺激する楽しい運動プログラムを子どもたちが体験！

### <連携先の充実>

大学・ボランティア・NPO法人・民間企業などの豊富な連携先の協力で、専門的・魅力的なプログラムを展開しています。

担当課係

学務課自然教室係  
青少年課ギャラクシティ支援担当  
青少年課体験活動推進担当

問合せ先(直通)

3880-5970  
3880-5273  
3880-5967



# 平成25年度 足立区の挑戦〔4〕

ビューティフル・ウィンドウズ運動 ～協働でめざす 安全で安心なまち あだち～

## 「治安が良い」が「悪い」を初めて上回りました！

世論調査の結果、平成13年の調査開始以来、初めて治安を「良い」と感じている方が「悪い」を上回りました。



### 生活安全支援事務

#### 地域の見守り活動支援（106,572千円）

##### 地域防犯活動助成（1,496千円）

地域の防犯活動を支援するため、物品の購入等の助成を行いました（助成団体数18団体）。



##### 青パト貸出等の支援（4,118千円）

青色回転灯装備車両による区民のパトロールを推進するため、区民事務所に配車し、貸出を行いました。

25年度は新規に鹿浜区民事務所に配車しました（累計7台）。



##### 自転車盗対策（538千円）

###### がっちりロック大作戦

自転車商の協力で、シリンダー錠に交換

###### 高校生自転車盗難なくし隊 駅頭キャンペーン

###### 愛錠ロック大作戦

区営自転車駐車で鍵のかかっていない自転車を区が勝手に施錠し、持ち主に指導する啓発事業

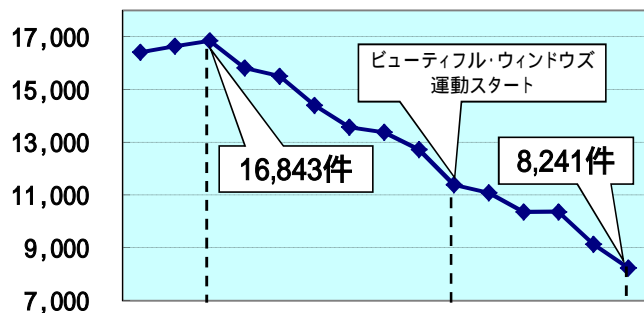
支出は啓発グッズのみでした。



刑法犯認知件数がピーク時の半分に減り、統計史上初めて都内ワースト3を脱却して、4位になったよ！



件数 足立区刑法犯認知件数の推移



平成13年 平成20年 平成25年

##### 防犯カメラの設置助成（100,648千円）

24・25年度の短期集中で共同住宅街角防犯カメラ設置助成を行い、24年度317台、25年度390台を設置し、25年度で終了しました。

また、町会・自治会街角防犯カメラ設置助成により3団体・31台の助成を行いました。その他、郵送料等（310千円）

**防犯カメラ  
設置1,000台  
突破！**



防犯パトロール委託（緊急雇用対策事業77,449千円）  
青パト・青パイによるパトロール委託のほかに、緊急雇用対策事業を活用し、主要駅周辺の徒歩パトロールを行いました（291日×25人）。



## 美化推進事業

### 美化啓発活動の実施 (7,047千円)

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を支える「ビューティフル・パートナー」の拡大のため、「ロゴ入りごみ袋」「ロゴ入り帽子」「ロゴ入り缶バッジ」等を作製しました。

美化強化期間(10、11月)に行われる運動会等の地域イベントに合わせて、クリーン作戦等を行う、「ごみとお花をトレード!~あなたの花で、ちょっといいまち~」を実施しました(参加者77,618人)。



### 地域清掃活動への支援等 (3,550千円)

「ごみゼロ地域清掃活動~あなたのまちを、あなたのちからで~」を全区的に展開し、町会・自治会、小・中学校、高校、大学、商店街、事業所等、2万人以上の方々が参加しました。

定期的に地域清掃活動に取り組む団体をさらに増加させることを目的に、「門掃き支援事業要綱」を「清掃美化活動支援実施要綱」に改正したところ、25年度は116団体が登録しました(改正前は55団体)。  
【参加団体数:事業所29、町会・自治会54、学校等11、商店街9、その他13】



### 花いっぱい運動の実施 (4,872千円)

花を軒先で育て、まちを彩る「美化」の推進と、水やりの際に通りがかる子どもたちを見守ることによる「防犯」効果を図る「花のあるまちかど事業」を15園の保育園において、先行的に実施しました。

「花いっぱいコンクール」に82団体(地域33、学校49)が参加しました。「千住花\*花会」の活動支援を行いました(北千住駅ペDESTリアンデッキの花壇管理やクリスマスリースづくり講習会の開催等)。

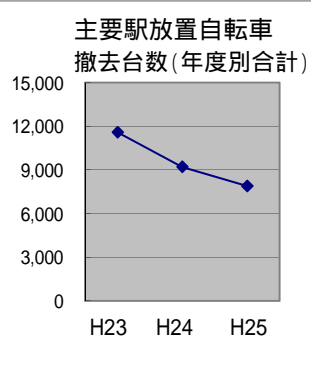


## 自転車の放置対策事業

### 自転車の放置対策事業 (296,167千円)

自転車駐車場への誘導を重点に置いた放置自転車対策の強化等により、放置自転車が継続的に減少しました。その結果、撤去台数も年々減少しています。

東京都実態調査における  
駅前自転車放置率が2年連続で  
23区最小(0.5%)を達成!



主要駅放置自転車撤去台数(内訳)

駅名	25年度
北千住	2,889
西新井	587
竹ノ塚	1,943
綾瀬	2,484
合計	7,903

担当課係	危機管理課生活安全推進担当 地域調整課美化推進係 交通対策課自転車係	問合せ先(直通)	3880-5838 3880-5856 3880-5914
------	--	----------	-------------------------------------

# 平成25年度 足立区の挑戦〔5〕

区内企業・区民の「頑張る!」「挑む!」を応援します

## 3つの柱

【支える】 挑戦意欲を応援

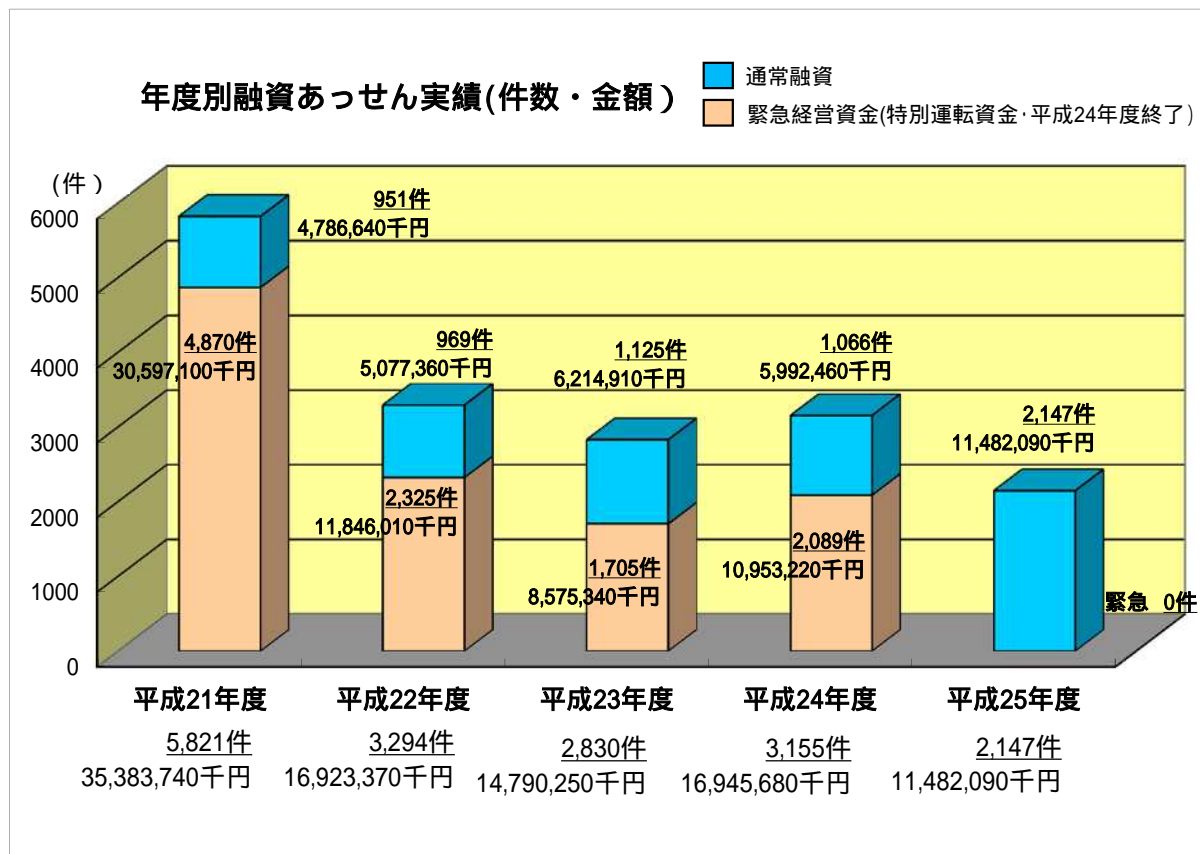
【創る】 新たな創造を応援

【飛躍する】 未来への旅立ちを応援

### 【支える】 企業の資金面を強固にサポート

平成24年度緊急経営資金を終了後においても、既存の融資事業(経営革新資金・経営安定資金・創業資金等)の内容充実を図り、資金調達が円滑に行われるように支援を行いました。

**中小企業融資事業 469,635千円**



重点プロジェクトの分野:くらし

就労支援事業 / 中小企業融資事業 / 経営革新支援事業 / 産業展示会事業 / 足立 事業名: ブランド認定推進事業 / ニュービジネス支援事業 / 産学公連携促進事業(全て重点 プロジェクト事業)	関連頁: 75・76・77・78・80
--	---------------------

## 【創る】 区内企業が新たな道を切り開くために

各事業の連携を強化し展開することで、「区内中小企業の販路拡大」「意欲的な中小企業の発掘と育成」「地域住民への区内産業のPR」に繋がりました。

### 経営革新支援事業 40,564千円

社会の変化に対応した経営革新及び販路開拓・拡大をサポート。  
 ものづくり応援助成54件  
 ホームページ作成助成81件 等

### 産業展示会事業 26,344千円

産業展示会「あだちメッセ」を平成26年1月17日(金)、18日(土)にシアター1010で開催。  
 ・103社の技術と商品を紹介  
 ・受発注情報交換会で66件の個別商談を提供  
 ・養老孟司氏の記念講演と8本のビジネスセミナーを実施

### ニュービジネス支援事業 33,955千円

創業プランコンテスト  
 ビジネスチャレンジ

斬新なプランで創業した方や、新製品の開発などにチャレンジする事業者を支援。  
 創業プランコンテスト 応募5社 1社助成  
 ビジネスチャレンジ 新規分応募13社 4社助成  
 継続分応募 4社 4社助成

### 産学公連携促進事業 8,175千円

東京電機大学に業務委託し、産学連携コーディネーターによる企業の技術相談支援や企業と大学との交流事業を実施。  
 ・産学連携コーディネーターによる技術相談・仲介件数218件  
 ・企業と大学との交流事業 開催回数13回、参加人数620人

### 足立ブランド認定推進事業 26,180千円

新規認定企業2社を加え、足立ブランド認定企業37社。  
 TASKものづくり大賞を2年連続受賞。区外大型商業施設での販売会等で足立のものづくりをPR。

## 【飛躍する】 正社員など、新たな人生へ踏み出すために

就労に繋がる多様な支援を行いました。

就労支援事業 60,269千円

緊急雇用対策事業活用分 47,378千円

### 若者正社員サポートプログラム

研修と企業での就業体験から正規雇用を目指しました。  
 就労決定者 25人

### 新卒高校生向け就労支援事業

新卒高校生を対象に就職面接会を実施しました。  
 就労決定者 4人  
 在校生を対象にキャリア教育セミナーを実施しました。  
 区内高等学校 3校

### あだち若者サポートステーション

就活基礎支援セミナーを新規実施しました。  
 就労等進路決定者 323人

### マンスリー就職面接会・事前セミナー

ハローワーク足立・荒川区との合同開催を継続しました。  
 就職決定者 70人

### セーフティネットあだち

NPOと協働して、ひきこもり状態にならないように、次のステップに繋げる支援をしました。  
 延べ相談者 1,466人

担当課係 産業政策課管理係

問合せ先(直通)

3880-5182

# 平成25年度 足立区の挑戦〔6〕

大震災の発生 その日に備えて ~ 防災・減災事業を強化します ~

## 大震災の発生 その日に備えて

復興税を活用し、防災・減災事業を強化中

### 平成25年度の活用実績

#### 1 建築物耐震化の促進

192,860千円

耐震改修工事助成 39件  
解体除却工事助成375件

#### 2 老朽危険家屋対策

5,218千円

老朽家屋解体工事助成11件

#### 3 橋梁の耐震補強事業

10,074千円

桑袋大橋耐震補強等  
設計委託

#### 4 公園防災対策設備設置

37,585千円

20か所設計委託  
3か所設置工事

復興税  
245,737千円  
充当

「東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律(平成23年法律第118号)」の公布を受けて、復興税(平成26年度から10年間、特別区民税の均等割額を500円増額)を財源とした事業を実施しています。

### 1 建築物耐震化の促進

事業費 923,615千円 に対し  
復興税 192,860千円 を充当

「木造住宅の耐震改修工事および解体除却工事助成」に復興税を活用。平成27年度まで助成限度額を時限的に拡充し、その上乗せ分に復興税を充当して、危険解消に努めています。

#### 平成25年度復興税活用実績

耐震改修工事助成 39件 15,894千円  
解体除却工事助成 375件 176,966千円

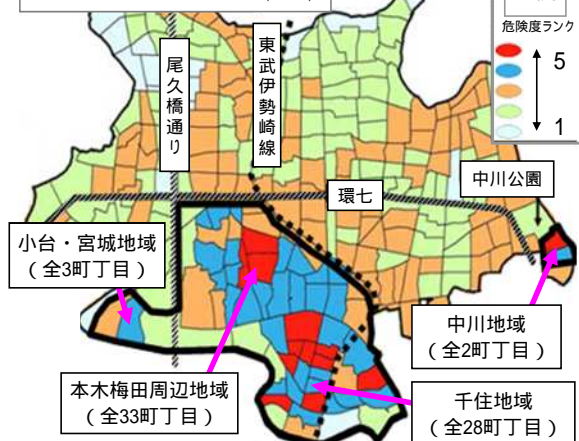
特に建物倒壊危険度の高い地域(右図参照)に限定し、木造住宅の耐震改修工事費用の助成限度額を増額

・一般世帯：対象工事費2分の1以下で  
上限80万円を120万円に増額

・特例世帯：対象工事費2分の1以下で  
上限100万円を150万円に増額

建物倒壊危険度ランク図

-地震に関する地域危険度測定調査(第6回)-





事業名: <b>復興税を活用した防災・減災事業</b>	関連頁: 92・94・96・100
-----------------------------	-------------------

<b>2 老朽危険家屋対策</b>	事業費 10,623千円 に対し 復興税 5,218千円 を充当
-------------------	-------------------------------------



助成内容  
区内全域で老朽危険家屋の解体工事費用の助成限度額50万円を、対象工事費の10分の9かつ上限100万円に増額



「老朽危険家屋解体工事助成」に復興税を活用。平成27年度まで助成限度額を時限的に拡充し、その上乗せ分に復興税を充当して、危険解消に努めています。

**平成25年度復興税活用実績**  
老朽家屋解体工事助成 11件 5,218千円

<b>3 橋梁の耐震補強事業</b>	事業費 10,074千円 に対し 復興税 10,074千円 を充当
--------------------	--------------------------------------



震災後の避難通路としての役割や主要道路における緊急車両などの通行機能を確保するため、橋梁の耐震補強等を実施しています。

**平成25年度復興税活用実績**

桑袋大橋耐震補強等設計業務委託  
10,074千円

本設計に基づき、震動や液状化等からの橋脚の防護、桁の落橋防止等の耐震補強工事を平成27年度までに行っていきます。

<b>4 区立公園の防災対策設備設置</b>	事業費 40,983千円 に対し 復興税 37,585千円 を充当
------------------------	--------------------------------------



関屋公園防災井戸



災害緊急トイレ

平成25年度から平成27年度までの3年間で、52か所の区立公園に災害緊急トイレ、防災井戸およびソーラーLED照明を設置します。

**平成25年度復興税活用実績**

・設計委託 20か所 7,401千円  
・設置工事 3か所(関屋、栗島、中央公園) 30,184千円

担当課係	1・2 建築安全課建築防災係	3 街路橋りょう課事業計画係	4 企画調整課企画調整担当・みどり推進課公園建設係
問合せ先(直通)	3880-5317	3880-5921	3880-5348      3880-5896

# 平成25年度 足立区の挑戦〔7〕

## 時代が求める公園への転換

### 魅力ある地域の公園づくり ～パークイノベーション～

「魅力ある地域の公園づくり」を「パークイノベーション」という言葉で表しています。

既存の公園を「にぎわいの公園」と「やすらぎの公園」に分類し、利用者が目的別に選ぶことができるよう配置することで、魅力ある地域の公園としていきます。

公園トイレ等の適正配置の考え方に基づき、建替えや改修及び廃止、公園灯のLED化や遊具等の適正配置などにより維持管理経費の削減に努めます。

日常的に公園を利用できる範囲に異なるテーマの公園を配置

#### にぎわいの公園

健康や様々な遊びなどをテーマに多くの世代が集まり、活発に活動できる公園づくりをめざします



#### やすらぎの公園

花や緑を楽しみながらベンチや陽だまりで憩える空間づくりをめざします



### 平成25年度 パークイノベーション決算概要

平成25年度公園等利活用実態調査委託（国・起業支援型地域雇用創造事業）  
15,345千円（緊急雇用対策事業）

公園等利用者へのアンケート調査（利用状況、満足度等）

あだち公園いきいきプラン推進計画（パークイノベーション）の策定委託  
4,484千円（公園・親水施設等の維持管理事業）

公園等及び公園施設の再配置計画案の作成

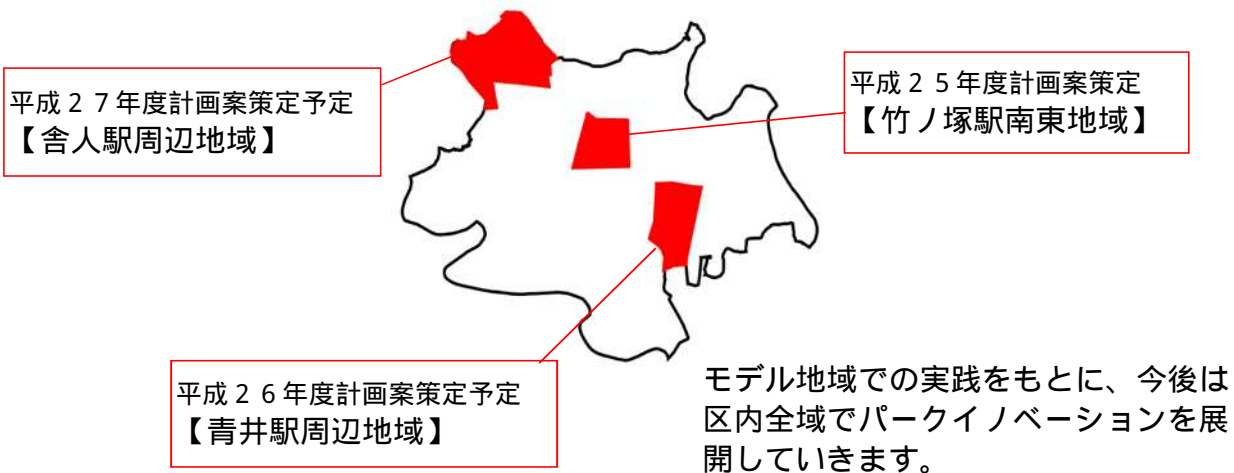
## 平成25年度モデル地域【竹ノ塚駅南東地域】での取組み

地域懇談会の開催(2回)  
各公園等の特色付け等について、意見交換を行い、計画案を策定しました。

計画案の概要



## モデル地域での実践を経て区全域に展開



担当課係 みどり推進課計画係

問合せ先(直通)

3880-5423



事業名: 区立認定こども園運営管理事業 / 私立認定こども園施設整備助成事業 / 私立認定こども園事業費補助事業	予算現額	432,429 千円
	決算額	418,051 千円
	執行率	96.68 %

## 「認定こども園」

～幼稚園・保育所の機能と運営の一体化～

### 区立認定こども園の管理・運営、私立認定こども園の運営補助の実施

#### 【この事業を支えた支出】

都の支出	: 112,058千円
区の支出	: 235,423千円
利用者の支出	: 63,525千円
その他の支出	: 7,045千円

#### 【事業の目的・概要】

区立認定こども園の運営・管理を行い、乳幼児期の保育・教育の充実をめざしました。私立認定こども園の設置者に対し、経費の一部を補助することにより就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供と、利用者へのサービス推進を図りました。

#### 区立認定こども園管理運営事業

150,686千円 (3園 1園あたり50,228千円)

区立認定こども園において、一人ひとりの子どものたくましく生き抜く力を育むために教育・保育の充実を図るとともに、光熱水費や給食調理委託等の経費支出等の運営・管理を実施しました。



(1～3歳児 計141名)  
乳児にふさわしい  
環境整備と保育の提供

給食調理委託・賄費	98,025 千円
光熱水費・電話料金	21,873 千円
園医報酬 臨時職員賃金	16,164 千円
保育教材・用品	8,240 千円
廃棄物処分委託・ バス賃借等	6,384 千円



(4・5歳児 計260名)  
就学を意識した指導の  
実践、保育内容の充実

#### 私立認定こども園事業

267,365千円

#### 私立認定こども園事業費補助事業

267,365千円

延長保育事業、子育て家庭を対象に子育て相談事業や親子の集いの場の提供を行う園に対し、運営費の一部を補助しました。

運営費補助 (幼稚園型)	172,477 千円 (7園 1園あたり24,639千円)	利用延人数	4,903名
運営費補助 (地方裁量型)	64,492 千円 (区内1園・管外1園)	利用延人数	788名
利用者助成	26,313 千円	利用延人数	1,576名
その他 (子育て支援事業費補助等)	4,083 千円	利用延人数	701名

担当課係	子ども家庭課私立幼稚園係	問合せ先 (直通)	3 8 8 0 - 6 1 4 7
	子ども・子育て施設課子ども施設管理係		3 8 8 0 - 5 8 8 8



事業名: <b>幼児教育振興事業</b>	予算現額	41,366 千円
	決算額	39,663 千円
	執行率	95.88 %

## 学びの芽の育みと小学校教育への滑らかな移行 ～あだち5歳児プログラムの活用、幼保小連携活動の実施～

【この事業を支えた支出】  
都の支出: 947千円  
区の支出: 38,716千円

### 【事業の概要】

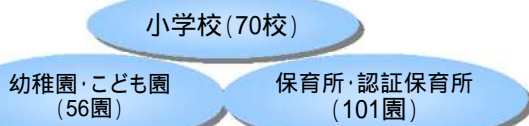
「あだち5歳児プログラム」等の実践をはじめ、幼保小連携ブロック会議や交流活動等の推進により、就学前の子どもたちの学びの芽を育み、幼児教育から小学校教育への滑らかな移行に向けて、幼児教育の充実を図りました。

長時間の預かり保育及び満3歳児入園を実施する私立幼稚園に運営費を助成することにより、幼児教育の環境や内容により、保護者が園を選択できる機会の拡大に寄与しました。

### 幼稚園・保育所・小学校の連携 2,711千円

#### 幼保小連携による交流活動 141千円(食糧費・消耗品費)

##### ブロック会議



区内を13の地域に分けて、幼稚園・保育所・認証保育所、小学校の関係者が、延べ42回にわたり、移行期に関する子どもたちの情報を共有し、日々の教育・保育に活かしました。



##### 交流活動

小学校給食体験等(参加4,039名)  
私立幼稚園33園、区立こども園3園  
公私立保育所84園、認証保育所3園

幼稚園・保育所等の5歳児が小学校の給食体験、授業体験、施設体験を通して、小学校の基本的な生活を体験しました。また、職員同士の交流も実施し、保育・教育内容の相互理解を深め、指導に活かしました。



職員交流研修(1年生・5歳児担任)

#### 研修会等 2,570千円(報償費・委託料)

園内研修の充実	(園内研修の支援)	12園	参加人数	682名
園長等の研修会	(園の管理者向研修)	2回	受講者数	95名
年齢別担任等の研修会	(園の指導者向研修)	18回	受講者数	1,472名
移行期研修会	(移行期に関する幼保小全体の研修)	1回	受講者数	174名
コーディネーショントレーニング研修	・リーダー育成	5回	受講者数	281名
	・実技	4回	受講者数	321名
コーディネーショントレーニング推進園指導委託	・推進園5園巡回指導		延べ20回指導	
	・推進園報告会		受講者数	101名

### 私立幼稚園との連携による環境整備 36,952千円

#### 幼稚園教育奨励助成事業 23,002千円(実施6園 1園あたり3,833千円)

長時間保育を実施する私立幼稚園に補助金を助成し、就労世帯においても、幼児教育の環境や内容によって、幼稚園の選択をできるような体制整備に寄与しました。

利用延人数 1,246名

#### 私立幼稚園満3歳児就園推進事業 13,950千円(実施4園 1園あたり3,487千円)

満3歳児入園を実施する私立幼稚園に補助金を助成することにより、子育て支援を充実し、早期就園ができる体制整備に寄与しました。

利用延人数 410名

担当課係	子ども家庭課子ども施策推進担当	問合せ先(直通)	3880-5266
------	-----------------	----------	-----------

事業名: <b>学力向上のための講師配置事業 (副担任講師配置事業)</b>	予算現額	412,510 千円
	決算額	369,880 千円
	執行率	89.67 %

# 副担任講師の配置

**【この事業を支えた支出】**  
 区の支出: 340,477千円  
 社会保険料: 29,403千円

## 【事業の概要】

小・中学校に区独自の非常勤講師「副担任講師」を配置しています。  
 副担任講師は、少人数指導やチーム・ティーチング指導などの多様な学習指導や、きめ細かな生活指導を学級担任と連携して行い、児童・生徒が確かな学力と生活習慣を身につけることをめざしています。

チーム・ティーチングとは・・・

メインとサブの先生に分かれ、分担協力し児童・生徒の個々に応じた学習指導を行うこと。

# 確かな学力と生活習慣の定着

**小学校に  
副担任講師  
67校102名配置  
【218,337千円】**

副担任講師は、原則として小学校1年生に配置し、子どもたちのスムーズな学校適応を図るため、朝会をはじめ、給食時間や清掃時間など、児童の学校生活全般に関わり、きめ細かな生活指導を行いました。

1年生が抱えるさまざまな不安を担任とともに軽減し、学習と学校生活に早期に適応できるよう支援を行いました。

学力の向上につながる提案をした学校(67校)に副担任講師102名を配置しました(平成26年3月末現在)。

**中学校に  
副担任講師  
36校44名配置  
【116,346千円】**

副担任講師は国語・社会・数学・理科・英語の教科指導を行っています。少人数指導やチーム・ティーチング指導をはじめ、授業の「つまずき」を早期解決するための個別指導など、生徒に応じたきめ細かな指導を行いました。生徒の生活面においても教員と連携した指導を行いました。

学力の向上につながる提案をした学校(36校)に副担任講師44名を配置しました(平成26年3月末現在)。

## さらに!

**基礎学力重点校11校に講師11名増員【35,197千円】**

基礎学力の定着が必要である小・中学校を指定し、副担任講師を増員配置しました。

小・中学校の基礎学力の定着を図るため、副担任講師を増員し、少人数指導やチーム・ティーチング指導など、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導を行いました。

小・中学校の基礎学力重点校(11校)に副担任講師11名を配置しました。

**【副担任講師の年間一人あたりの平均人件費】**

週15時間講師・・・約 1,380千円

週30時間講師・・・約 3,380千円

(共済費・交通費含む)



担当課係 教職員課事業推進係

問合せ先(直通)

3880-5964

事業名： <b>学力向上対策推進事業</b>	予算現額	138,754 千円
	決算額	129,252 千円
	執行率	93.15 %



基礎学力の定着 + さらなる学力アップ

【この事業を支えた支出】  
区の支出：129,252千円

## 『学びの機会』がさらに充実！

【事業の概要】

基礎的・基本的な学力の定着と学習意欲の向上を図るため、民間教育事業者を活用した補充学習教室を小・中学校で継続実施しました。

### あだち小学生基礎学習教室【92,311千円】

事業委託92,311千円

水曜日の放課後や土曜日を利用して、小学校3年生までに定着してほしい四則計算、漢字の書き取りなどの定着のための基礎的な学習をしました。民間事業者の指導講師による少人数指導形式により、つまずきにあわせた学習と学習意欲の向上を図りました。

【教科】 国語・算数

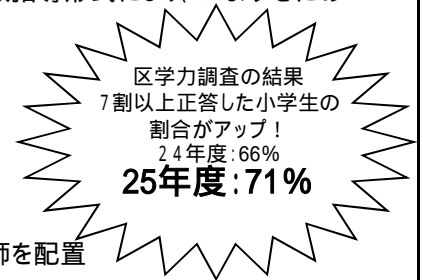
【実施期間】 前期：平成25年5月8日～平成25年10月14日  
後期：平成25年10月15日～平成26年3月22日

(水曜日18回 土曜日12回 各校1回90分×30回)

【対象者】 基礎学力の定着に課題のある小学3・4年生 各校20名以内

【受講者】 延べ1,810名

指導の困難度や指導人数によって、1校あたり2～4名の指導講師を配置



各校での補習教室やパワーアップタイム、サマースクールなど独自の取り組みで学びの連続性も確保

### 足立はばたき塾【25,470千円】

事業委託22,904千円、会場管理費など2,566千円

成績上位で学習意欲も高いが、経済的理由などで塾などの学習機会の少ない生徒を対象に、学校を通じて参加を募り、民間教育機関を活用して勉強会を実施しました。都立難関校といわれる進学指導重点校や進学指導特別推進校の受験をめざし、独自問題対策などにも取り組みました。

【教科】 数学・英語

【実施期間】 平成25年4月13日～平成26年2月15日  
(毎週土曜日34回 夏季・冬季講座15回 各回180分)

【対象者】 成績上位かつ経済的理由で塾などの学習機会の少ない生徒

【受講者】 中学3年生74名

【塾生の声】



はばたき塾で勉強して、進学できる高校の幅が広がったことで初めて「行きたい！」と思う高校を見つけることができました。

### 中学生補習講座【11,471千円】

事業委託10,545千円、教材など926千円

民間塾講師などによる5日間の補習講座です。中学前半でのつまずきを早期に解消して中学後半の学習に備えました。

教科別の参加も可能とし、より苦手とする問題に集中的に取り組み、学習意欲の向上、基礎学力の定着に取り組みました。

【教科】 数学・英語

【実施期間】 夏休み中の5日間 5日×2教科×50分

【対象者】 中学1年生までに身につける基礎学力の定着に不安のある中学2年生

【受講者】 1,489名

【参加生徒の声】



復習はとても大切なことで、勉強にもポイントがあることがわかりました。基礎を勉強したら、英語の考え方が変わりました。

担当課係 教育指導室教育指導係  
教育指導室調査担当

問合せ先(直通) 3880-5974  
3880-6597



事業名: 中学校放課後学習推進事業 / 学校図書充実事業	予算現額	80,235 千円
	決算額	74,786 千円
	執行率	93.21 %

# 学校図書館の充実を進めています

～学びの場の提供と読書環境の整備を行いました～

【この事業を支えた支出】  
区の支出: 74,786千円

## 【事業の概要】

全中学校37校の図書館に、司書または司書教諭の資格を有する学校図書館支援員を配置し、調べ学習や自習の場として放課後の図書館を開放するとともに、図書の整理や新書情報の発信・調べ学習のサポートなどによって、生徒たちが自主学習や読書を行うための支援を行っていきます。

## 学校図書館支援員(37人) 研修経費【119千円】

学校図書館支援員を全中学校37校に引き続き配置しました。

生徒たちが放課後に自主学習を行う場所として学校図書館を開放しています。

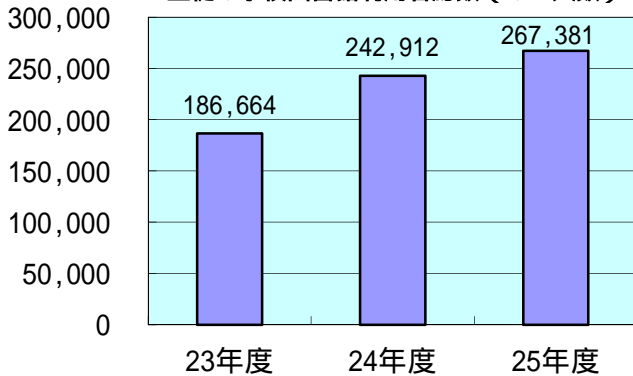
学校図書館支援員が調べ学習やインターネット検索などのサポートを行うことで、生徒の自主学習などを支援しています。

学校図書館支援員が、専門的な視点で図書の購入や廃棄を行い図書を管理しています。

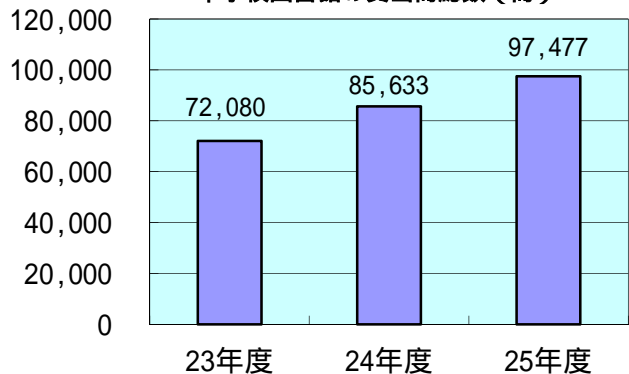
学校図書館支援員が、新刊書案内や図書だよりの発行・ポスター提示など、さまざまな取り組みを行い、生徒たちの利用しやすい環境を整えていきます。

学校図書館支援員(非常勤職員37人)の件費62,581千円は、別途、総務部人事課から支出しています。

生徒の学校図書館利用者総数(のべ人数)



中学校図書館の貸出冊総数(冊)



## 学校図書館の蔵書充実のための図書購入等経費【74,667千円】

平成24～31年度の8年間で図書整備率100%(国基準)達成をめざします。

平成25年度新規購入冊数 小学校 30,116冊 中学校 37,792冊

平成25年度の図書整備率は小学校で約95%に、中学校で約93%になりました。

担当課係	教職員課事業推進係 教育政策課学校経理係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 9 6 4 3 8 8 0 - 5 4 8 3
------	-------------------------	----------	--

事業名: 教育課題解決への取組事務 / 教職員の研修事務	予算現額	38,521 千円
	決算額	31,537 千円
	執行率	81.87 %

## 「中1ギャップ」「学習のつまずき」を乗り越えて

### 【この事業を支えた支出】

国の支出: 127千円  
 都の支出: 7,812千円  
 区の支出: 23,598千円

「中1ギャップ」  
 中学校の勉強が難しくついていけないか不安…。  
 中学校は教科によって先生が変わるから不安…。

「学習のつまずき」  
 小学校の教科書に出てくる「ねこ」と「ねっこ」の  
 ような言葉の区別がつきにくい…。

不安やつまずきを解消して学力定着を!

### 【事業の概要】小中連携モデル事業

小学校教育から中学校教育への円滑な接続と学力定着をめざして、小中合同研究や授業交流などに取り組みました。

### 【事業の概要】多層指導モデル実践

小学校低学年でつまずきやすい「特殊音節」に焦点を当てた具体的な指導(MIM)を実践し学力定着をめざしました。

[2,036千円] <内訳>

資料収集作成, 研究報告書作成など 1,901千円  
 研修会(7回)等講師謝礼 135千円

[1,010千円] <内訳>

研修会実施(4回) 273千円  
 教材費など 445千円  
 効果測定検査 292千円



### 【モデル校】

千寿常東小 ↔ 千寿桜堤中  
 皿沼小 ↔ 加賀中  
 花保小 ↔ 花保中



### 【モデル校】

千寿小 千寿本町小 舎人小  
 弥生小 中川東小

児童・生徒の学力定着のためのよりよい指導をめざして、小中のすべての教員が合同で研究協議を重ねながら、実践的な学習指導を行いました。

中学校の教員と小学校の教員が、互いの学校に出向き、それぞれのよさを生かしながらチームティーチングなどを行い、児童・生徒の学力定着に努めました。

9年間を見通したカリキュラムの作成や、小中の円滑な接続のための生活のきまりづくりを通して、小中の教員が共通理解を深めて指導にあたりました。

児童・生徒や教員が行事などを通して相互に交流し、進学時の不安解消に努めました。児童・生徒や教員に意識調査を行い、意識の変容を把握しました。

MIM(多層指導モデル)とは、通常の学級において、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援を行う指導モデルです。子どもが学習につまずく前に、また、つまずきが深刻化する前に指導・支援を行い学力定着をめざします。

低学年の児童がつまずきやすい特殊音節に焦点を当て、文字や語句を正しく読めるようにすることで、基礎的な学力の定着をめざします。

特殊音節

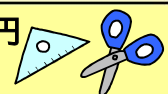
(例)のびる音(「スーパー」など)

つまる音(「そと」など)

ねじれる音(「ひょう」「きゃく」など)

区立小学校5校をMIM実践モデル校に指定し、MIMの実践を重ね、その成果を研修会などで区立全小学校に発信、学力定着につなげました。

部活動講師等謝礼 16,893千円 / スポーツ推進校消耗品費など 6,000千円  
 教職員の研修費用など 3,589千円 / 印刷製本費など 2,009千円



担当課係 教育指導室教育指導係

問合せ先(直通)

3 8 8 0 - 5 9 7 4

事業名：放課後子ども教室推進事業	予算現額	252,956 千円
	決算額	211,715 千円
	執行率	83.70 %

**【事業の概要】**

小学校の施設を活用して、子どもたちの放課後の安全・安心な居場所を提供しています。  
 地域の方々のご協力をいただき、子どもたちが遊びや学び、交流などのさまざまな活動を通して、自主性や社会性を養い、健やかにたくましく生き抜く力を育む環境づくりを進めています。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出：60,015千円  
 都の支出：60,015千円  
 区の支出：91,685千円



**遊び**



**交流**



延べ63万人超の子どもたちが、放課後子ども教室に参加しました。

運営委員会・ブロック会議を開催し、事業の継続かつ安定運営に向けた情報交換や協議、交流を行いました。

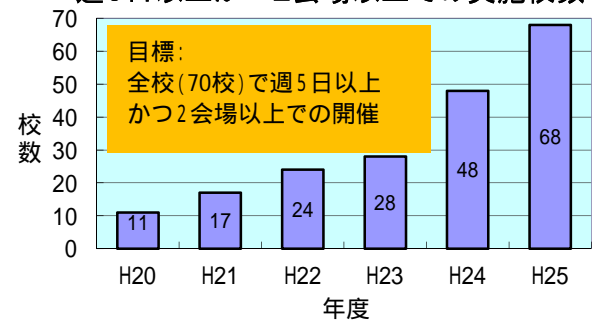
**子ども達の健やかな成長を**

**地域のちからが支えています。**

1千名超の方々が、安全管理スタッフとして子どもたちの活動を見守りました。

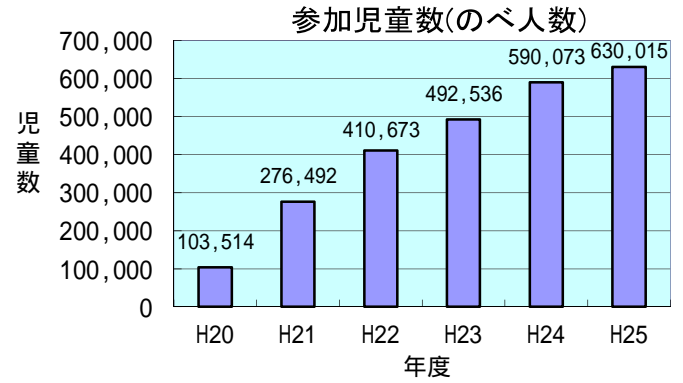


週5日以上かつ2会場以上での実施校数



**学び**

全校で図書室を活用した活動を行いました。



【経費内訳】 ・放課後子ども教室実行委員会等運営委託 207,327千円  
 ・電話料金 3,642千円 ・その他(床改修工事・巡回旅費) 746千円

担当課係	教育政策課放課後子ども教室担当	問合せ先(直通)	5 8 1 3 - 3 7 3 2
------	-----------------	----------	-------------------



事業名: こども未来創造館管理運営事務	予算現額	530,077 千円
	決算額	525,625 千円
	執行率	99.16 %



**【事業の概要】**

平成23・24年度の改修工事を経て、平成25年4月1日にリニューアルオープン。さまざまな体験を通じ、子どもたちの夢や可能性をサポートすることを目的とし、大学連携や区民参画、子どもの運営参加を取り入れながら、特色あふれる施設運営を行いました。

**【この事業を支えた支出】**

区の支出 : 468,245千円  
 利用者の支出 : 47,463千円  
 その他の支出 : 9,917千円

**施設運営委託経費 488,203千円**

**【内訳】**

事業費(人件費含む) 200,443千円  
 広報費 23,833千円  
 光熱水費 65,682千円  
 施設管理費 157,975千円  
 一般管理費等 40,270千円

当初目標  
372,326人

約4.0倍!

**平成25年度  
総入場者数  
1,482,899人!**

科学や運動、ものづくりなどの  
体験プログラム  
1,292,089人



世界最高地点のアタカマ  
天文台星空映像の投影や  
子どもたちの映像制作  
まるちたいけんドーム  
98,644人

当初目標  
55,820人

約1.8倍!

約6.6倍!

当初目標  
196,896人



**今年度の評価**

- ・多数のプログラムを実施し、当初目標以上の多くの方にご利用いただきました。
- ・連続講座やステップアップする体験プログラム、まるちたいけんドームを活用した特徴的なプログラムが少なかったと考えます。

**今後に向けた取り組み**

- ・体験した子どもたちの成長や自信につながるギャラクシティならではのプログラムに取り組めます。

音楽室やレクホールの  
貸室利用

92,166人

当初目標  
119,610人

約0.8倍

**運営評価・専門的アドバイスのための経費 640千円**

**【内訳】**

ギャラクシティ運営評価委員会 452千円  
 施設運営の評価を行う運営評価委員会。委員9名で4回実施。

ギャラクシティアドバイザー会議 60千円  
 各分野の専門家を招き、事業の充実を図るため、2回実施。

ギャラクシティ事業に関する講師謝礼等 128千円

**その他経費 36,782千円**

**【内訳】**

土地賃借料 22,201千円  
 漏水調査費 11,340千円  
 施設修繕費 1,658千円  
 消耗品費 609千円  
 路面シート作製等 974千円

担当課係	青少年課ギャラクシティ支援担当	問合せ先(直通)	3880-5273
------	-----------------	----------	-----------

事業名: <b>体験学習推進事業 / 小学校自然教室事業 / 中学校自然教室事業</b>	予算現額	186,369 千円
	決算額	183,647 千円
	執行率	98.54 %

【事業の目的・概要】

「伝統・文化」「自然体験」などの直接体験の機会と場を広く展開することで、子どもたちの学びや学習意欲の向上につなげます。

【この事業を支えた支出】  
区の支出 : 183,647千円

# 体験活動 から 学ぶ意欲 を育てます

## あだち子ども百人一首大会

[2,469千円]

小倉百人一首を通して、日本文化を慈しみ、尊重する気持ちを育みます。

平成26年3月1日(土)に第5回大会を島根小学校で開催しました。  
対象:全小中学生  
参加校数および人数:小学校70校 285人 中学校37校 156人  
内容:学校代表3人一組の対抗戦と個人戦を実施  
実施方法:小学生の部・中学生の部に分けて開催



[7,400千円]

## 大学連携事業

これらの体験活動とともに、  
大学生との異世代間交流によるコミュニケーション能力の向上も図ります。

### 「ふれあい動物教室」

小学校15校で実施しました(当初予定15校)。  
対象:小学校2年生  
参加人数:1,388人

### 「夢の体験教室」

平成25年6月29日に開催しました。  
対象:小学校5・6年生(全校対象)  
参加人数:297人(当初予定300人)

### 「体験!1日大学生」

平成25年6月22日・11月16日の2回開催しました。  
対象:全中学生  
参加人数:521人(当初予定700人)

### 「大学遠足」

小学校7校で実施しました(当初予定7校)。  
対象:小学校4年生  
参加人数:516人

【471千円】  
その他消耗品費など

自然教室は、宿泊を伴う規律ある集団生活とともに、  
自然や地域文化に親しむ社会体験学習により、心身の健全な育成を図ります。

## 魚沼自然教室



### 対象

中学校1年生または2年生 参加者4,717人

### 内容

農業体験や食文化体験、地元の皆さんとの交流を中心とした体験学習を行いました(魚沼市の民間宿泊施設に2泊3日)。

### 体験メニュー例

田植え・稲刈り、笹団子づくり、わら細工、軽登山・ハイキング、野外炊飯など

【87,236千円】

- ・バス借り上げ(156台)
- ・施設使用料
- ・随行看護師謝礼
- ・しおり印刷など

## 鋸南自然教室

### 対象

小学校5年生 参加者5,201人

### 内容

海や山などの豊かな自然の中で、地元の皆さんとの交流による体験学習を行いました(鋸南自然の家に2泊3日)。

### 体験メニュー例

野菜収穫、地引網、漁港見学など



【39,926千円】

- ・バス借り上げ(168台)
- ・指導補助員謝礼
- ・しおり印刷など

## 日光自然教室

### 対象

小学校6年生 参加者5,364人

### 内容

日光の自然や文化遺産にふれあい興味・関心を高めるとともに、ものづくりなどの体験活動を行いました(日光林間学園に2泊3日)。

### 体験メニュー例

二社一寺見学、ハイキング、日光彫体験など



【46,145千円】

- ・バス借り上げ(171台)
- ・指導補助員謝礼
- ・しおり印刷など

担当課係	学務課自然教室係 青少年課体験活動推進担当	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 9 7 0 3 8 8 0 - 5 9 6 7
------	--------------------------	----------	--



事業名: <b>小・中学校給食業務運営事業 (おいしい給食の推進)</b>	予算現額	2,500,018 千円
	決算額	2,467,892 千円
	執行率	98.71 %

**【事業の概要】**

学校、保護者、調理業者や生産者などとの協働により、児童・生徒が「給食」を通して生きる力や感謝の気持ちを育むための取り組みを行いました。  
乳幼児時期から一貫した「おいしい給食推進事業」を保育園、小・中学校へ、さらに定着させていきます。  
衛生部と協働し、糖尿病対策として「野菜の日」給食を実施しました。

**【この事業を支えた支出】**  
区の支出：2,467,892千円



**子どもたちの健康を育む 日本一おいしい給食をめざします!**

**給食メニューコンクール (572千円)**

食を通して健康を守るをテーマに旬の野菜をつかった献立を募集しました。

【テーマ】いろいろ野菜のカラフル給食

【応募総数】4,702作品  
(内訳) 小学校 2,236作品  
          中学校 2,466作品



第十中 田口あすかさん  
チキンスター  
夏野菜ソテー



加平小 近藤健斗さん  
切干大根のビビンバ丼

区長賞受賞作品

**おいしい給食推進委員会**

(71千円)

これまでの取り組み結果について検証するとともに、今後のおいしい給食事業についての事業方針を打ち出しました。

**表彰式**



参加賞の下敷き

**あだち区民まつりA-Festa2013～PR展示～ (8千円)**



パネル&  
パンの展示

レシピ本の  
販売

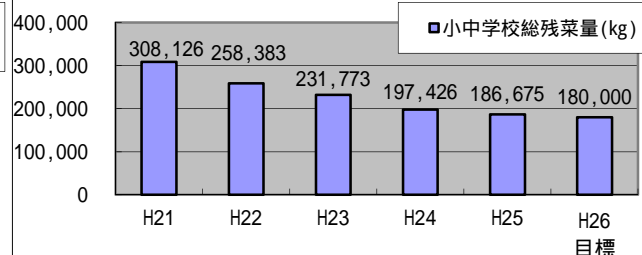
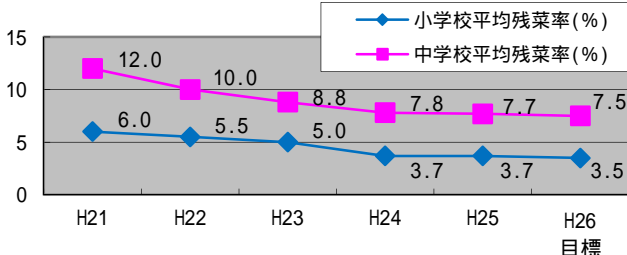


給食パンの販売  
揚げパン  
キャロット&  
明日葉パン

**大好評♪**



学校給食関連団体との協働で展示を行いました。



**運営経費**

調理委託 2,202,088千円    廃棄物処理委託 75,867千円  
調理用具購入 131,343千円    食材購入支援 44,691千円    清掃等 13,252千円

担当課係	おいしい給食担当課 学務課おいしい給食担当・学校給食係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 4 2 7 3 8 8 0 - 5 9 7 5
------	--------------------------------	----------	--

事業名: 予防接種事業 / がん検診事業	予算現額	885,006 千円
	決算額	858,587 千円
	執行率	97.01 %

**【事業の概要】**

ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチンの3つのワクチンは、平成25年4月から全額公費負担による定期予防接種となりました。  
 なお、がん検診の自己負担金は、予防接種の財源として充用しています。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出 : 33,051千円  
 都の支出 : 1,355千円  
 区の支出 : 823,965千円  
 利用者の支出 : 216千円

**1 ヒブ・小児用肺炎球菌接種 563,125千円**

対象 生後2か月から5歳未満の乳幼児  
 自己負担 無料(24年度までは半額程度の自己負担あり)  
 接種回数 接種開始年齢により、1回～最大4回

平成25年4月から定期予防接種化に伴い、全額公費負担にて接種となったため、ヒブ・小児用肺炎球菌とも総接種件数が約2倍に増加しました。

		24年度	25年度
ヒブ	総接種件数	12,419回	24,625回
	接種率	79.3%	93.7%
小児用肺炎球菌	総接種件数	12,507回	24,440回
	接種率	79.2%	93.4%

接種率は、0歳児で1回目を接種した乳児の割合

**2 子宮頸がんワクチン接種 17,032千円**

対象 13歳から16歳の女子  
 自己負担 無料  
 接種回数 3回

平成25年4月から定期予防接種となりましたが、平成25年6月に厚生労働省の通知に基づき予防接種の積極的勧奨を一時中止としたため、接種件数・接種率ともに減少しました。

		24年度	25年度
子宮頸がん	総接種件数	5,344回	1,001回
	接種率	70.5%	15.1%

接種率は、中学1年生で1回目を接種した女子の割合



**3 がん検診事業 278,430千円**

平成25年度からは、全てのがん検診について、原則一人当たりにかかる経費のうち委託料の3割程度の自己負担金を導入しましたが、特定健診受診券に申込ハガキを同封するなど申ししやすい環境づくりに努めた結果、25年度がん検診受診者数が前年度を上回りました。

平成25年度から身近な区内指定医療機関で受診できる胃がんハイリスク検診(ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査)を開始しました。

**【がん検診受診者数】**

	24年度	25年度
胃がんハイリスク	-	6,983人
大腸がん	20,499人	21,202人
子宮頸がん	18,347人	18,480人
乳がん	10,723人	12,057人
肺がん	168人	220人
前立腺がん	160人	422人

担当課係	保健予防課保健予防係 保健予防課健診事業係	問合せ先(直通)	3880-5892 3880-5121
------	--------------------------	----------	------------------------

事業名: こどもと家庭支援事業	予算現額	18,478 千円
	決算額	15,488 千円
	執行率	83.82 %

**【事業の概要】**

不登校が長期化することを予防するため、安定的な登校と段階的な教室復帰を目指し、登校しづりのある児童・生徒に対する自宅へのお迎え、学校の別室での寄り添い支援を行いました。  
 不登校をはじめとする様々な子どもの課題に対し、専門家が相談に応じるほか、小・中学校へのスクールカウンセラーの配置や不登校児童・生徒のためのチャレンジ学級(適応指導教室)での支援を行いました。

**【この事業を支えた支出】**  
 区の支出: 15,488千円



# 子どもの心身の健やかな成長を育むため、 家庭や学校をサポートしました。

**不登校への対応を支援する3つの取り組み 2,042千円**

**特別登校支援事業 1,105千円**

学校での取り組みを支援するため、別室登校による生徒の支援を行う中学校に対して、登校支援員(延べ8名)を派遣しました。登校状態の改善のほか、「学習や進路に対する意欲向上」、「他生徒への緊張緩和」などの効果がありました。

- 【実績】中学校(8校・40名、うち登校状態改善29名)
- 別室学習支援のための謝礼 1,083千円(延べ1,190時間)
- 研究図書、学習教材、指導用消耗品等 22千円

**寄り添い支援事業 808千円**

登校に付き添い、また校内での寄り添い支援を行う登校サポーター(延べ20名)を派遣しました。

- 【実績】小中学校合計時間数:延べ888時間(中学校重点校を除く)
- 小学校(10校・11名、登校状態改善7名)
- 中学校(4校・10名、登校状態改善4名)

**学識経験者等の専門家派遣事業 129千円** (希望する中学校4校に対して実施)

中学校の不登校対策を支援するため、校内研修会等へ専門家(延べ6名)を派遣しました。

**その他相談事業経費 13,446千円**

**学校支援員派遣事業 9,576千円**

学校への適応に課題のある子どもたちを支援するため、学校に専門の相談員を派遣しました。

- 【実績】学習支援講師(2名)を派遣し、発達障がい等のある48名の児童・生徒をサポートしました。
- 学校支援員(10名)を派遣し、授業の成立が困難な状態等の11学級をサポートしました。

**教育相談研修等の実施 2,601千円**

小学生2名、中学生69名がチャレンジ学級(適応指導教室)に通いました。

- 【実績】チャレンジ学級講師(1名)謝礼(延べ69回)
- 教員等への教育相談研修講師(延べ30名)謝礼(延べ86回)

**その他(消耗品、旅費など) 1,269千円**



担当課係	こども支援センターげんき特別支援係	問合せ先(直通)	3 8 5 2 - 2 8 7 5
	こども支援センターげんき教育相談係		3 8 5 2 - 2 8 7 2



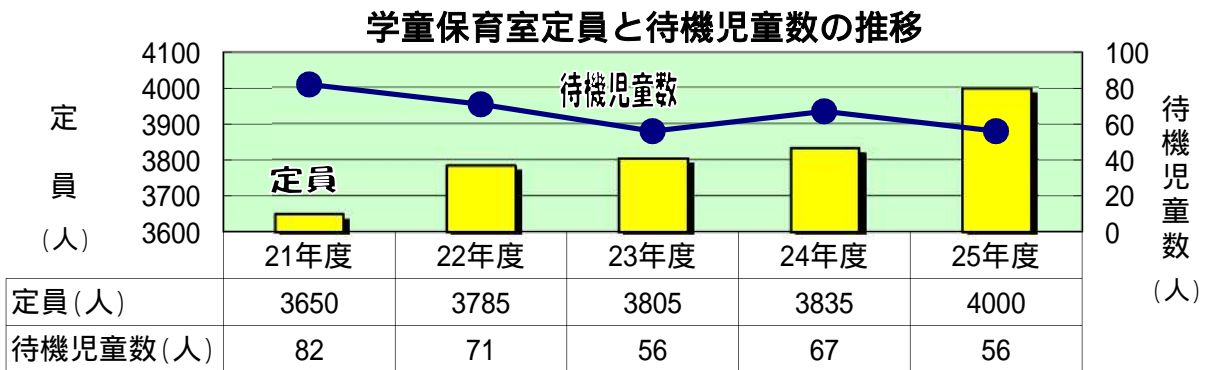
事業名: <b>学童保育室運営事業 / 学童保育室管理事務 / 住区施設運営委託事務(学童保育事業)</b>	予算現額	986,303 千円
	決算額	941,035 千円
	執行率	95.41 %

**学童保育の待機児童解消のために  
地域需要を見据えた待機児対策を進めました**

**【この事業を支えた支出】**  
 都の支出 : 48,666千円  
 区の支出 : 690,751千円  
 利用者の支出 : 201,618千円

**【事業の概要】**  
 子育てと仕事の両立や、児童の健全育成をサポートするために、小学校1年生から3年生を対象に学童保育事業を行っています。  
 近年、共働き家庭やひとり親家庭の増加などで学童保育の需要が高まるとともに、大規模住宅開発による大幅な人口流入により、待機児童の著しい地域偏在が発生しています。  
 今後も地域需要を踏まえた学童保育室の整備を行い、待機児童を解消し、安心して子育てしていただく環境を整えていきます。

**～待機児童解消に向けた取り組み～**



- 学童保育室の増設 (+140人)**  
 亀田第二学童保育室(定員50人 / 亀田小学校内)  
 新田学園第二学童保育室(定員50人 / 新田小学校第二校舎内)  
 さくら学童保育室(定員40人 / 綾瀬地区)
- 学童保育室の定員弾力化・定員見直し (+124人)**  
 待機児童数の多い地域の定員弾力化(99人)  
 及び定員の見直し(25人)を実施
- 児童館特例利用の推進 (+41人)**  
 保護者が働いているなどの理由で、昼間一人になる家庭の小学校1年生から3年生までの児童が、学校から一旦帰宅することなく、ランドセルを背負ったまま、直接児童館へ来館できる制度(登録者数41人)

これらの取り組みの結果、  
24年度よりも合計で

+305人

(学童保育室定員165人増を含む)

の放課後の居場所を確保することができました(32,871千円)。

**～子育て世帯をサポート～**

**特別延長保育実施室の拡大**  
 朝は8時から、夕方は19時までの特別延長保育実施室を3室増室(2,139千円)  
 全11室で実施。定員合計480人  
 この他、区が補助する民間学童保育室11室にて実施



担当課係	住区推進課学童保育係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 8 6 3
------	------------	----------	-------------------

事業名: <b>保育施設整備事業 / 私立保育園施設整備助成事業 / 保育室運営経費助成事業 / 認証保育所運営経費助成事業 等</b>	予算現額	3,269,835 千円
	決算額	3,199,796 千円
	執行率	97.86 %

**【事業の概要】**

認可保育所、小規模保育室の新規開設、家庭福祉員(保育ママ)の増員、グループ保育室の増設等を進め、待機児童の解消に取り組みました。  
 平成26年4月1日現在の保育定員は12,180名で、前年に比べ348名増員となりました。  
 平成26年4月1日現在の待機児童数は330名で、前年に比べ36名増加しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出 : 720,174千円  
 区の支出 : 2,479,517千円  
 その他の支出 : 105千円

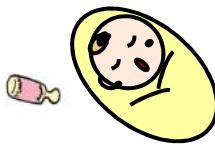
**待機児童解消と保育サービスの充実**

**～ 保育施設の整備 ～**

私立保育園施設整備助成事業【307,258千円】



新規開設  
 完了1施設 (50,000千円) 定員50名増  
 継続1施設 (18,418千円)  
 建て替え  
 継続2施設 (185,600千円)  
 大規模修繕・耐震改修等  
 完了9施設 (53,240千円)



**～ 施設利用者への助成 ～**

認証保育所等利用者助成事業【279,457千円】

助成児童数 延べ 19,367名



保育施設整備事業【26,250千円】

新規開設  
 小規模保育室 3施設 定員 57名増



認証保育所運営経費助成事業【1,627,029千円】

施設数 管内42か所、管外33か所  
 児童数 延べ 15,671名

(H26.4.1現在)

認証保育所A型(駅前型) 29施設  
 認証保育所B型(小規模型) 15施設  
 足立区小規模保育室 20施設

家庭福祉員保育経費助成事業【572,232千円】

新規 家庭福祉員 11名開業  
 グループ保育室 1室開設  
 (うち新規開設に要した経費 2,381千円)

受託児童数 延べ 5,238名



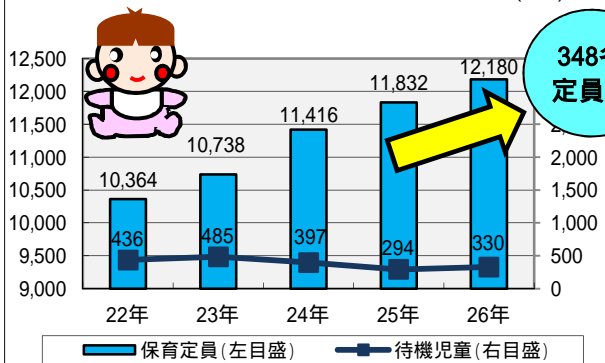
(H26.4.1現在)

家庭福祉員 162名  
 定員 473名  
 グループ保育室 4室(家庭福祉員10名)  
 定員 29名

保育室運営経費助成事業【387,570千円】  
 (小規模保育室)

施設数 20か所、児童数 延べ 3,331名

保育定員数と待機児童数の推移(人)



348名  
 定員増

【増加定員数内訳】 既存施設の定員増を含む  
 ・認可保育所 92名 ・認証保育所 7名 ・小規模保育室 58名  
 ・家庭福祉員 38名(グループ保育含む) ・私立認定こども園 123名(長時間保育) ・公設民営認可外施設 30名

担当課係	子ども・子育て支援課 子ども・子育て支援係	3 8 8 0 - 5 8 7 3
	子ども・子育て施設課 私立保育園係	3 8 8 0 - 5 8 8 9
	子ども・子育て施設課 保育支援係	3 8 8 0 - 5 4 2 8
	問合せ先(直通)	

事業名: <b>子育てサロン管理運営事務 / 住区施設運営委託事務</b> (子育てサロン事業)	予算現額	79,288 千円
	決算額	76,739 千円
	執行率	96.79 %

**【事業の概要】**

「子育てサロン」は、乳幼児とその保護者の方が自由に集い、親子の交流や、遊び、サロンスタッフとの相談などを通して、子育ての不安解消や負担感の軽減を図ることで、育児世帯の孤立を防ぎ、明るく楽しい子育てを応援する事業です。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出：20,255千円  
区の支出：56,484千円

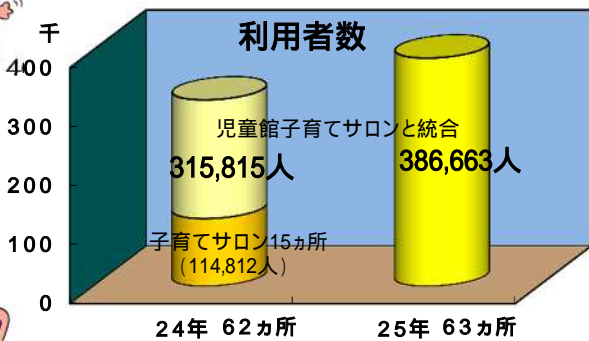
# 親と子の ホッ!とステーション♪

たくさんの人たちに「子育てサロン」を知ってもらいました! [23千円]



- ・子育てサロンのパンフレットを作成し、足立区内の小児科・産婦人科に置きました。
- ・パンフレットを「こんにちは赤ちゃん訪問」で配布したり、「母と子の保健バック」に入れて、子育てサロンをPRしました。
- ・足立区役所の1階区民ロビーで、63カ所の子育てサロンのパネル展を行い、「身近な子育てサロン」の活動を紹介しました。
- ・ツイッターやフェイスブック等でタイムリーな情報を提供しました。

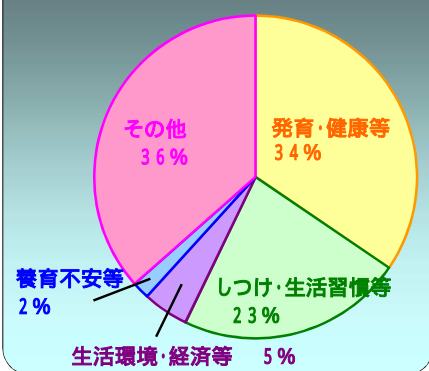
たくさんの人たちに「子育てサロン」に来てもらいました! [39,516千円]



- ・各子育てサロンで、保育預け先相談会や就労相談会など、子育て中に役立つ情報を提供しました。
- ・日常の利用や、乳幼児活動を通して、ママ友・パパ友づくりのお手伝いをしました。
- ・平成24年度に、子育てサロンと児童館子育てサロンを統合し、平成25年度から区内63カ所の「身近な子育てサロン」としてPRを強化し、利用者を拡大しました。

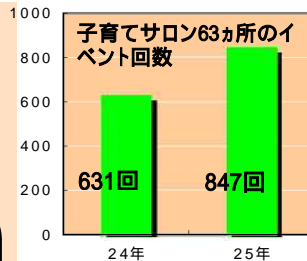
たくさんの人たちに「子育てサロン」は活用されています! [37,200千円]

**平成25年度の相談内容**



・利用者の方のいろいろな相談に応じられるように、スタッフの研修を充実させました。

平成25年度の研修内容  
・子育てサロンの役割  
・乳幼児の育ちを支援する等



・絵本の読み聞かせや季節の行事のほか、ベビーマッサージ、親子体操など子育てサロンごとにいろいろなイベントを実施しました。



平成25年度のイベント参加者数  
【29,176人】  
(平成24年度:24,282人)

担当課係	住区推進課事業担当	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 7 2 9
------	-----------	----------	-------------------



事業名: <b>公益活動げんき応援事業 / 地域活動人材養成事業 / 協働パートナー基金積立金</b>	予算現額	14,894 千円
	決算額	13,882 千円
	執行率	93.21 %

# 地域を支える人材を応援！ 地域の絆をつなぐ事業

## 【事業の概要】

区民の皆さまからの寄附金や基金を活用し、NPO団体やボランティア団体の社会貢献活動を財政的に支援することで、区内の公益活動を推進しました。

地域活動の担い手となる区民の方々が、具体的な地域課題(高齢者の孤立・子育て支援等)を皆援隊講座を通じて学びました。

## 【この事業を支えた支出】

国の支出	: 1,000千円
都の支出	: 2,295千円
区の支出	: 2,068千円
協働パートナー 基金・寄附	: 8,519千円

**目標**  
30団体  
**25年度実績**  
27団体

**公益活動げんき応援事業**  
事業費 4,578千円

基金を活用して助成

**協働パートナー基金積立金**

積立額 4,119千円  
取崩額 4,087千円

積立

26年3月31日現在額218,856千円

助成

NPO・ボランティア団体などが実施する  
地域貢献性の高い事業に基金から助成しました。

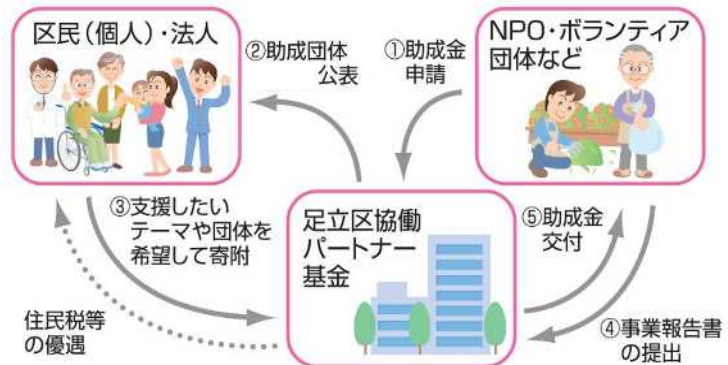
## 活動実績例(個別算定)

【げんき応援コース】(上限100千円)

- ・ビューティフル・ウィンドウズ運動啓発のためのハンドブック作成(愛着あだちの会)
- ・高齢者の仲間づくりにつながる歌声喫茶コンサート(あだち団塊ネットサエラ)

【ステップアップコース】(上限500千円)

- ・マタニティサポートプログラム開発事業(NPO法人子育てパレット)

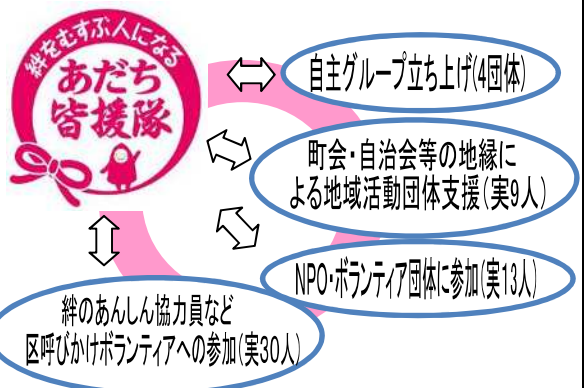


## かいえんたい あだち皆援隊事業 講座で新たな地域活動の担い手育成~地域活動への多様な入り口づくり~ 5,185千円

延参加人数728人(目標参加数600人)

受講生は、防犯パトロールやクリーンウォーキング、町会・自治会活動支援など、課題解決に向けた地域活動に参加

委託講座(23講座)	3,946千円	全額国庫補助金
地域活動を知る入門編・体験編とアクションプランをつくる実践編		
自主講座(1講座)	21千円	
事務費等	218千円	
NPO団体補助金(1団体)	1,000千円	



担当課係	区民参画推進課区民参画支援係	問合せ先(直通)	3880-5020
------	----------------	----------	-----------

事業名: <b>町会・自治会連合会活動支援事務 / 町会・自治会活動支援事務 / 町会・自治会会館整備助成事業</b>	予算現額	119,598 千円
	決算額	114,012 千円
	執行率	95.33 %

**【事業の概要】**

地域課題を解決する機能強化と地域分権を推進するため、区の最大の協働パートナーである町会・自治会等へ様々な支援を行いました。

**【この事業を支えた支出】**

区の支出: 114,012千円

**町会・自治会への補助金**

区町会・自治会連合会、地区町会・自治会連合会、町会・自治会へ運営助成と、地域課題の解決や町会・自治会の活性化のため事業助成を行いました。

**1 運営助成**

▶町会・自治会の組織運営や活動経費を助成しました。

- (1)町会・自治会への補助金(435団体) 78,253千円
- (2)地区町会・自治会連合会(25団体)への補助金 7,273千円
- (3)足立区町会・自治会連合会への補助金 2,200千円

**2 活性化事業助成**

▶町会・自治会が提案する事業に対して、事業費を助成しました。

- (1)地区町会・自治会連合会(1団体) 299千円
- (2)単一町会・自治会(6団体) 886千円

**町会・自治会会館整備**

▶地域自治活動の拠点である町会・自治会会館の整備に対して助成しました。



2団体 / 5団体  
(実績 / 当初予算ベース)  
17,026千円

【綾瀬五・六丁目自治会】

**自主防災倉庫設置**

▶地域の防災拠点である町会・自治会の自主防災倉庫設置に対して助成しました。



11団体 / 9団体  
(実績 / 当初予算ベース)  
2,852千円

【六木三丁目町会】

**町会・自治会加入促進**

地域コミュニティの根幹である、町会・自治会への加入を促進する事業を行いました。

**避難所運営訓練アピール事業**

▶町会・自治会活動のうち避難所運営訓練に的を絞り、モデル地区(3箇所)で活動の効果的なアピール方法の検証を行いました。

【参加者数: 24年度比 30%以上増加】

3,566千円



**加入促進チラシ作成**

▶町会・自治会に未加入の方を対象とした加入促進チラシを作成し、未加入マンションで配布したほか、地区町会・自治会連合会で活用しました(2地区)。

692千円



その他の支出(法人化に伴う手続き助成等) 965千円

担当課係	地域調整課地域調整係	問合せ先(直通)	3880-5864
------	------------	----------	-----------



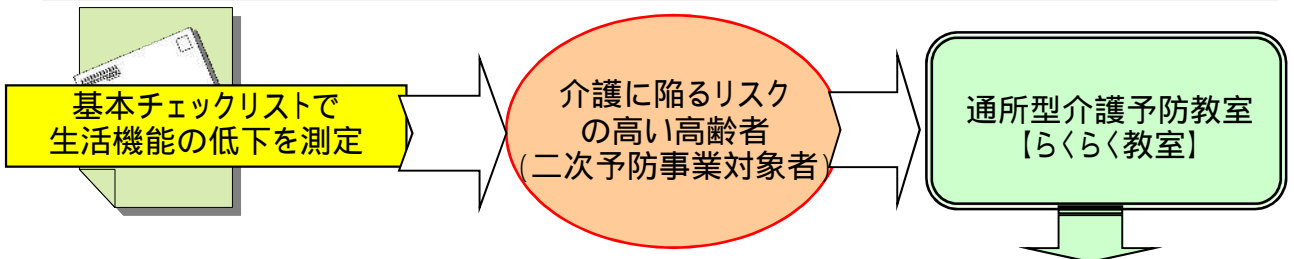
事業名: <b>介護予防事業</b> (二次予防・通所型介護予防教室)	予算現額	96,006 千円
	決算額	84,218 千円
	執行率	87.72 %

# 身近な場所で気軽に始められる 介護予防事業を拡充しました

**【この事業を支えた支出】**

国の支出	: 21,055千円
都の支出	: 10,527千円
区の支出	: 10,527千円
介護保険料	: 42,109千円

**【事業の概要】**  
 高齢者本人が生きがいを持ち、自分らしく暮らしていくため、日常生活に必要な機能の維持・向上を図りました。  
 身近な場所で取り組めるよう会場を拡大しました(24年度:32か所 25年度:41か所)。



## 通所型介護予防教室【らくら教室】 【42,293千円】

**らくら教室**

介護予防運動指導員や看護師などの資格を持つ専門家による指導  
 ・週1回計12回(1クール)の教室

身近な場所で取り組めるよう、住区センター等の会場で開催  
 ・32か所 41か所 (9か所増)



筋力アップトレーニング



お口の健康講座

平成22年度 25か所 54クール 618名	平成23年度 29か所 62クール 862名	平成24年度 32か所 68クール 963名	平成25年度 らくら教室 41か所 88クール 1,276名参加
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

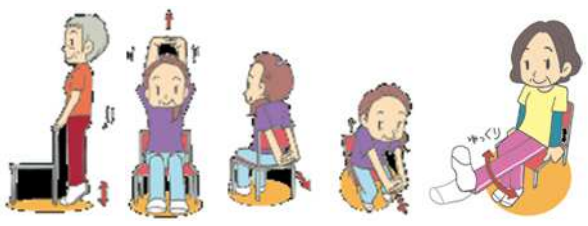
25年度目標の980人は達成

## その他の事業 【41,925千円】

介護予防チェックリストによる把握  
 対象:介護保険未認定の65歳以上の高齢者127,511人

- ・二次予防事業対象者(24,933人)把握委託
- ・介護予防事業参加意見書作成委託
- ・生活機能評価委託(過年度分)
- ・郵送料、賃金、消耗品

介護予防パンフレット作成経費等



担当課係	高齢サービス課介護予防係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 8 8 5
------	--------------	----------	-------------------

事業名: **地域包括支援センター運営事業  
(あんしんネットワーク事業)**

予算現額	76,789 千円
決算額	66,700 千円
執行率	86.86 %

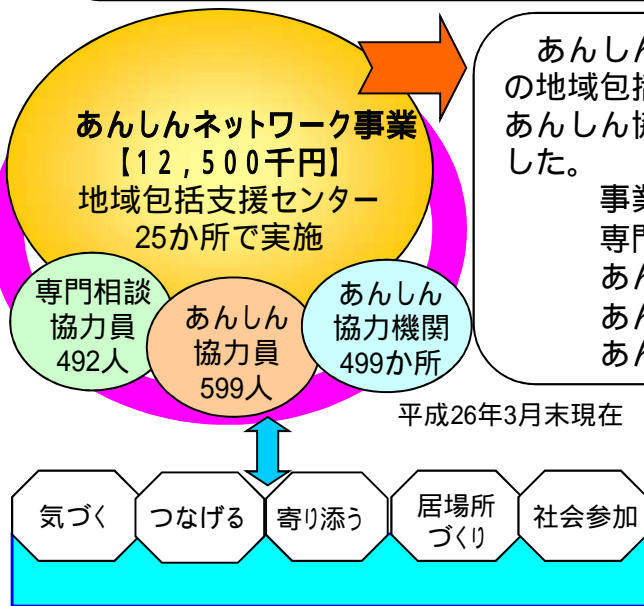
# 気づく・見守るネットワークで 高齢者のあんしんを支えました

**【この事業を支えた支出】**

都の支出: 8,858千円  
 区の支出: 57,828千円  
 雑入: 14千円

**【事業の概要】**

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯等の抱える問題を早期に発見し、定期的な見守りや必要なサービスにつなげました。  
 孤立ゼロプロジェクトの寄り添い支援活動と連動し、ネットワークの拡大につなげました。



あんしんネットワークの中核機関となる、25か所の地域包括支援センターが地域との関係づくりを進め、あんしん協力員・あんしん協力機関の登録を拡大しました。

**事業の周知啓発**

- 専門相談協力員（民生委員）との連携
- あんしん協力員・協力機関の登録講習及び助言
- あんしん協力員の派遣調整
- あんしん連絡会の開催

平成26年3月末現在

**【連絡による対応件数】**

平成21年度実績	1,116件
平成22年度実績	1,491件
平成23年度実績	2,324件
平成24年度実績	2,015件
平成25年度実績	2,204件

**【見守り・声かけ・電話等継続的に援助している高齢者数】**

平成26年3月末  
767人

地域包括支援センターと町会・自治会、老人クラブ等で、孤立化防止や見守り活動のしくみづくりを行いました。

- ・高齢者のサロンづくり（3か所）
- ・居場所マップ作り（1か所）
- ・学童との交流会（3回）

**介護保険外サービス取次・調査業務 外  
【49,453千円】**

- ・基幹支援センター統括業務
- ・支援センター関原施設運営業務
- ・支援センター賃借料
- ・修繕費、消耗品費、郵送料等

担当課係 高齢サービス課介護予防係

問合せ先（直通）

3880-5885

事業名: <b>孤立ゼロプロジェクト推進事業</b>	予算現額	102,777 千円
	決算額	100,317 千円
	執行率	97.61 %

**【事業の概要】**

地域のちからを結集し、「暮らしやすいまち、住み続けたいまち日本」を目指して、「孤立ゼロプロジェクト」がスタートしました。区内436町会・自治会のうち、113町会・自治会が実態調査に取り組み、88町会・自治会で実態調査が終了し、町会・自治会、民生・児童委員、地域包括支援センター、区民事務所が情報共有し、顔の見える関係づくりを強化しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出: 5,000千円  
 区の支出: 95,317千円

**「お互いさま」のまちづくり 孤立ゼロプロジェクト本格始動!**

**気づく: 6,152千円**



町会・自治会から640名が調査員として民生・児童委員と連携し、調査対象世帯数35,335世帯のうち、8,226世帯へ「世間話をする頻度」、「困りごとの相談相手」などについて聴き取り調査を実施しました。  
 高齢者実態調査経費【2,496千円】  
 孤立ゼロプロジェクト推進連絡会経費【411千円】  
 消耗品など【3,245千円】

**つなげる: 88,602千円**



調査の結果は、関係機関と情報共有するとともに、地域包括支援センターにて状況を確認し、605世帯を各施設や必要なサービスにつなげました。また、各地域包括支援センターで開催する「あんしんネットワーク連絡会」において情報共有を図りました。  
 地域包括支援センター業務委託経費【23カ所: 88,602千円】  
 \* 高齢者実態調査開始時期により、4,026千円【12ヵ月(20カ所)】、  
 3,027千円【9ヵ月(1カ所)】、2,694千円【8ヵ月(1カ所)】、2,361千円【7ヵ月(1カ所)】

**寄り添う: 5,563千円**



「絆のあんしん協力員定期訪問の手引き」を作成し、実態調査に取り組んだ町会・自治会員や希望者を対象に「絆のあんしん協力員養成研修」を9回開催し、396名が「絆のあんしん協力員」として登録しました。  
 データベース作成経費【2,507千円】  
 絆のあんしん協力員手引き【719千円】  
 消耗品など【2,337千円】



絆のあんしん協力員定期訪問の手引き

**居場所づくり**



「絆のあんしん協力員」が住区センター事業など地域のイベントやサロン活動などの居場所を紹介していきます。

**社会参加へ**



町会・自治会活動、老人クラブ、NPO活動や地域学習センター事業などへ、自ら参加し、生きがいをもっていたくことが目標です。

担当課係 絆づくり担当課絆づくり事業調整担当

問合せ先(直通)

3880-5184



事業名: <b>特別養護老人ホーム等の整備助成事業</b>	予算現額	1,143,897 千円
	決算額	1,142,841 千円
	執行率	99.91 %

**【事業の概要】**

高齢者が中・重度の要介護状態になっても住みなれた地域で暮らせるように施設整備を進めました。  
特別養護老人ホーム等を建設する社会福祉法人に対して建設費等を助成しました。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出: 14,100千円  
都の支出: 14,100千円  
地域福祉  
振興基金: 1,114,641千円

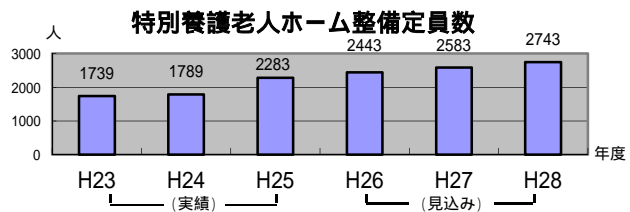


**足立区の介護保険基盤整備に取り組みました**

**特別養護老人ホーム**

常に介護が必要で自宅では介護が困難な人のための施設

平成26年7月1日現在 22施設 2,283人



施設整備費補助 740,218千円

(その他都から各法人へ直接補助金が支出されています。計2,960,879千円)

- |                |                  |                     |
|----------------|------------------|---------------------|
| (1)新規開設施設(1か所) | <u>20,736千円</u>  | 平成25年から2ヵ年補助        |
| (仮称)ル・ソラリオン綾瀬  | 定員 160人          | 平成27年4月開設予定         |
| (2)開設済施設(5か所)  | <u>719,482千円</u> |                     |
| ピオーネ西新井        | 定員 100人          | 平成26年3月開設           |
| 奉優の家           | 定員 74人           | 平成26年3月開設           |
| 古千谷苑           | 定員 120人          | 平成26年4月開設           |
| ケアホーム足立        | 定員 100人          | 平成26年4月開設           |
| 足立万葉苑          | 定員 100人          | 平成26年6月開設 (ケアホーム足立) |

既存施設整備費補助 374,423千円

- |  |                  |
|--|------------------|
| (1)既存施設改修(5か所)                                   | <u>227,977千円</u> |
| 六月・さの・扇・中央本町杉の子園・日の出デイ                           |                  |
| (2)既存施設分割補助(6か所)                                 | <u>146,446千円</u> |
| 足立翔裕園・足立新生苑・さくら・ウエルガーデン伊興園<br>イーストピア東和・ケアハウスはごろも |                  |



**都市型軽費老人ホーム 28,200千円**

低所得者で日常生活に不安のある高齢者が支援を受けながら生活する施設(特別養護老人ホームに併設)

平成25年度 1か所整備

- ・ケアハウス足立万葉苑 平成26年6月開設 10人
- 平成26年 7月現在 2か所 22人
- 平成28年度開設予定 1か所 10人

**介護老人保健施設 (区補助なし)**

(都から各法人へ直接補助金が交付)  
病状が安定し、リハビリを重点においた介護が必要な人のための施設

平成25年度 2か所整備

- ・あさひ 平成25年10月開設 126床
- ・イルアカーサ 平成26年4月開設 100床
- 平成26年 7月現在 13か所 1,567床
- 平成27年度開設予定 1か所 150床

**介護療養型医療施設 平成26年7月現在4ヵ所239床**

病状は、安定しているものの、長期間にわたり療養が必要な方の施設

担当課係	介護保険課事業者計画担当	問合せ先(直通)	3880-5727
------	--------------	----------	-----------

事業名:「健康あだち21」推進事業 / 食育推進事業	予算現額	10,821 千円
	決算額	8,312 千円
	執行率	76.81 %

**【事業の概要】**

「健康あだち21」行動計画に基づき、糖尿病対策に重点を置いた、区民の健康づくり運動の推進と健康への意識の向上に取り組みました。「足立区食育推進計画」に基づく「食育月間イベント」開催など、食への理解を一層深めてもらうための取り組みをはじめ、食からの健康づくりの重要性を啓発しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出:4,127千円  
区の支出:4,185千円

**「健康あだち21」推進事業**

**5,687千円**

**「あだち ベジタベライフ～そうだ、野菜を食べよう～」 4,789千円**

糖尿病対策に効果のある野菜に注目し、健康を意識しなくても、自ずと野菜を食べられるような環境づくりを進めました。

糖尿病対策アクションプラン作成

あだちベジタベライフ協力店の登録(82店舗 目標:600店舗)

東京都中央卸売市場北足立市場・北足立市場協会との覚書締結

区民の推定野菜摂取量調査 等



あだちベジタベライフ ロゴ

**「健康あだち21フォーラム」(374千円)**

「健康づくりは まず私から」をテーマに、体験型講習会・体組成測定・簡易血糖検査・展示販売等により、健康づくりへ向けた啓発を行いました。

開催:11月9日(土) 場所:区役所 参加者:約1,900名(24年度比 5.5%増加)

**「簡易血糖検査」(187千円)**

イベントなどで簡易血糖検査を実施し、糖尿病への関心を高め生活習慣の重要性を伝えました。

対象:区民まつり、成人の日の集い、キッズフェスティバル等 参加者:1,592人

**健康あだち21(第二次)行動計画パンフレット作成(108千円)**

足立区の健康を共に考え、行動していく様々な団体等の連携を拡大するためのパンフレットを作成しました。

**その他事業(229千円)**

健康あだち21専門部会開催、生活習慣病講演会開催  
糖尿病重症化予防保健師訪問 等



健康あだち21フォーラムでの様子



成人の日における簡易血糖検査の様子

**食育推進事業**

**2,625千円**

**食育月間(506千円)**

6月の食育月間では食育月間野菜たっぷりスペシャルメニューを提供したり、地域で体験教室やイベントを行いました。

実施場所:あだち食の健康応援店舗、区役所アトリウム他 参加者:3,611人

**歯と口から考える食育活動(936千円)**

東京電機大学の学生食堂と連携し、若い世代へ歯と口からの食育を発信しました。

「8(歯)がつく日はかむカムデー」活動支援、いい歯ね あだち「噛むカム教室」等

**あだち食の健康応援店(930千円)**

栄養成分表示や野菜たっぷりメニューの提供や食の情報発信等を通して区民の健康づくりを応援しました(105店舗)。

**その他事業(253千円)**

歯みがき啓発ポスター、ベジ噛むカード作成 等



あだち食の健康応援店メニュー例



学生食堂でもかむカムランチは人気でした



担当課係	こころとからだの健康づくり課健康づくり係	問合せ先(直通)	3880-5433
------	----------------------	----------	-----------

[主な不用額説明]健康づくりガイドブックの発行形式変更による委託料の残。

事業名: <b>こころといのちの相談支援事業 / いのち支える寄り添い支援事業</b>	予算現額	48,888 千円
	決算額	47,724 千円
	執行率	97.62 %

**【事業の概要】**

足立区では、自殺対策を「生きる支援」として取り組んでいます。都市部に点在している相談機関をつなぎ、様々な悩みを抱えている相談者を連携して支援することで、自殺に追い込まれない社会づくりを目指します。自殺統計を分析し、ハイリスク群を絞り込んだ重点施策を立て実行しました。

**【この事業を支えた支出】**

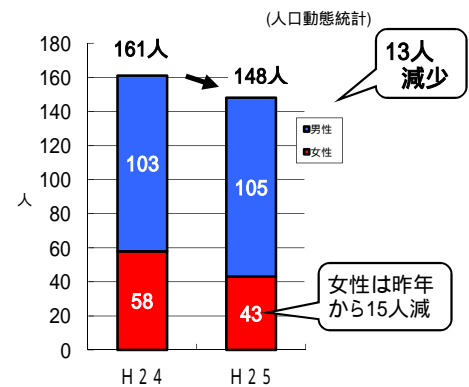
都の支出：47,724千円

**自殺者が減少傾向！ 生きる支援の輪が広がりつつあります**

**【足立区自殺者の現状】**

平成25年の自殺者数は、148人(前年比13人減)となりました。重点的に取り組んだ女性が、大きく減少しました。

足立区年間自殺者数



**1 一歩踏み込んだ支援で当事者を確実に支援**

**44,814千円**

雇用・生活・こころと法律の総合相談会  
 (6月,9月,12月,3月) 計20日間  
 相談者242人 相談件数420件(複数相談あり)  
 うち自殺念慮を抱えている者32人

自殺念慮:「自殺したい」という強い考えや意志に反した 自殺衝動が頭の中で満たされていること

**いのち支える寄り添い支援事業(平成24年度より開始)**

**40,989千円**

パーソナルサポーターによる寄り添い支援  
 平成24.25年度 支援を開始した者100人  
 \*いのち支える寄り添い支援事業とは、生活上の様々な悩みを抱える自殺念慮のある区民に対し、パーソナルサポーターが寄り添い、支援するものです。  
 うち自立達成の目途がたった者、危機的状況を脱した者 50人

**居場所づくり(当事者グループ活動)**

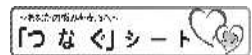
食事会、座談会、勉強会など11グループ、実施回数:154回、参加者:延509人

若年者(35歳)健診での不眠(うつ)チェック 受診者1,879人  
 うつ状態等で医療機関受診が必要な者の早期発見 13人  
 自死遺族の会 12回開催 参加者 延44人

足立区医師会との連携による自殺未遂者ケア研修(足立区医師会共催)1回

参加者 8医療機関、関係機関(医師・相談員・保健師等33人)

足立区共通相談概要 紹介票「つなぐ」シートの活用 「つなぐ」シートによる連携 92件



**2 「生きる支援」を実践できる人材の育成 762千円**

**ゲートキーパー育成研修**

初級:4回892人(区職員、健康づくり推進員、区民等) 中級:5回 330人(区職員、民生・児童委員)  
 上級:1回 66人(区職員、関係機関職員等) 出張:5回1,130人(美容師組合など)

**3 区民への啓発・周知 2,148千円**

女性向け相談窓口カードの作成および設置(区内1,200箇所、設置枚数56,000枚)

9月・3月自殺対策強化月間の取り組み

駅頭キャンペーン 2回 啓発カード入りティッシュ 計8,500個配布

思春期向けの取り組み 特別授業「自分を大切にしよう」

区内都立高校3校(参加者1,119人)区内中学校1校(参加者127人)

各イベントでのこころといのちのコーナー設置、啓発カード入りティッシュの配布 計4回

担当課係	こころとからだの健康づくり課 こころといのち支援係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 4 3 2
------	------------------------------	----------	-------------------



事業名: <b>中小企業融資事業 / 経営革新支援事業 / ニュービジネス支援事業</b>	予算現額	601,258 千円
	決算額	544,154 千円
	執行率	90.50 %

# がんばる中小企業を応援します。

**【この事業を支えた支出】**  
 区の支出 : 543,934千円  
 利用者の支出 : 220千円

**【事業の概要】**

区内事業者が必要な事業資金を円滑に調達できるよう融資のあっせんを行うとともに、経費負担の軽減として信用保証料及び利子の助成を行いました。  
 新たな事業展開や経営改善を行う意欲的な事業者に対し各種助成制度等による支援を行いました。  
 新技術、新製品、新サービスの新たな分野への展開を図る事業者及び斬新なアイデアで創業した方からの事業提案を受け、優れた提案事業者には助成を行いました。

**【経営革新支援事業】**  
 決算額: 40,564千円  
 (内訳)  
 各種助成金 : 38,885千円  
 セミナー経費等 : 1,679千円

**【ニュービジネス支援事業】**  
 決算額: 33,955千円  
 (内訳)  
 補助金 : 33,390千円  
 審査会経費等 : 565千円

～技術力・製品開発力・販売力等の経営革新のために～

～新技術・新製品・新サービスの開発のために～

各種助成

ものづくり応援助成金	( 54 件 )	26,338 千円
ホームページ作成助成金	( 81 件 )	3,608 千円
知的財産権認証取得助成金	( 15 件 )	2,557 千円
ISO認証取得助成金	( 5 件 )	2,264 千円
エコアクション21認証取得助成金	( 7 件 )	634 千円
会社案内等作成助成金	( 34 件 )	2,650 千円
就業規則作成助成金	( 16 件 )	834 千円

あたち新製品開発講座(全17回開催)  
 講師謝礼1,482千円、新製品完成品17件

ビジネスチャレンジコース採択結果

新規応募13社	補助金交付4社(15,250千円)
継続応募4社	補助金交付4社(16,900千円)

創業プランコンテストコース採択結果

応募5社	補助金交付1社(1,240千円)
------	------------------

**【新製品開発講座作品例】**



「ハンガーに洋服を掛けて筆筒やクローゼットの中に隠す」  
新しい発想の金庫。

**【ハンガーバンク】**



透明ボックスでコインの転がる様子が確認できる、仕分け貯金箱。

**【コイン分類貯金箱】**

**【ビジネスチャレンジ採択事業例】**



放射性汚染物質を簡便な方法で取り除ける「除染作業用洗剤ガイヤクリーナー」を開発。天然成分で、セシウム・ストロンチウムを、同時に除去することができる。また、分離後の排水をそのまま流すことができる。

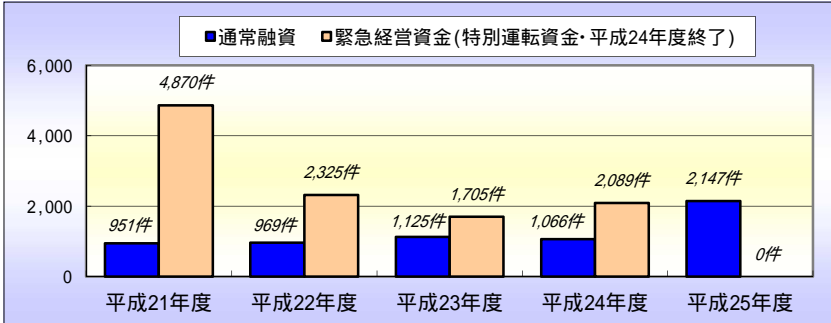
事業名:【放射性汚染物質用洗剤及び除染排水処理方法の開発】

～区内事業者の経営の安定化、事業発展のために～

平成24年度緊急経営資金の終了後においても、通常融資の一部融資制度の利子補給率・補給期間の増、信用保証料の増を実施し、区内事業者の負担軽減をさらに図り、資金調達が円滑に行われるよう支援を行いました。

**【中小企業融資事業】**  
 決算額: 469,635千円  
 (内訳)  
 融資経費補助金: 468,976千円  
 帳票印刷経費等: 659千円

**【年度別融資あっせん状況 (申込み後の取下げ分を含む。)]**



**平成25年度 融資あっせん結果**  
 資金使用別あっせん金額  
 金額単位: 千円

資金用途	あっせん金額
運転資金	8,453,120
設備資金	1,929,220
併用資金	1,099,750

あっせん金額には申込み後の取下げ分(1,429,770千円)を含む。

事業名: <b>就労支援事業(緊急雇用創出事業を含む)</b>	予算現額	60,716 千円
	決算額	60,269 千円
	執行率	99.26 %

**【事業の概要】**

あらゆる世代(若者・女性・中高年)の方を対象に、働くための支援と、就職や仕事に関する悩みの相談を行いました。  
若者向けには、ニート・ひきこもりの未然防止を図るとともに、就労意欲とスキルの向上につながる支援を行いました。また、高校生向け就労支援として面接対策セミナーやキャリア教育を実施しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出: 19,011千円  
区の支出: 41,258千円  
緊急雇用事業は除く

**若者向け就労支援事業 39,786千円**

( 緊急雇用創出事業47,378千円を合計 87,164千円 )

**あだち若者サポートステーション(26,213千円)**

NPOと協働して、カウンセリングやセミナーなどの就労に向けた支援をしました。

- ・延べ来所者数 6,194人
- ・進路等決定者数 323人
- ・セミナー実施回数 228回

**セーフティネットあだち(13,417千円)**

NPOと協働して、ひきこもり状態にならないように、次のステップにつなげる支援をしました。

- ・延べ相談者数 1,466人
- ・ステップアップ者数 90人

**新卒高校生就職面接会(94千円)**

ハローワークと協働して、新卒高校生のための就職面接会を実施しました。

- ・参加者数 30人
- ・就労決定者数 4人

**区内企業見学会(62千円)**

区内高校教諭と一緒に、高校生採用の実績がある区内企業5社を見学しました。

- ・参加者数 14人

若者にサポステを知ってもらうためガイドブックを作りました!



**緊急雇用補助金を活用(47,378千円)**

**若者正社員サポートプログラム(42,970千円)**

- ・参加者数 31人
- ・就労決定者数 25人 (内、正社員 19人)

**新卒高校生向け就職集中プログラム(4,408千円)**

- ・新卒生向け就職支援セミナー 参加者数 7人
- ・在校生向けキャリア教育セミナー 区内3高校

**面接会・セミナー、各種相談、その他就労支援事業 20,483千円**

- 就労支援セミナー(年12回) 延べ参加者数 497人
- マンスリー就職面接会(年12回) 延べ参加者数 1,049人 就職決定者数 70人
- 雇用・生活総合相談(常設/出張相談年12回) 延べ相談件数 709件 就労等決定者数 46人

その他事業 内職相談、家内労働者労災保険加入補助、就労支援施設賃借・維持管理 など



担当課係	就労支援課就労支援係	問合せ先(直通)	3880-5469
------	------------	----------	-----------



事業名: <b>緊急雇用対策事業</b>	予算現額	460,074 千円
	決算額	456,556 千円
	執行率	99.24 %

**【事業の概要】**

国の緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用して、緊急雇用創出事業を実施しました(補助金は都を通じて交付)。これまでの重点分野雇用創出事業に加え、新たに起業支援型地域雇用創造事業を実施しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出: 456,556千円

**重点分野雇用創出事業**

計 12 事業 (209,518千円)

**起業支援型地域雇用創造事業**

計 13 事業 (247,038千円)

緊急雇用創出事業名	事業費 (千円)	雇用 人数	継続 雇用
駅周辺地域防犯・美化推進パトロール事業	77,449	31	2
迷惑喫煙防止 マナーアップパトロール委託	3,780	3	0
就職支援 集中プログラム事業	4,408	2	0
若者正社員 サポートプログラム事業	42,970	31	25
介護人材雇用創出事業	20,621	20	14
資源持去り 防止パトロール委託	7,300	4	0
綾瀬駅周辺 放置自転車対策強化事業	5,670	10	10
北千住・五反野駅周辺 放置自転車対策強化事業	14,035	20	6
竹ノ塚・西新井駅周辺 放置自転車対策強化事業	15,750	10	0
足立区商店街 装飾街路灯等実態調査事業	6,300	3	1
区内デジタルサイネージ 実態調査	3,360	2	1
都市計画道路の 指導図書作成業務委託	7,875	4	0
計	209,518	140	59

緊急雇用創出事業名	事業費 (千円)	雇用 人数	継続 雇用
デザイン工房事業	8,367	5	0
「ビュー坊」コンテンツ 制作拡大事業	9,967	3	0
子育て終了後 再就職希望者支援事業	42,814	21	17
区内若年者の就労状況 及び就労意識調査	16,331	8	0
あだちまちなか・こころと からだの健康応援団	13,714	10	0
足立区 観光データベース構築事業	26,662	8	0
ADACHI CAFE運営業務	18,254	7	0
避難所運営訓練の啓発周知活 動及び区民意識調査	8,100	4	4
東綾瀬公園暫定自転車 駐車場管理業務委託事業	12,261	15	14
道路台帳 現況平面図のCAD化	59,023	21	0
公園等の利活用実態調査委託	15,345	21	0
足立区 プチテラス図面の電子化	12,693	5	0
若年者正規雇用 マッチングプログラム事業	3,433	8	0
【管理運営費】 企業提案募集選考会経費	74		
計	247,038	136	35



重点分野事業では、ビューティフル・ウィンドウズ運動を推進する事業や、継続雇用につながる事業を中心に実施しました。

起業支援型事業は、雇用創出に加えて、起業後10年以内企業の成長支援を図る事業です。企業から事業アイデアを募集し、そこで選ばれた事業を中心に実施しました。

**緊急雇用で雇用された人数 276人**

**(内、事業終了後も継続雇用された人数 94人)**

担当課係	就労支援課就労支援係	問合せ先(直通)	3880-5469
------	------------	----------	-----------

事業名: <b>産業展示会事業</b>	予算現額	26,500 千円
	決算額	26,344 千円
	執行率	99.41 %

足立区産業展示会 ADACHI MESSE

# あだちメッセ

～ 未来が見える 足立の技術 ～

### 【この事業を支えた支出】

都の支出: 13,172千円  
 区の支出: 13,172千円

### 【事業の概要】

「区内中小企業の販路拡大」、「意欲的な中小企業の発掘と育成」、「地域住民への区内産業のPR」を目的として産業展示会「あだちメッセ」を開催しました。

## 103社の技術と商品を紹介！

「未来が見える 足立の技術」をテーマに、区内企業が新製品、高度な技術をPRしました。

平成26年1月17日(金)と18日(土)にシアター1010にて実施し、5,450人が来場しました。

展示会を契機に新たに問い合わせや商談があった出展者の割合は69%、足立区の企業や製品・サービス等を新たに知ることが出来た来場者の割合は71%、来場者満足度も75%と非常に好評でした。



会場内の様子



メインビジュアル

## 受発注情報交換会で66件の個別商談を提供

受発注情報交換会には50社が参加し、66組の個別商談をコーディネートしました。

平成26年1月17日(金)の午後、会場内の商談ルームにて実施した結果、試作品作成、訪問約束等の次段階に進展した商談が26件ありました。

全参加企業から「参考になった」との回答をもらい、人脈の拡大や販路拡大につながりました。



受発注情報交換会

## 記念講演会と8本のビジネスセミナー

養老孟司氏による記念講演会のほか、「3Dプリンター」や「販売促進」など企業の関心が高い内容をテーマとしたビジネス向けセミナーを8本実施した結果、合計で1,000人以上の方が参加し、企業の事業活動を強力にサポートしました。



記念講演会



ビジネスセミナー

開催結果比較		平成24年度	平成25年度	前年比
	出展者数	172社	103社	69社減
	来場者数	5,100人	5,450人	350名増
	展示会を契機に新たに顧客から問合せ等があった出展者の割合	56%	69%	13ポイント増
	受発注情報交換会 商談件数	56件	66件	10件増
	来場者の新規認知度	71%	71%	-
	出展者満足度	66%	77%	11ポイント増
	来場者満足度	75%	75%	-

事業費内訳	
会場設営・撤去費	8,075千円
企画制作費	5,250千円
印刷物制作・広報費	3,885千円
受発注情報交換会運営費	2,080千円
管理運営費	2,500千円
会場使用料	1,344千円
その他	3,210千円

平成25年度から会場を変更し、会場制約上100ブースの設置が上限であるための減

担当課係	産業政策課経済活性化係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 4 6 4
------	-------------	----------	-------------------

事業名: <b>創業支援施設の管理運営事業</b>	予算現額	45,652 千円
	決算額	45,167 千円
	執行率	98.94 %

**【事業の概要】**

創業者に安価な使用料で事務所を提供するとともに、インキュベーションマネージャー(創業指導員)による適切な助言・指導を行い、企業の経営力向上を支援しました。また、平成23年12月に開設した東京電機大学創業支援施設「かけはし」と連携し、各施設合同のセミナーや交流会を行いました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出 : 6,035千円  
 区の支出 : 30,385千円  
 利用者の支出 : 8,747千円

**施設の管理運営事業(18,635千円)**

入居者募集を4回実施し、14社から応募があり、9社が入居しました。  
 入居企業は、経営指導を受けながら、それぞれ経営のノウハウを身につけてきています。  
 平成25年度は、2社が卒業し、1社は順調に区内で継続して事業を行っていますが、1社は経営不振により事業を断念しました。



「かがやき」オフィス(10室設置) 「はばたき」オフィス(13室設置)

入居状況(H26.3.31現在)

	オフィス数	入居数
はばたき	13室	11社
かがやき	10室	9社

**経営相談及び創業セミナーの実施等(407千円)**

入居企業の成長に合わせて、インキュベーションマネージャー(創業指導員)が、月1~2回の経営相談を行いました(年間相談回数:208回)。  
 東京電機大学創業支援施設「かけはし」と連携し、3施設の入居企業を対象とした合同のセミナー及び交流会を開催し、入居者同士が切磋琢磨できる場を提供しました。  
 足立区起業支援型地域雇用創造事業(注1)に2企業が採択され、区から受託しました(採択事業名:あだちまちなか・こころとからだの健康応援団、足立区デザイン工房)。  
 「かがやき」入居企業が「創業プランコンテスト」に採択され、好みの音楽情報でつながるソーシャルネットワークサービス「ミュージックボックス」を開発しました。



インキュベーションマネージャーとの相談



3施設合同の創業セミナー

注1)地域に根ざした事業の起業等を支援し、安定的な雇用の受け皿を作り出すための事業。

**東京電機大学「かけはし」運営費助成(26,125千円)**

東京電機大学創業支援施設「かけはし」との連携事業及び運営費の助成を行いました。  
 平成26年3月31日現在では、オフィス(個室タイプ)は14室満室、シェアードオフィスは12ブース中9社が入居しています。



かけはしオフィス(14室設置)



かけはしシェアードオフィス(12ブース設置)

担当課係	中小企業支援課創業支援係	問合せ先(直通)	3870-8400
------	--------------	----------	-----------



事業名: <b>産学公連携促進事業</b>	予算現額	9,564 千円
	決算額	8,175 千円
	執行率	85.48 %

## 産学公金の連携で区内企業の "ものづくり"、"ひとづくり"をサポート

### 【この事業を支えた支出】

都の支出: 2,948千円  
区の支出: 5,227千円

### 【事業の概要】

大学の研究成果を活用して区内企業の技術力向上や人材育成を図るために、業務の一部を東京電機大学に委託して、勉強会や相談支援等を行いました。  
なお、事業を実施するにあたり、「産」(産業)、「学」(大学)、「公」(足立区)、「金」(金融機関)が一体となって進めました。

### 企業と大学との交流連携事業(2,212千円)

企業の技術力向上、人材育成を目的として、放電加工や材料工学をテーマとした勉強会や技術セミナーを8回開催し、計187人の参加がありました。



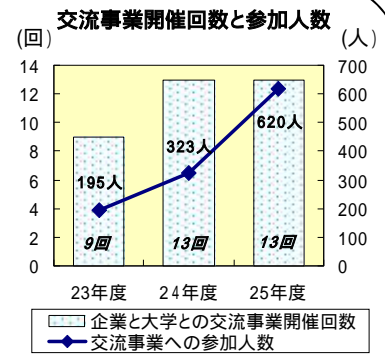
技術勉強会の様子

企業と大学の相互理解を深めることを目的として、区内工場見学会や「産・学・公・金 企業展」等の交流事業を5回開催し、計433人の参加がありました。



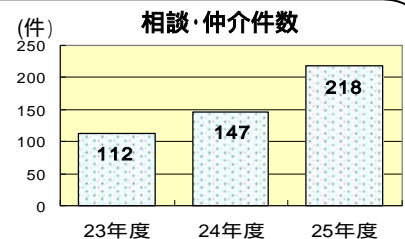
「産・学・公・金 企業展」

東京電機大学を会場として、企業が製品等を展示し、教員や学生との意見交換を行いました。



### 産学連携コーディネーターが 企業と大学の連携を支援(3,720千円)

企業が抱える技術課題や研究開発プロジェクトを支援・仲介するために、東京電機大学に足立区担当の産学連携コーディネーターを1名配置して、相談支援業務や企業訪問活動を実施しました。



面談による相談支援のほか、企業訪問や展示会等に赴いての個別相談対応を積極的に行った結果、相談・仲介件数が増加しました。

### 産学連携補助金による研究開発の支援(2,243千円)

区内中小企業が大学等研究機関の技術支援(技術指導・依頼試験・機器利用等)や大学等との共同研究・委託研究に取り組む際の費用の一部を助成しました。

#### 技術支援補助金

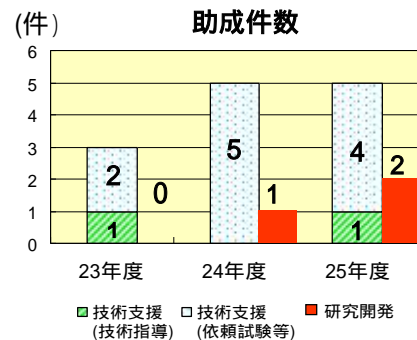
技術指導に要した費用(上限20万円) … 1件(50千円)  
依頼試験・機器利用等に要した費用(上限5万円) … 4件(173千円)

#### 研究開発補助金

共同研究・委託研究に要した費用(上限100万円) … 2件(2,000千円)

いずれの補助金も補助率は1/2。  
ただし、区内大学を活用した場合は補助率2/3。

その他の技術審査費 20千円



担当課係	産業政策課経済活性化係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 4 6 4
------	-------------	----------	-------------------

事業名: 商店街環境整備支援事業 / 商店街活動支援事業	予算現額	179,040 千円
	決算額	165,645 千円
	執行率	92.52 %

**【事業の概要】**

商店街の安心安全の確保、イメージアップのための環境整備事業やイベント等の商店街活動を支援することにより、魅力の向上を図るとともに、区内商店街の活性化を目指しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出: 20,641千円  
 区の支出: 145,004千円

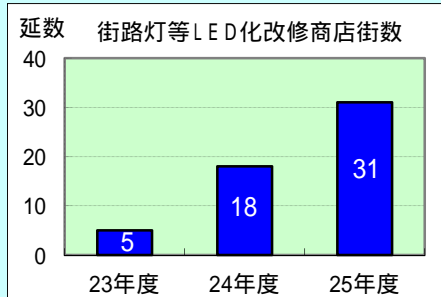
街路灯のLED化、電気料金の補助等により商店街の魅力向上を支援!

**商店街環境整備支援事業** [75,438千円]



LED街路灯 (綾瀬西口本通り会)

- ◆ 商店街装飾街路灯等LED化補助 [13件:32,483千円]  
 (LEDランプへの交換、LED街路灯への建替え)
- ◆ ライトアップ事業 [76件:28,637千円]  
 (街路灯等の電気料金の補助)
- ◆ 商店街装飾灯等維持補修補助 [7件:9,600千円]  
 (装飾灯等の補修、省電力化切替え、撤去)
- ◆ コア個店リニューアル事業補助 [5件:3,684千円]  
 (商店街の中核となる個店の改装経費の補助)
- ◆ AED設置補助 [3件:945千円]  
 (商店街等へのAED設置の初期費用の補助)
- ◆ 環境整備事業補助金 [1件:89千円]  
 (商店街放送設備の新規設置費用の補助)



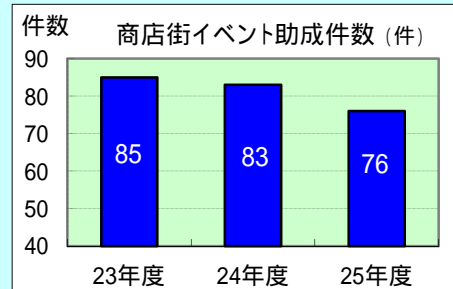
イベント等の助成を通じて商店街の活性化を支援!

**商店街活動支援事業** [90,207千円]



地域連携イベント(イルミネーションサンアヤセ)

- ◆ 商店街イベント助成事業 [76件:39,957千円]  
 (通常イベント、区連携イベント、地域連携イベント、イメージアップ事業、企画提案型事業)
- ◆ 区内消費喚起策 [27,039千円]  
 (10%のプレミアム付き区内共通商品券の発行)
- ◆ 買物支援サービスモデル事業 [1件:4,274千円]  
 (送迎・宅配サービス、お休み処の運営)
- ◆ 学生生活応援事業補助 [3,000千円]  
 (せんじゅスタイルの発行:年4回)
- ◆ 各商店街の運営及び事業への助成など [28件:15,937千円]  
 (商連・ポイント事業協同組合・各商店街振興組合への補助、コミュニティ施設活用事業等)



25年度はイベントの中止による件数の減

担当課係	産業振興課商業係	問合せ先(直通)	3880-5865
------	----------	----------	-----------

事業名: <b>生活安全支援事務(ビューティフル・ウィンドウズ運動)</b>	予算現額	175,197 千円
	決算額	166,289 千円
	執行率	94.92 %

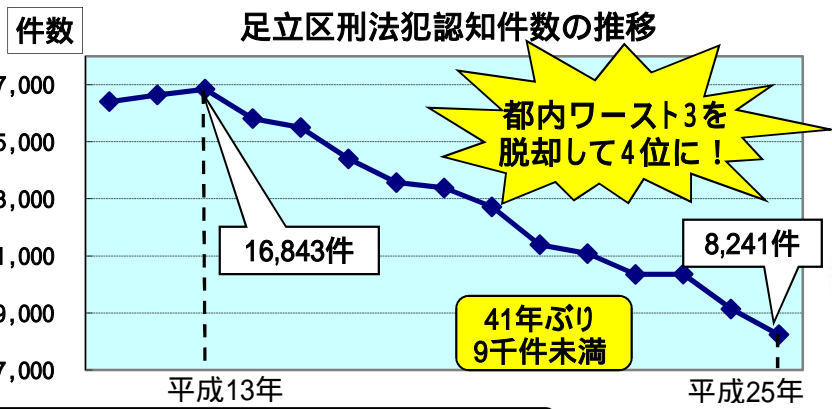
**【事業の概要】**

犯罪のない安全で安心なまちを実現するため、刑法犯認知件数都内ワースト3からの脱却及び9千件未満を目標とし、ビューティフル・ウィンドウズ運動を推進しました。  
また、町会・自治会向けの防犯カメラ設置助成などによる防犯カメラの普及を図るとともに、地域の防犯・防火活動を支援しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出 : 5,843千円  
区の支出 : 159,446千円  
指定寄附金 : 1,000千円

**「治安が良い」が「悪い」を初めて上回りました！** <<世論調査結果>>



**防犯カメラ設置  
1,000台突破！**

**地域の見守り活動支援** 【106,572千円】

- 【地域防犯活動物品購入費助成】助成団体数: 18団体
- 【青パト貸出等の支援】隊員数: 約1,500人
- 【町会・自治会街角防犯カメラ設置助成】設置台数: 31台
- 【共同住宅街角防犯カメラ設置助成】設置台数: 390台



**防犯カメラ(区設置)** 【9,796千円】

- 【街角防犯カメラ運用】設置台数: 98台
- 新規設置場所: 六町駅周辺・都県境



**ビューティフル・ウィンドウズ運動** 【4,464千円】

- 【ビューティフル・ウィンドウズ運動】認知率: 39.4%

前年比5.8ポイント上昇



**パトロール** 【45,457千円】

- 【区内防犯パトロール委託】

青パト(夜間): 4台

青バイ: 4台



担当課係 危機管理課生活安全推進担当

問合せ先(直通)

3 8 8 0 - 5 8 3 8



事業名: <b>美化推進事業</b>	予算現額	26,152 千円
	決算額	24,959 千円
	執行率	95.44 %

**【事業の概要】**

ビューティフル・ウィンドウズ運動の一環として、生活環境の向上を目指し、各美化事業を実施しました。

花いっぱい運動、地域清掃活動の支援等に取り組み、まちの美化をさらに推進しました。

また、迷惑喫煙防止対策、美化啓発活動等に取り組み、区民のマナー向上を図りました。

**【この事業を支えた支出】**

区の支出: 22,649千円  
 過料 : 2,310千円

**美化啓発活動の実施(7,047千円)**

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」を支える「ビューティフル・パートナー」の拡大のため、「ロゴ入りごみ袋」「ロゴ入り帽子」「ロゴ入り缶バッジ」等を作製しました。

美化強化期間(10、11月)に行われる運動会等の地域イベントに合わせて、クリーン作戦等を行う、「ごみとお花をトレード!~あなたの花で、ちょっといいまち~」を実施しました(参加者77,618人)。



ビューティフル・パートナー  
 ロゴ入り帽子

**地域清掃活動への支援等(3,550千円)**

「ごみゼロ地域清掃活動~あなたのまちを、あなたのちからで~」を全区的に展開し、町会・自治会、小・中学校、高校、大学、商店街、事業所等、2万人以上の方々が参加しました。

定期的に地域清掃活動に取り組む団体をさらに増加させることを目的に、「門掃き支援事業要綱」を「清掃美化活動支援実施要綱」に改正したところ、25年度は116団体が登録しました(改正前は55団体)。  
 【参加団体数:事業所29、町会・自治会54、学校等11、商店街9、その他13】



「ごみゼロ地域清掃活動」  
 参加団体の活動風景

**花いっぱい運動の実施(4,872千円)**

花を軒先で育て、まちを彩る「美化」の推進と、水やりの際に通りがかる子どもたちを見守ることによる「防犯」効果を図る「花のあるまちかど事業」を15園の保育園において、先行的に実施しました。

「花いっぱいコンクール」に82団体(地域33、学校49)が参加しました。

「千住花\*花会」の活動支援を行いました(北千住駅ペDESTリアンデッキの花壇管理やクリスマスリースづくり講習会の開催等)。



花いっぱいコンクール  
 参加校の花壇



牛乳パックを利用して、  
 苗を育てる保育園の様子  
 (花のあるまちかど事業)

**迷惑喫煙防止対策の実施(9,490千円)**

「禁煙特定区域」(北千住、綾瀬、西新井、竹ノ塚、五反野、梅島の各駅周辺)での路上喫煙防止指導員によるパトロールを実施しました(17人で11,752時間実施。過料適用件数は2,954件)。

「禁煙特定区域以外の地域」を対象とした、民間警備員による「迷惑喫煙防止マナーアップ・パトロール」を実施しました(37人で3,564時間実施)。

路面標示シールや電柱広告、路上喫煙禁止啓発用標示板等の各種啓発物の作製や、バス車内放送等を実施しました。



路上喫煙防止指導員による  
 迷惑喫煙防止パトロール

担当課係	地域調整課美化推進係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 8 5 6
------	------------	----------	-------------------

事業名: <b>生活環境保全対策事業(ごみ屋敷等対策事業)</b>	予算現額	3,941 千円
	決算額	1,957 千円
	執行率	49.66 %

**【事業の概要】**

区民の生活環境に悪影響を及ぼす、いわゆる『ごみ屋敷』等を改善するため、平成25年1月から『足立区生活環境の保全に関する条例』を施行し、対策を進めています。

**【この事業を支えた支出】**

区の支出 : 927千円  
 利用者の支出: 1,030千円

**相談件数延べ233件のうち、163件が解決できました！**

1.相談・解決件数

年度	ごみ屋敷等の苦情受付(解決)件数合計
H24	受付 131件 (解決 49件)
H25	受付 102件 (解決 114件)
	累計 233件 (解決 163件)

2.解決事例の内訳(累計)

指導	支援実施	住民活動	合計
160件	2件	1件	163件

活動内容

**【平成25年度】**

原因者への徹底した指導や支援により、163件(69.9%)が解決しました。  
 地域ボランティアのご協力により4回の改善を行いました。  
 衛生部や社会福祉協議会との連携により、再発防止に努めています。  
 残りの70件は、解決に向け対応継続中です。

**～ ごみ屋敷の解消事例～**

**指導による解決**



**支援による解決**



**ボランティアによる解決**



改善前

改善後



**【生活環境保全対策事業に係る支出の内訳】**

ごみの処理・樹木の剪定伐採等	244千円
空き地の適正管理(空き地の草刈及び樹木の剪定伐採受託)	1,029千円
ごみ屋敷等の改善に協力した団体等への謝礼	143千円
その他、ごみ屋敷等の改善に係る道具の貸与・支給、審議会の運営など	541千円

担当課係 生活環境保全課生活環境担当

問合せ先(直通)

3880-5410

[主な不用額説明] 支援予定3件に対し、支援実施が1件となったための残。

事業名: <b>自転車の放置対策事業 / 民営自転車駐車場設置補助金交付事業</b>	予算現額	312,741 千円
	決算額	309,535 千円
	執行率	98.97 %

# 放置自転車対策事業

**【この事業を支えた支出】**  
 区の支出 : 76,568千円  
 利用者の支出 : 232,967千円

**【事業の概要】**

本事業では区のビューティフル・ウィンドウズ運動の一環として、主要駅(綾瀬・北千住・五反野・竹ノ塚・西新井)周辺における放置自転車対策の強化を図りました。また、民営自転車駐車場設置について補助金の交付を行いました。

**《事業の成果》**

## 1 東京都実態調査における駅前自転車放置率が2年連続で23区最小(0.5%)を達成!

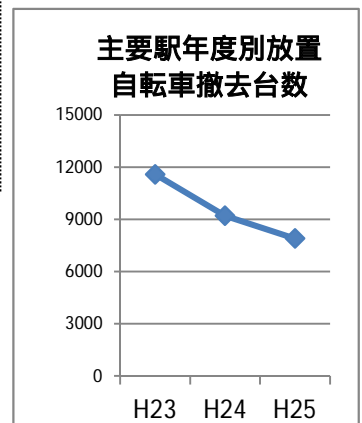
・自転車の放置対策事業...決算額296,167千円  
 強化実施地区... 綾瀬・北千住・五反野・竹ノ塚・西新井駅周辺

自転車駐車場への誘導を重点に置いた放置自転車対策の強化や、放置自転車対策業務と自転車駐車場の管理運営業務を一体化した総合委託により、放置自転車が継続的に減少しました。その結果、撤去台数も年々減少しています。

\*「東京都実態調査」とは、毎年東京都が実施している調査で、10月の晴天日の午前11時頃に駅周辺における放置自転車等の放置台数を調べる現況調査のことで



駅名	24年度	25年度
北千住	3,493	2,889
西新井	999	587
竹ノ塚	2,243	1,943
綾瀬	2,467	2,484
<b>合計</b>	<b>9,202</b>	<b>7,903</b>



## 2 民営自転車駐車場の設置補助3件

・民営自転車駐車場設置補助交付金事業...決算額 13,368千円

25年度は駐輪場が不足している綾瀬駅前に3件の設置補助を実施、その他10件の管理費補助を行いました。

最寄り駅名	収容台数
1 綾瀬	62
2 綾瀬	90
3 綾瀬	234
<b>合計 3件</b>	<b>386</b>

駅名	該当箇所数
北千住	3
綾瀬	4
六町	2
五反野	1
<b>合計</b>	<b>10</b>



## 3 放置自転車クリーンキャンペーンの実施

地域や警察、民間業者とも連携して駅前でのクリーンキャンペーンを実施。また学校や住区センターでの交通安全教室において駅前放置自転車防止等の啓発活動を実施しました。

担当課係	交通対策課自転車係	問合せ先(直通)	3880-5914
------	-----------	----------	-----------



事業名: <b>環境計画推進事業【経常】</b> (クリーンエネルギー等の普及促進)	予算現額	147,391 千円
	決算額	140,767 千円
	執行率	95.51 %

**【事業の概要】**

環境にやさしい低炭素社会への転換を促進するため、太陽エネルギーの活用(創エネ)や環境配慮型機器・LED照明の普及促進(省エネ)などを推進しました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出 : 1,100千円  
 区の支出 : 133,211千円  
 環境基金繰入金 : 5,701千円  
 環境事業寄附金 : 755千円

**創エネ**

**太陽エネルギー利用促進事業 103,946千円**

太陽光発電システムの設置費補助など、再生可能エネルギー活用を促進しました。  
 また、太陽光発電システムを安心して設置していただくため、区内の設置事業者の登録制度「あだち・そらとつながるプロジェクト」の登録店の拡大とPRにより、ソフト面での利用促進にも努めました。

**住宅用太陽光発電システム設置補助**

【補助額】 1kWあたり50,000円(上限200,000円) 区内事業者利用の場合は2割増  
 【補助数】 600件(平成15年度からの累計3,202件)

平成27年度までに、太陽光パネルの発電量で区内の電気使用量の1%をまかなうことを目標にしています(25年度は、0.67%でした)。目標達成に向け、引き続き支援を行っていきます。



**省エネ**

**環境配慮型機器等購入補助事業 15,855千円**

省エネ性能の高い5つ星家電(エアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビ、電気便座)やLED照明、遮熱フィルムなど、環境に配慮した機器の購入費の補助を行いました(予定件数1000件・先着順)。

【補助額】 合計5万円以上の購入で10,000円(足立区内店舗で購入の場合は、15,000円)

【補助数】 1,004件

【補助機器】

エアコン192、冷蔵庫543、テレビ170、電気便座16、遮熱フィルム4、  
 複層ガラス1、内窓の新設1、LED照明83、HEMS機器3  
 1件で複数機器購入あり

区内の年間電気使用量は、震災前と比べて9.9%減少しました。



**環境審議会などの開催 872千円**

【環境審議会】

委員(全14人)の改選にあたり、区民委員の公募を実施し、2人に委嘱しました。

年5回開催

「一般廃棄物処理基本計画」の改定について審議し、区長に答申



その他、施設用LED照明設置補助(56件)、環境基金助成など 19,863千円

**カーボン・オフセットの実施 231千円**

環境基本計画改定版の印刷・製本で排出  
 CO2 2トン

光の祭典のイルミネーション点灯で排出  
 CO2 3トン



北海道士幌(しほろ)町の町有林整備に伴うCO2の吸収量で相殺しました。

カーボン・オフセットとは...  
 自らの活動により排出してしまうCO2を他の削減や吸収活動で埋めあわせること。

担当課係 環境政策課管理係・計画推進係

問合せ先(直通)

3 8 8 0 - 5 9 3 5

事業名: <b>資源化物行政回収事業</b>	予算現額	988,992 千円
	決算額	918,946 千円
	執行率	92.92 %



**【事業の概要】**

資源化物を効率的に回収するとともに、資源化率を向上、循環型社会の形成を目指すために、資源化物の収集・運搬、不燃・粗大ごみ等の資源化事業の拡充を行いました。

資源化率 16.0%(20年度) 19.57%(25年度) 3.57ポイント増 ↑

**【この事業を支えた支出】**

区の支出 : 753,579千円  
 売払収入 : 156,874千円  
 資源持去過料 : 170千円  
 都補助金他 : 8,323千円

**燃やさないごみ・粗大ごみの資源化 236,034千円**

燃やさないごみと粗大ごみを資源として有効活用しました。燃やさないごみの資源化率は90%を超え、全国でも類を見ない数字を維持しています。

**【燃やさないごみの資源化(24年度 25年度)】**

91.15%(回収量4,066t) 90.87%(回収量3,805t)

**【粗大ごみの資源化(24年度 25年度)】**

25.09%(回収量4,403t) 25.10%(回収量4,420t)

粗大ごみの資源化率40%をめざし、取り組みを進めています。



不燃ごみを手選別し、資源化を徹底しています。

**「資源ごみ買取市」の開催場所拡大 73,514千円**

**資源ごみ買取市 2,790千円**

25年7月に新設した宮城地区の25年度回収量は、3.2tでした。開催場所は全8カ所となり、開催地域の均衡を図りました。

**自動回収機の運営 70,724千円**

ペットボトル(46カ所)・飲料缶(10カ所)の自動回収機で資源回収を継続実施しました。

**【25年度実績(対24年度増減数)】**

ペットボトル:578.6t(+1.1t)、飲料缶:74.2t(+5.9t)

**ペットボトルキャップ回収支援( )**

**【25年度実績(対24年度増減数)】** 25,719kg(+39kg)

回収したキャップは売却され、その売り上げで世界の子どもたちにワクチンが提供されます(2kgでポリオワクチン1人分に相当)。

25年度のペットボトルキャップの回収量は、ポリオワクチン12,859人分に相当します。



**資源持去り防止パトロールの実施 8,100千円**

警察官OBの資源持去り防止指導員による巡回パトロールの他、民間事業者による資源持去りパトロールを行いました。

また、23区で初めてGPSを導入した古紙持去り対策を行い、古紙持去りの抑止に努めています。

・資源持去り防止パトロール用車両リース等 800千円

・資源持去り防止パトロール業務委託( ) 7,300千円

( 資源持去り防止パトロール委託は、緊急雇用創出事業を活用)

**【25年度実績(対24年度増減数)】**

過料:85件(+4件)、警告書発行:51件(+23件)、その他(口頭注意等):2,825件(+189件)



その他 集積所回収による古紙・びん・缶・ペットボトル等の資源化物行政回収事業にかかる経費 601,298千円

担当課係 ごみ減量推進課清掃計画係・資源化推進係 問合せ先(直通) 3880-5813(清掃計画係)

事業名: **国民健康保険一般事務  
(ジェネリック医薬品の普及促進)**

予算現額	382,324 千円
決算額	339,242 千円
執行率	88.73 %

**【事業の説明と、かかった経費】**

医療費の適正化と薬代の自己負担軽減を目的として、ジェネリック医薬品を普及させるために、さまざまな取り組みを実施しました。

**ジェネリック医薬品普及協議会の開催** 257千円

区内の医療関係者や有識者を交え、ジェネリック医薬品使用データの共有を図りながら普及方を検討しました。

**ジェネリック医薬品利用差額通知の送付** 1,420千円

現在服用中の薬をジェネリック医薬品に変えた場合、薬代の自己負担額がどれくらい減るかをお知らせしました。

**ジェネリック医薬品希望シール・パンフレットの作成・配付**

728千円

保険証更新に合わせて、全世帯にシールとパンフレットを送りました。また、国保以外の希望する方にも配布しています。

**ジェネリック医薬品使用促進ポスターの作成・配付** 36千円

調剤薬局用にポスターを作成・配付し、掲出をお願いしました。

**その他**

広報・ホームページ・国保だよりなどを活用して、ジェネリック医薬品の利用を勧めました。

**ジェネリック医薬品の普及以外の国民健康保険事業を運営するための経費** 336,801千円

保険料決定通知書・保険証の発送経費、非常勤職員・臨時職員等にかかる経費、電算システム関連経費、事務経費(事務用品、郵送料)等

**【この事業を支えた支出】**  
区の支出: 339,242千円



**医療技術の進歩と高齢化などで医療費は年々増加しています。**

**足立区国民健康保険  
ジェネリック医薬品使用率  
22.6%** (平成23年 9月現在)

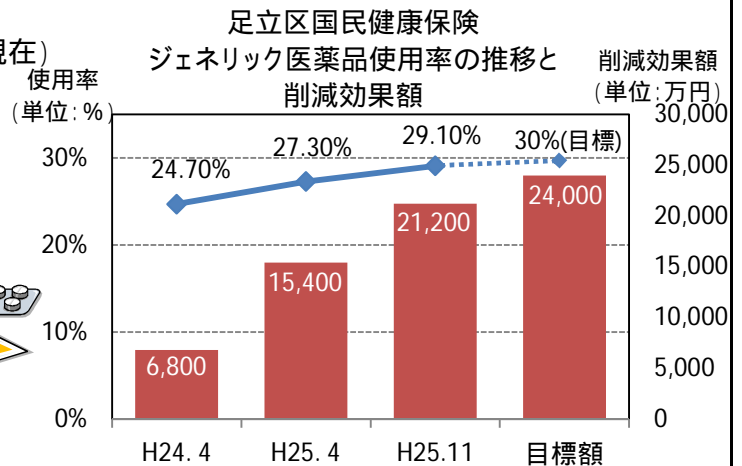
医療保険財政が厳しくなる中、国民皆保険・国民健康保険制度を守るために、医療費を削減する工夫をしています。区では「平成26年度末までにジェネリック医薬品の使用数量割合を30%にする」という目標を掲げました。目標が達成できれば、区の薬剤費の抑制効果は約2億4千万円(注)になると推計されます。注: 対23年度比較

**29.1%** (平成25年11月現在)

**これによる足立区の  
薬剤費の削減効果額  
2億1,200万円  
(推計)**



H23.9 ~ H25.11で  
6.5ポイントアップによる  
効果で、薬剤費の支出を抑制する  
ことができたものと推計されます。



担当課係	国民健康保険課庶務係 ジェネリック・保健事業推進担当課保健調整担当	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 8 5 1 3 8 8 0 - 5 0 1 9
------	--------------------------------------	----------	--



事業名: <b>国民体育大会推進事業</b>	予算現額	158,202 千円
	決算額	154,009 千円
	執行率	97.35 %

**【事業の概要】**

「スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会)」、  
剣道・柔道・トランポリン大会を開催しました。

大会運営には、体育協会、スポーツ推進委員、中高生、  
一般など、のべ1,000名のボランティアが活躍しました。

全国から来場する多くのお客様を、ボランティアとともに  
「おもてなしの心」でお迎えし、足立区の魅力を全国に発信  
して、区のイメージアップを図りました。

**【この事業を支えた支出】**

都の支出: 103,070千円  
区の支出: 50,939千円



**大会運営経費 139,765千円**

**正式競技(東京武道館)**

・剣道大会(66,678千円 会場設営、警備委託費等)  
平成25年9月29日(日)から10月1日(火)  
観客数 10,535人、選手・監督 902人  
競技会役員等 1,196人、来賓・視察員・報道機関 504人

・柔道大会(72,025千円 会場設営、警備委託費等)  
平成25年10月5日(土)から10月7日(月)  
観客数 7,330人、選手・監督 916人  
競技会役員等 1,993人、来賓・視察員・報道機関 375人

**デモンストレーションとしてのスポーツ行事(総合スポーツセンター)**

・トランポリン大会(1,062千円 競技役員服飾費等)  
平成25年9月23日(月・祝)  
観客数 500人、選手 199人、体験コーナー参加者 237人

**【歓迎装飾】**応援のぼり旗・花プランターの展示  
区内小中学校が作成した約200本ののぼり旗と  
「花の育成ボランティア」が育てた約850鉢の応援メッセージ付  
花プランターが、競技会場や練習会場を飾りました。



**気運醸成事業費等 14,244千円**

- ・国体ボランティア育成事業(1,556千円)
- ・炬火イベント(1,208千円)
- ・主要駅等の歓迎装飾事業(3,068千円)
- ・111日前イベント(55千円)
- ・オリンピック・パラリンピック招致PRグッズ(6,992千円)
- ・その他、事務局費(1,365千円)



**【国体ボランティア登録者数】**

一般	230人
足立区体育協会	129人
足立区スポーツ推進委員	51人
高校生・中学生	355人



担当課係	スポーツ振興課振興係	問合せ先(直通)	3880-5826
------	------------	----------	-----------

事業名: <b>鉄道立体化の促進事業</b>	予算現額	7,005,630 千円
	決算額	4,393,121 千円
	執行率	62.71 %

**【事業の概要】**

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道、約1.5kmを高架化し、赤山街道等2か所の踏切を除却します。

この事業の完成により、交通渋滞や踏切事故が解消され、交通の円滑化と安全性が確保されるとともに鉄道に隔てられている東西地域が一体化され、地域の活性化を促進します。また、都市計画道路や駅前広場等をあわせて整備し、にぎわいの創出と緑豊かな安心して住めるまちづくりを進めます。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出 : 1,918,827千円  
 都の支出 : 941,921千円  
 区の支出 : 199,220千円  
 鉄道事業者負担金 : 132,563千円  
 鉄道立体化基金繰入金 : 1,200,590千円

**1 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業**

2,988,613千円

< 主な経費 >

- ・鉄道高架化事業の負担金 2,523,120千円
- ・鉄道高架化事業の用地費等 465,493千円

< 主な経過 >

- ・平成25年 8月:下り急行線の高架橋工事に支障となる西口バス乗降場所等移設工事に着手しました。
- ・平成25年11月:高架橋工事、西口仮設階段工事( 期)、仮設地下道関係工事に着手しました。

< 今後の予定 >

- ・平成32年度末の鉄道高架化完成を目指し、下り急行線の高架化工事を進めていきます。



新バス乗車場所  
(エミエルタワー前)



西口仮設階段( 期)

**2 竹ノ塚駅周辺地区まちづくりの推進**

1,380,288千円

< 主な経費 >

- ・区画街路第14号線事業の用地費等 1,363,561千円
- ・地区まちづくり計画の検討等業務委託 16,727千円

< 主な経過 >

- ・事業用地を7件取得しました。
- ・平成26年3月:地区まちづくり計画を策定しました。

< 今後の予定 >

- ・残る事業用地の取得に努めます。
- ・地区計画の検討を進めていきます。



地区まちづくり計画(案)説明会

**3 地下鉄8号線整備に向けた調査研究**

24,220千円

< 主な経費 >

- ・地下鉄8号線整備に向けた調査委託 24,220千円

< 今後の予定 >

- ・需要予測結果を踏まえ、整備計画・運行計画の見直しや資金調達等の収支改善の方策について、検討を深めていきます。



地下鉄8号線整備促進ポスター

担当課係	竹ノ塚整備推進課整備推進係	問合せ先(直通)	3880-5937
------	---------------	----------	-----------

[主な不用額説明] 鉄道高架化事業の東武鉄道への負担金を平成26年度に繰り越したことによる予算額残。



事業名: <b>防災訓練実施事業</b>	予算現額	52,921 千円
	決算額	50,409 千円
	執行率	95.25 %

**【事業の概要】**

総合防災訓練をはじめとする各種訓練の実施により、減災に向けた自助・共助の強化及び防災関係機関との連携をさらに広げました。

**【この事業を支えた支出】**

区の支出 : 49,409千円  
指定寄附金 : 1,000千円

# 災害の記憶を風化させない



東日本大震災時に倒壊した区内のブロック塀

**総合防災訓練 9,147千円**

災害時要援護者のバス移送訓練、医師・看護師等250名が参加した大規模な医療救護所設置・トリアージ訓練等、区内28の会場で多様な実践的訓練と防災普及啓発活動を実施しました。

【参加関係機関: 78機関 参加者: 9,231名】



**水防訓練 2,927千円**

区内各消防署・消防団等との合同で、各種水防工法訓練、流出車両や倒木等による家屋倒壊を想定した救助訓練等を実施しました。

【参加者: 547名】



**避難所運営訓練 9,948千円**

避難所設置・運営の習熟に合わせて、「自らが防災の担い手」「自分たちのまちは自分たちで守る」という自助・共助の強化を図りました。

【実施回数: 74回 参加者: 17,002名】

**防災士資格取得助成 679千円**

避難所運営機能強化のため、避難所運営会議への防災士の配置を進めました。【防災士資格取得者: 12名】

**シェイクアウト訓練(身体防護訓練)**

3月11日、区役所、区内保育園、幼稚園及び小中学校で一斉実施しました。

【参加者: 37,654名】



合図と同時に机の下へ



1分間、身を隠し続ける

**地震体験車訓練 27,708千円**

寄附金(平成24年9月 27,300千円)で新型の地震体験車を導入しました。三次元(前後・左右・上下)の揺れを組み合わせることで、より実際に近い地震を再現できます。区の防災訓練、各避難所運営訓練等に出動しました。【出動回数: 132回 参加者: 15,527名】



もしもの時の!  
**家具転倒防止**  
していますか?

もしもの時の!  
**家庭内備蓄**  
していますか?



町会・  
加入治会  
による

啓発メッセージを車体にプリント

担当課係	災害対策課災害対策係	問合せ先(直通)	3880-5836
------	------------	----------	-----------

事業名: <b>道路の新設事業 / 道路の改良事業</b>	予算現額	865,713 千円
	決算額	780,726 千円
	執行率	90.18 %

**【事業の概要】**

都市計画道路等の整備、計画的な橋梁の耐震補強や架替えを行い、住環境の向上を図るとともに、道路、橋梁を安全で良好な状態で維持する予防保全型の管理を進めています。

平成25年度は、区画街路第11号線(千住大橋駅周辺地区)の整備が完了し交通開放するとともに、以下の事業を行いました。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出 : 162,327千円  
 都の支出 : 104,535千円  
 区の支出 : 505,991千円  
 電線共同溝負担金 : 7,873千円

# 「便利で災害に強いまちづくり」の 推進のため、道路網を整備しました

## 道路の新設事業

【656,760千円】

【平成25年度に行った主な事業】

**主要区画道路 区間(亀田トレイン通り)**

(西新井栄町一・二丁目)

道路用地 1,072.86㎡取得、詳細設計委託等

【平成29年度完成予定】 340,927千円

**区画街路第11号線(かつら並木通り)**

(千住大橋駅周辺:千住橋戸町) 道路・駅前広場整備にかかる負担金【平成26年2月完成済】 118,220千円

**補助第138号線その1工区(環七南通り)(関原三丁目)**

整備工事・電線共同溝建設負担金

【平成26年度完成予定】 174,336千円

**補助第138号線その3工区(梅田五丁目)**

道路整備に伴う償還金等

【平成25年3月完成済】 14,929千円

**その他設計委託・負担金等 8,348千円**



区画街路第11号線(かつら並木通り)  
千住大橋駅前広場:千住橋戸町

## 道路の改良事業

【123,966千円】

【平成25年度に行った主な事業】

**千代田線綾瀬車両基地内横断歩道橋撤去工事**

**業務負担金(谷中四丁目~北加平町)**

【平成26年度完了予定】 50,000千円

**道路改良工事 3件**

東六月町9番から11番先ほか1箇所 16,138千円

保塚町12番から東保木間一丁目3番先 14,013千円

竹の塚六丁目6番から二丁目25番先 13,482千円

**桑袋大橋耐震補強等設計業務委託**

(花畑八丁目) 10,074千円(復興税充当)

**橋梁定期点検業務委託(14箇所)**

6,840千円

**竹ノ塚駅構内跨線人道橋補修工事**

(西竹の塚一丁目) 4,745千円

**その他設計委託・負担金等 8,674千円**



補助第138号線その1工区  
(環七南通り) 関原三丁目

担当課係	街路橋りょう課事業計画係 工事課工務係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 9 2 1
------	------------------------	----------	-------------------



事業名: 密集市街地整備事業 / 都市防災不燃化促進事業	予算現額	483,707 千円
	決算額	340,946 千円
	執行率	70.49 %

**【事業の概要】**

環状七号線以南に広がる木造密集地域において、延焼遮断帯の形成や生活道路の拡幅整備等により、安全で安心して住めるまちづくりを進めるため、以下の事業を行いました。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出: 152,968千円  
都の支出: 70,956千円  
区の支出: 117,022千円

**1 密集市街地整備事業 [294,912千円]**

**生活道路の拡幅**

【用地買収】 9か所 83,700千円  
【拡幅整備】 15か所 17,032千円



拡幅前



拡幅後

**公園の整備**

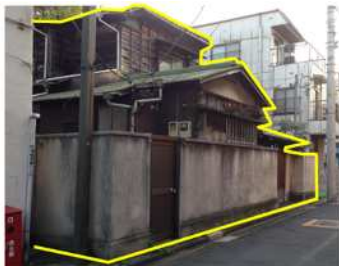
【用地買収】 1か所 70,143 千円  
【整備】 1か所 18,847 千円



さんかく児童遊園(関原一丁目)

**老朽建築物の買収・除却**

【買収】 2か所 22,009 千円  
【除却】 2か所 5,162 千円



除却前



除却後

**その他**

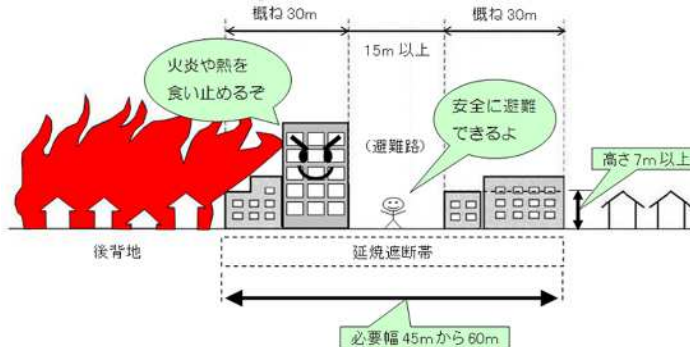
【事業推進に係る事業委託等】

78,019 千円

密集市街地整備 事業実施地区	進捗率	
	24	25
足立四丁目地区	20%	22.9%
西新井西口周辺地区	36%	37.2%
千住仲町地区	13%	20.4%

**2 都市防災不燃化促進事業 [46,034千円]**

**事業のイメージ図**



**建替え助成 11件**

45,935千円

不燃化率	24	25
関原・梅田地区 (2件)	47.4%	48.6%
扇・本木地区 (4件)		
西新井駅西口周辺地区 (5件)		

住宅地図購入等 99千円

担当課係	密集地域整備課事業管理担当係 密集地域整備課足立・千住仲町地区整備係 密集地域整備課西新井・柳原地区整備係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 6 2 6 9 3 8 8 0 - 5 1 8 7 3 8 8 0 - 5 1 8 1
------	---	----------	---

【主な不用額説明】密集市街地整備事業用地取得延期(五反野駅前広場ほか1か所)による執行残。

事業名: <b>建築物耐震化促進事業 / 老朽家屋対策事業 / 細街路整備事業</b>	予算現額	1,354,989 千円
	決算額	1,165,640 千円
	執行率	86.03 %

【事業の目的・概要】

大地震時の家屋倒壊から区民の皆様の生命を守るため、建物の耐震化を促進しました。  
 防火及び防犯上の課題を解消するため、老朽危険家屋の是正に努めました。  
 狭い道路を広げることで、災害時における避難路の確保や消防活動の円滑化を図りました。

【この事業を支えた支出】

国の支出 : 190,127千円  
 都の支出 : 92,555千円  
 区の支出 : 852,958千円  
 その他の支出 : 30,000千円

**1 建築物耐震化促進事業(923,615千円) [復興税充当額 192,860千円]**

耐震化対策が、安全なまちづくりに貢献しました！

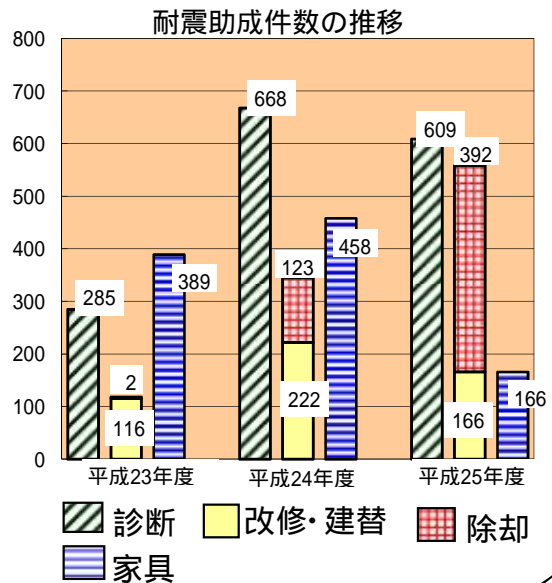
耐震診断・改修設計助成 609件 209,234千円

耐震改修工事助成 166件 288,222千円

耐震解体除却工事助成 392件 404,537千円

家具転倒防止等工事助成 166件 4,928千円

耐震事業相談会・説明会等 16,694千円



**2 老朽家屋対策事業(10,623千円)**

[復興税充当額 5,218千円]

老朽危険家屋による危険を解消しました！

解体工事助成 11件 10,623千円

特に危険度が高い老朽危険家屋について、解体工事の助成を行いました。

【解体事例】



解体前



解体後

**3 細街路整備事業(231,402千円)**

狭い道が広がりました！

拡幅工事 142件 231,402千円

住みやすい環境にするため、狭い道路の拡幅工事を区が実施しました。  
 (総距離 66,197m)

【拡幅事例】



拡幅前



拡幅後

担当課係	耐震化: 建築安全課建築防災係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 3 1 7
	老朽: 建築安全課建築安全係		3 8 8 0 - 6 4 9 7
	細街路: 開発指導課細街路係		3 8 8 0 - 5 2 8 6



事業名: <b>緑の普及啓発事業</b>	予算現額	38,667 千円
	決算額	35,317 千円
	執行率	91.34 %

**【事業の概要】**

区、区民の皆さん及び地域が、花と緑、公園等に関する情報を共有し、身近な緑や自然を楽しみながら守り育む環境づくりを目指しました。「緑の普及啓発」「協働による実践」「緑の保全」の3つの柱に基づき、年間をとおしてさまざまな事業を実施しました。

**【この事業を支えた支出】**

区の支出 : 10,725千円  
 公園事業収入 : 559千円  
 緑の基金繰入金 : 24,033千円

**緑の普及啓発 8,662千円**

**緑のサポーターサイトの構築、運営 3,514千円**

緑のサポーターがネット上に開花情報や自宅の庭の写真等を投稿し、緑に関する情報を受発信できるサイトを構築しました(平均訪問数約490件/月)。

**緑のカーテン支援 1,592千円**

区立保育園・こども園42園へカーテンを設置しました。収穫物は、給食等で活用されました。

**イベント、講習会等の開催 3,556千円**

イベント(3回、参加人数約36,000人)、講習会等(20回、参加人数506人)を開催しました。



東京都 足立区

**みどりのねっと  
開設しました!!**

ねっと登録者数 185人(平成26年3月末)  
投稿写真



わたしのお庭

開花情報

**サポーターカフェOpen**



寄せ植え

苔玉づくり

**協働による実践 5,752千円**

**緑の協定・花の散歩路の支援 1,627千円**

緑の協定及び花の散歩路登録団体(46団体)へ花苗など活動に必要な物品を支援しました。

**緑のサポーターカフェ実施 1,079千円**

月1回、緑のサポーターカフェを開催し、緑の協力員の協力の下、寄せ植えや苔玉などをつくりながらサポーター同士が交流しました。

**寄附による公共施設の緑化等 1,539千円**

公園等へ寄附による植樹を行いました。

**緑の協力員管理花壇整地ほか 1,507千円**

**緑のサポーター登録者数 平成26年3月末645人(対前年度277人増)**

**緑の保全 20,903千円**

**圀川沿川の緑の保全 20,420千円**

圀川沿川の樹林を保全するためモデル地区で間伐や剪定、土壌改良等を行いました。また、沿川住宅地内で住民の皆さんが掃き集めた落ち葉を収集しました。

樹林管理保全計画検討調査委託(1,922千円)

樹木育成・維持管理委託(9,176千円)

剪定・間伐122本、土壌改良46本、草本類植付280㎡等  
遊歩道整備工事(8,920千円)

林床保護柵設置320m、切り株撤去77か所等  
落ち葉収集等(402千円)

**公共施設の緑の育成 483千円**

ゆめ桜やレーガン桜等の樹勢回復処置を実施しました。



圀川遊歩道整備

担当課係	みどり推進課みどり事業係	問合せ先(直通)	3880-5919
------	--------------	----------	-----------

事業名: <b>公園等の整備事業</b>	予算現額	1,142,536 千円
	決算額	1,078,827 千円
	執行率	94.42 %

**【事業の概要】**

安全で安心して利用できる公園をめざし、老朽化した公園施設の改修工事やバリアフリー改修工事を計画的に進めました。  
 復興税を活用し、区立公園等に防災対策設備を設置しました。  
 また、明治期、桜の名所であった江北の五色桜を復活させるため、荒川桜つつみに平成五色桜を植樹しました。

**【この事業を支えた支出】**

国の支出 : 172,397千円  
 都の支出 : 17,830千円  
 区の支出 : 885,750千円  
 その他の支出 : 2,850千円

**扇みしま公園拡張整備 693,893千円**

用地購入 663,943千円  
 整備工事 29,950千円 【約1,356㎡】

国の補助金を活用し、既存の公園を拡張しました。



**公園施設長寿命化計画に基づく改修工事 145,384千円**



荒川右岸西新井橋緑地トイレ



五反野コミュニティ公園大型複合遊具

**荒川河川敷トイレの簡易水洗化**

- 2か所
- 公園灯LED化 5か所・46灯
- 防球フェンス 1か所
- 公園トイレ 1か所
- 大型複合遊具 2か所

国の補助金を活用し、老朽化した公園施設を更新しました。

**区立公園の防災対策設備設置 40,983千円**  
 (復興税充当額 37,585千円)

設計委託 20公園 7,401千円  
 設置工事 3公園 33,582千円

復興税を活用し、平成27年度末までに区立公園等52か所に防災対策設備を設置する計画です。

**【標準的な設備】**

- 災害緊急トイレ・防災井戸
- ソーラーLED照明灯
- 倉庫・トイレ用テント・案内看板



ソーラーLED照明灯



防災井戸



災害緊急トイレ (テント・洋式)

**荒川桜つつみ整備工事ほか改修工事等 198,567千円**

荒川桜つつみ整備工事(その4)・・・桜95本植栽(約50,000㎡のうち、44,573㎡完了)	57,125千円
荒川右岸新田緑地整備工事(下流部)・・・新田わくわく水辺広場が完成	50,750千円
元湊江公園園路改修工事・・・段差をなくし、雨の日も歩きやすいよう園路を舗装	34,380千円
神明水の森公園改修工事・・・広場を整備	14,066千円
荒川河川敷グラウンド整備工事 ほか	42,246千円

担当課係	みどり推進課公園建設係	問合せ先(直通)	3880-5896
------	-------------	----------	-----------



事業名: <b>公共サービス改革の推進事務</b>	予算現額	136,995 千円
	決算額	131,101 千円
	執行率	95.70 %

～ 民間のノウハウを活用し、新たな行革のステージへ～

## 公共サービス改革を推進!

【この事業を支えた支出】

区の支出: 131,101千円

### 【事業の目的・概要】

戸籍住民課と中央本町区民事務所の窓口を統合し、民間委託を実施しました。  
民間のノウハウにより、税や保険料など複数業務の滞納債権について、収納率の向上を図りました。  
日本公共サービス研究会において、事業者や他自治体との協働により事例研究を進め、国民健康保険や会計管理業務などの外部化モデルを構築します。

### 戸籍・区民事務所窓口の業務等委託 (97,001千円)

手続き窓口の増設、フロアマネージャーの増員

窓口での待ち時間短縮のため、8窓口から16窓口を増やしました。

また、フロアマネージャーを1人から3人に増やし、案内業務を充実させました。

月次分析の活用

事業者から月次報告される処理時間の計測などを綿密に分析して業務改善に取り組んでいます。

ユニバーサルデザインに基づいたフロア設計

高齢者や障がいのある方に配慮した記載台を設置。わかりやすいサイン表示に改めました

(窓口の業務等委託 71,400千円 工事等初期投資 25,601千円)。

今後、より適切なサービスを提供できるよう、改善を行っていきます。



### 電話・訪問催告業務委託 (33,696千円) 【新規】

今後、さらなる増収を目指します

特別区民税・都民税、軽自動車税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、学童保育室保護者負担金、介護保険料、保育料のいずれかを滞納している2万世帯に対する納付催告により、5年間で約9億円の増収を目指しており、業務委託開始年度の平成25年度は、約2億円の収入がありました。

多様な収納率向上策を実施

夜間や休日にも納付案内を行うことで滞納者との接触を増やして滞納債権を効率的に減らし、収納率向上を図りました。

納付催告業務を委託

業務委託開始年度の25年度は、税や保険料など複数の滞納債権について、納付案内の経験や実績、技術的知識などを有する事業者が、電話(49,635件)と訪問(4,275件)を組み合わせた納付催告を実施しました。



### 「公共サービス研究会」を通じた自治体連携 (404千円)

日本公共サービス研究会の開催

日本公共サービス研究会は、事業者や他自治体との協働により、国保や会計業務を通じて事例研究を進め、新たな行革手法である専門定型業務の外部化について検討するため、総会2回、コア会議2回の合計4回実施しました。

包括的外部化に必要な業務分析のフィールドを足立区が提供し、事業者が足立区の実情に合わせたモデルを提案。参加自治体が相互に意見を出し合い、その課題や解決策の情報共有を図りました。

【第2回総会(65自治体参加)、第3回総会(96自治体参加)、

第3回コア会議(20自治体参加)、第4回コア会議(20自治体参加)】



担当課係

戸籍住民課管理係  
納税課納付促進担当  
政策経営課経営戦略担当

問合せ先(直通)

3 8 8 0 - 5 7 2 3  
3 8 8 0 - 6 2 5 4  
3 8 8 0 - 5 8 1 1

事業名: シティプロモーション事業	予算現額	20,122 千円
	決算額	18,689 千円
	執行率	92.88 %

【この事業を支えた支出】  
区の支出: 18,689千円

【事業の概要】

あだちが大好き・あだちに住み続けたい

「自分が住むまちを誇りに思う」と胸を張って言えるまちを目指して、今ある魅力を”磨き” 新たな魅力を”創り出す” 『イメージアップ戦略』を展開中です。

創るプロモーション

足立区の「今ある魅力」に付加価値をつけ、新たな魅力を創りだしています。



アートアクセスあだち 音まち千住の縁 (通称「音まち」)  
"音"をテーマにした「まちながアートプロジェクト」。  
千住を舞台に「人と人」「人と場所」「人とアート」など、  
様々な"縁(えん)"を結びながら、新たな魅力を創っています。  
総参加者数 約10,059人 9,899千円  
Photo: 千住フライングオーケストラ

大友良英  
「千住フライングオーケストラ」

千住の魚河岸・足立市場「通称やっちゃば」を会場に、ターレーに乗っての演奏、おもしろ屋台やへんてこ屋台、音の出る提灯などなどの「縁日」を開催。

(2014.3.21 6,000人参加 1,363千円)

大巻伸嗣

「Memorial Rebirth 千住 2013 常東」

無数のシャボン玉によって、見慣れたまちなみを光の風景へと変貌させるアートパフォーマンス、通称「メモリバ」。平成25年度は初めての夜開催に挑戦。

(2013.10.19 1,800人参加 1,083千円)

野村誠

「千住だじゃれ音楽祭」

だじゃれから生まれる新たな「だじゃれ音楽」の可能性を探求するプロジェクト。平成25年度からは、タイやインドネシアのアジアンテイストを加えて展開中。

(2013.11.10 200人参加  
2014.3.16 110人参加 1,400千円)

千住ミュージックホール  
イミグレーションミュージアム・東京  
未来楽器図書館 等

(その他、1,949人参加 6,053千円)

磨くプロモーション

チラシやポスターの制作支援やワークショップなど、「情報発信力の強化」に取り組んでいます。



千住の魅力を発信する  
新企画「大千住マップ」

広報物ブラッシュアップ等  
(研修講師謝礼、印刷製本費等 3,352千円)

「伝わる広報物」を目指して、ワークショップなどを通じて 職員の「企画力」と「デザイン力」の向上を目指しています。

ワークショップ参加人数 132人

日々の広報物のデザインサポートや、各事業の企画～運営のアドバイスにより、広報物やイベントをブラッシュアップしています。

広報物制作支援件数 294件

ウォーキングイベント(荒天により中止)  
(委託料 5,438千円)



毎年、特別区職員採用の時期にあわせて制作する「職員採用案内&区政要覧」

担当課係	シティプロモーション課 プロモーション係	問合せ先(直通)	3 8 8 0 - 5 8 0 3
------	-------------------------	----------	-------------------

事業名: 住民基本台帳事務(証明書のコンビニ交付)	予算現額	52,034 千円
	決算額	48,929 千円
	執行率	94.03 %

# 便利です! コンビニ交付!

【この事業を支えた支出】  
 区の支出 : 23,308千円  
 利用者の支出 : 25,621千円

コンビニエンスストアのマルチコピー機を操作して、  
住民票の写しなどの証明書を取得できるようになりました!

### 【事業の概要】

平日の日中に窓口に来庁できない区民の方の利便性を図るため、平成25年6月から、住民票の写し、印鑑登録証明書などの各種証明書を、コンビニエンスストアで取得できるサービスを開始しました。

### 【決算額内訳】

住基カード普及施策 20,722千円(住基カード購入経費3,570千円、人材派遣経費10,375千円、等)  
 コンビニ交付基本経費 6,005千円(地方自治情報センター負担金4,167千円、コンビニへの委託料1通120円)  
 コンビニ交付戦略的プロモーション 2,991千円(広報ビデオ・CM放映、のぼり旗作成)  
 コンビニ交付以外のその他経費 19,211千円(区民等からの請求に対する住民票郵送事務委託等)

### \* コンビニ交付の普及、啓発活動として「W半額キャンペーン」の実施 \*

コンビニ交付に必要な住基カードの手数料と、コンビニ交付手数料を窓口の半額としました。  
 区役所戸籍住民課に住基カード専用特設窓口を設置し、写真付き住基カードを希望の方に、写真撮影サービスを実施しました。 \*手数料の半額と、郵送受付は平成26年度も継続

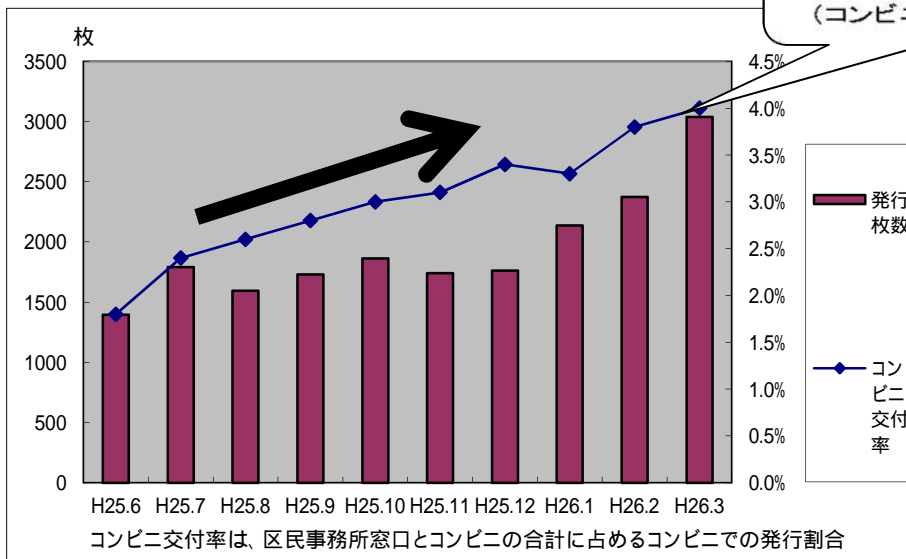
### 【住基カード発行枚数】

平成25年度新規発行枚数 19,770枚 (平成24年度 6,229枚 対前年度 3.17倍)  
 26年3月31日現在の有効住基カード枚数 55,570枚  
 コンビニ利用可能な住基カード枚数 22,118枚

### 【平成25年度コンビニでの月別発行推移】

(25年6月10日～26年3月31日)

平成26年3月の  
 コンビニ証明書発行枚数  
**3,037枚**  
 (コンビニ交付率 4.0%)



内訳  
 住民票 9,670枚  
 印鑑証明 5,643枚  
 戸籍謄抄本 1,551枚  
 戸籍附票 169枚  
 課税証明 2,218枚  
 納税証明 173枚  
 計 19,424枚

コンビニのマルチコピー機



担当課係 戸籍住民課住民記録係

問合せ先(直通)

3 8 8 0 - 5 7 2 4



(5) 復興税活用事業一覧表

**復興税**

地方公共団体が行う防災・減災に必要な財源の確保に関する法律が平成23年度に公布されました。

この法律により、平成27年度までの間、全国的に、かつ、緊急に地方公共団体が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するため、地方税の特例として、平成26年度～35年度までの各年度分の個人住民税について、均等割の標準税率に特別区民税500円と都民税500円加算できることになりました。

これを受け、足立区では建物の倒壊やライフラインの断絶等に備えて、平成24年度から復興税の事業を開始しました。

復興税の特徴

- ・被災地向けとしてではなく、区内の防災や減災に使います。  
使用目的は、緊急性が高く、即効性のある防災・減災事業に限られます。
- ・平成26年度～35年度に特別区民税均等割額を年額500円増額して、財源を確保します。
- ・税金を集める時期と使う時期が異なります。  
使用期間:平成24年度～27年度 増額期間:平成26年度～35年度

\*東日本大震災からの復興に関し地方公共団体が実施する防災のための施策に必要な財源の確保に係る地方税の臨時特例に関する法律

上段：実績数

下段：決算額（千円）

活用事業一覧表

事業名	事項名	平成24年度	平成25年度	平成26・27年度 見込	計
建築物耐震化の促進	木造耐震改修工事 助成上乗せ分	0	39件	100件	139件
		0	15,894	50,000	65,894
	木造解体除却工事 助成上乗せ分	4件	370件	600件	974件
		2,000	174,466	300,000	476,466
	木造解体除却工事 助成上乗せ分 (無接道敷地)	0	5件	40件	45件
		0	2,500	20,000	22,500
老朽危険家屋対策	老朽危険家屋除却 工事助成	0	11件	20件	31件
		0	5,218	10,000	15,218
橋梁の耐震補強事業	桑袋大橋耐震補強	0	10,074	305,000	315,074
	花畑大橋・富士見 橋耐震補強	0	0	72,070	72,070
公園等の整備事業	公園防災対策設備 設置工事設計委託	11か所	20か所	21か所	52か所
		3,969	7,401	10,000	21,370
	公園防災対策設備 設置工事	0	3か所	49か所	52か所
		0	30,184	743,700	773,884
合 計		5,969	245,737	1,510,770	1,762,476

# 4 主な施設の運営における経費と財源

ここでは、使用料や手数料で運営している主な施設の決算状況を掲載します。  
 施設の概要、かかった経費(改築に係る経費は除く)とその財源、新公会計制度の考え方に基づいて現金以外のコストとして退職給付費用と減価償却費を盛り込みました。  
 (施設の利用内容にあわせて、一部表記等を変更している場合があります。)

<<表の見方>>

## (施設名)における経費と財源

( 部 課 )

### 1 施設の概要

この施設の担当課です。

### 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	カ所		
	施設総面積			
	平均面積			
1人あたり平均単価 × 常勤・非常勤従事職員数 + 臨時職員総額で算出。実際の支給額とは異なります。				
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円)	(A) 千円	
	従事職員数:常勤	単価(千円)	H24 8,165 H25 8,150	人
	従事職員数:非常勤	単価(千円)	H24 3,566 H25 3,563	人
	従事職員数:臨時職員	総額(千円)	H24 H25	人
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	
	備品購入費	(F)	千円	
	その他( ) 等)	(G)	千円	
総事業費	(H)=A+B	千円		

平均単価は、決算額 / 職員数(3月1日現在)で算出。

財源内訳	財源総額	(I)	千円	
	利用者使用料		千円	
	区の負担分(事業運営分)	(J)	千円	
	都の負担分		千円	
	国の負担分		千円	

利用者が支払った使用料や手数料などのほか、区・都・国などの支出額を計上しています。

職員が1年勤務することで増加する退職金の平均増加額 × 従事常勤職員数で算出。実際の退職金とは異なります。

退職給付費用(1年勤務で増額する額)	(K)	H24 599 H25 129	千円	
減価償却費(経年で減少する建物等の価値:更新時に必要となるコスト)	(L)		千円	

利用(対象)者数一人あたりの総コスト	例えば、鉄筋コンクリート造の庁舎は、取得額を耐用年数50年で割った額です。		
利用(対象)者数			
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	

区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097 669,592
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	

備考欄(利用料や利用者数の説明等)

区民一人あたりの総コストのうち、国等の財源を除いた区の負担分です。

# 区民事務所における経費と財源

(地域のちから推進部 地域調整課)

## 1 施設の概要

区民事務所は区内に17か所あり、居所に関わる諸届、印鑑登録証明書・課税証明書等の発行や区民税・国民健康保険料・介護保険料・後期高齢者医療保険料の収納など区民の皆様身近な窓口業務と町会・自治会や青少年対策地区委員会等の地域活動の支援業務を行っています。平成25年度の窓口業務は年間1,024,294件、収納額は1,508,709,279円の取扱いとなっています。その他、各種行政サービスに関する相談は年々増加しています。平成26年1月から中央本町区民事務所の窓口業務を委託しました。

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	17	17	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	6,680.5	6,680.5	
	平均面積	m <sup>2</sup>	393.0	393.0	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	1,481,210	1,507,453
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	170.0	175.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	25.0	22.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 4,010 H25 2,817	人	10.0	10.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	47,787	44,684
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	20,399	18,819
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	9,008	11,356
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) <sup>1</sup>	(E)	千円	11,636	10,572
	備品購入費	(F)	千円	1,918	246
	その他(使用料及び賃借料等)	(G)	千円	4,826	3,691
<b>総事業費</b>	<b>(H)=A+B</b>	千円	<b>1,528,997</b>	<b>1,552,137</b>	

<sup>1</sup>中央本町区民事務所窓口業務委託(戸籍住民課計上分)を除く

財源内訳	財源総額	(I)	千円	1,528,997	1,552,137
	利用者手数料		千円	268,774	270,904
	<b>区の負担分(事業運営分)</b>	<b>(J)</b>	千円	<b>1,260,223</b>	<b>1,281,233</b>
	都の負担分		千円	0	0
	国の負担分		千円	0	0
	その他( )		千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24 599 H25 129	千円	101,830	22,575
減価償却費 <sup>2</sup>	耐用年数 38年~50年 (L)	千円	51,338	51,338

<sup>2</sup>複合施設の場合は、施設全体の減価償却費×区民事務所占面積の割合で算出しています  
梅田区民事務所の床面積、西新井区民事務所の減価償却費を訂正しました

窓口業務一件あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	1,652	1,587
窓口業務の年間件数	(N)	件	1,018,178	1,024,294
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	1,388	1,323

区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	2,514	2,428
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	2,112	2,024

### 主な手数料

・戸籍全部個人事項証明書	450円	・戸籍の除籍謄本抄本	750円
・印鑑登録証明書交付手数料	300円	・印鑑登録証交付手数料	50円
・住民票写し交付手数料	300円		

# 足立区地域学習センターにおける経費と財源

【地域図書館、地域体育館を除く】

(地域のちから推進部 地域文化課)

## 1 施設の概要

区民の皆様の高度化・多様化する学習需要に応え、学習機会を提供するとともに、学習意欲を支援しています。また、学びによるまちづくり・人づくりを推進することにより、区民の絆づくりを強め、地域のちからの醸成に寄与します。

施設利用状況 利用者総数 642,052人

【内訳】・団体利用 355,442人 ・館主催事業等 286,610人

登録団体の状況 481団体 会員数 9,016人

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	か所	13	13
	施設総面積	m <sup>2</sup>	11,388.0	11,388.0
	平均面積	m <sup>2</sup>	876.0	876.0
経費内訳	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (A)	千円	0	0
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	0.0	0.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 0 H25 0	人	0.0	0.0
	管理運営費の総額 (B)=C+D+E+F+G	千円	870,772	892,693
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費) (C)	千円	126,529	145,842
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費) (D)	千円	6,510	5,165
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) (E)	千円	678,721	692,690
	備品購入費 (F)	千円	1,521	2,083
	その他(賃借料・手数料等) (G)	千円	57,491	46,913
<b>総事業費 (H)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>870,772</b>	<b>892,693</b>	

財源内訳	財源総額 (I)	千円	870,772	892,693
	利用者(施設利用料)	千円	61,251	62,295
	<b>区の負担分(事業運営分) (J)</b>	<b>千円</b>	<b>809,521</b>	<b>830,398</b>
	都の負担分	千円	0	0
	国の負担分	千円	0	0
その他( )	千円	0	0	

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24 599 H25 129	千円	0	0
減価償却費 耐用年数 50年 (L)		千円	128,805	128,805

複合施設全体の減価償却費×地域学習センターの占有面積の割合で算出しています

利用(対象)者数一人あたりの総コスト (M)=(H+K+L)/N	円	1,618	1,591
利用(対象)者数 (N)	人	617,902	642,052
(M)のうち区の支出額 (O)=(J+K+L)/N	円	1,519	1,494

区民一人あたりの総コスト (P)=(H+K+L)/Q	円	1,494	1,526
足立区の人口(4月1日現在) (Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額 (R)=(J+K+L)/Q	円	1,402	1,433

利用料金 利用時間帯によって異なります  
 学習室 1,200円～ 料理室 2,700円～  
 音楽室 1,200円～ レクリエーションホール2,300円～



# 足立区立郷土博物館における経費と財源

(地域のちから推進部 地域文化課)

## 1 施設の概要

郷土博物館は、平成20年度に、体験・体感を重視した「教育と娯楽の融合」を目指して、常設展示の全面取替えを実施し、平成21年3月15日に「会話の弾む博物館」をテーマにリニューアルオープンしました。区民・団体との協働による事業運営を軸とし、より多くの皆様にご来館いただき、ふるさと足立の理解を深め、郷土愛を育む施設として、魅力ある展示を中心に事業展開を行っています。

施設利用状況 来館者数 25,924人 【内訳】団体利用 4,147人 一般利用 21,777人  
登録団体の状況 11団体 会員数 1,443人

平成24年度は、区制80周年特別展等があり、入館者が例年より約15,000人増加しましたが、25年度は、80周年の要素が無くなり、荒天による桜まつり(4月6・7日)の中止等も影響し減少しました。

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	1	1	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	2,562.0	2,562.0	
	平均面積	m <sup>2</sup>	2,562.0	2,562.0	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	77,868	76,992
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	7.0	7.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	5.0	5.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 2,883 H25 2,127	人	6.0	6.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	29,084	29,006
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	10,706	13,007
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	4,632	4,491
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	11,087	10,870
	備品購入費	(F)	千円	2,079	0
	その他(施設修繕費等)	(G)	千円	580	638
<b>総事業費</b>	<b>(H)=A+B</b>	千円	<b>106,952</b>	<b>105,998</b>	

財源内訳	財源総額	(I)	千円	106,952	105,998
	利用者(入館料)		千円	1,962	804
	<b>区の負担分(事業運営分)</b>	<b>(J)</b>	千円	<b>103,958</b>	<b>104,455</b>
	都の負担分		千円	0	0
	国の負担分		千円	0	0
	その他(刊行物売払代金およびコピー代金)		千円	1,032	739

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24	599	H25	129	千円	4,193	903
減価償却費	耐用年数	50年	(L)		千円	26,185	26,185

入館者一人あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	3,047	5,134
入館者数	(N)	人	45,076	25,924
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	2,980	5,074

区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	205	199
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	201	196

利用料金(観覧料)

常設展・特別展:一般(高校以上) 200円 団体(20人以上) 100円

# 足立区総合スポーツセンターにおける経費と財源

(地域のちから推進部 スポーツ振興課)

## 1 施設の概要

区民の皆様の高度化・多様化する生涯スポーツの需要に応え、生涯スポーツ振興計画や体力づくり事業を計画し、スポーツを通じてまちづくりや人づくりの推進を図っています。

施設利用状況 利用者総数 427,281人

【内訳】・個人利用 81,523人 ・団体利用 345,758人

登録団体の状況 【23種目 61団体 延べ2,237人】

合気道/5 日本拳法/1 空手/3 器械体操/2 剣道/4 健康体操/3 卓球/9 トラップ/5  
バドミントン/2 バウンドテニス/3 ファミリーテニス/5 太極拳/1 なぎなた/1 バスケ/3 レクリエーション/1  
柔道/1 ビーボール/2 バレーボール/1 フラダンス/1 ジョギング/1 フットサル/2 新体操/1  
ヨガ/4

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	か所	1	1
	施設総面積	m <sup>2</sup>	8,984.0	8,984.0
	平均面積	m <sup>2</sup>	8,984.0	8,984.0
経費内訳	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (A)	千円	0	0
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	0.0	0.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 0 H25 0	人	0.0	0.0
	管理運営費の総額 (B)=C+D+E+F+G	千円	266,055	268,633
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費) (C)	千円	51,122	53,265
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費) (D)	千円	2,092	3,212
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) (E)	千円	137,075	134,449
	備品購入費 (F)	千円	152	431
	その他(施設修繕費等) (G)	千円	75,614	77,276
<b>総事業費 (H)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>266,055</b>	<b>268,633</b>	

財源内訳	財源総額 (I)	千円	266,055	268,633
	利用者(施設利用料)	千円	47,234	52,427
	<b>区の負担分(事業運営分) (J)</b>	<b>千円</b>	<b>218,821</b>	<b>216,206</b>
	都の負担分	千円	0	0
	国の負担分	千円	0	0
	その他( )	千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24 599 H25 129	千円	0	0
減価償却費 耐用年数 31年~50年 (L)		千円	85,090	85,034

付属施設を含む

利用者数一人あたりの総コスト (M)=(H+K+L)/N	円	839	828
利用者数(個人・団体利用の合計総数) (N)	人	418,292	427,281
(M)のうち区の支出額 (O)=(J+K+L)/N	円	727	705

区民一人あたりの総コスト (P)=(H+K+L)/Q	円	525	528
足立区の人口(4月1日現在) (Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額 (R)=(J+K+L)/Q	円	454	450

団体利用料金 ( ) は個人一般利用料金 【利用時間帯によって異なります】

大体育館 6,000円~(300円~) 小体育館 2,000円~(300円~)  
柔道場 1,300円~(300円~) 剣道場 2,500円~(300円~)  
弓道場 1,300円~(300円~) アーライバル場 2,000円~(500円/時間)

# 足立区立中央図書館における経費と財源

【地域図書館を除く】  
(地域のちから推進部 中央図書館)

## 1 施設の概要

平成20年度に策定した「足立区図書館計画」「第二次子ども読書活動推進計画」(いずれの計画も平成28年度まで計画期間を延長)に基づいて、区民の皆様の「人間力」「文化力」を育み皆様に役立つ図書館を目指しています。また、平成23年度より、地域のちから推進部として新たな一步を踏み出し、「地域のちからを生み出す拠点」としての機能を果たせるよう、人と人とのつながりを意識した事業展開を行っています。

(中央図書館分)

施設利用状況 開館日数 325日 来館者数 614,140人 利用時間 午前9時～午後8時  
蔵書数 798,461冊 登録者数 一般45,022人 児童2,635人  
貸出状況 貸出点数 個人貸出数 679,276点 団体貸出数 372,985冊  
蔵書数・貸出点数は雑誌・音楽映像資料含む  
平成25年度の貸出冊数の増は、学校等の団体貸出数が増加したため

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	1	1	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	6,537.0	6,537.0	
	平均面積	m <sup>2</sup>	6,537.0	6,537.0	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	279,430	278,999
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	18.0	18.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	35.0	35.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 7,650 H25 7,594	人	8.0	8.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	248,560	229,119
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	75,881	70,354
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	19,484	19,215
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	106,646	105,908
	備品購入費	(F)	千円	14,758	2,177
	その他(施設修繕費等)	(G)	千円	31,791	31,465
総事業費	(H)=A+B	千円	527,990	508,118	

財源内訳	財源総額	(I)	千円	527,990	508,118
	利用者(施設利用料)		千円	0	0
	区の負担分(事業運営分)	(J)	千円	527,990	508,118
	都の負担分		千円	0	0
	国の負担分		千円	0	0
その他( )		千円	0	0	

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24 599 H25 129	千円	10,782	2,322	
減価償却費	耐用年数 50年	(L)	千円	73,596	73,596

貸出した本一冊あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	584	555
貸出冊数	(N)	冊	1,048,664	1,052,261
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	584	555

区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	915	872
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	915	872

# 足立区生物園における経費と財源

(都市建設部 公園管理課)

## 1 施設の概要

生物園は「ふれあい、いのち、共生」をテーマとした自然の生き物たちとのふれあいの場です。亜熱帯をイメージした大温室では一年中蝶が飛び交い、夏のホタルや秋の鳴く虫、大水槽を泳ぎ回る金魚や小動物とのふれあいなど、四季を通じて楽しめる区民の憩いの施設です。  
平成25年度は、改修工事のため平成25年8月26日から年度内を休園（利用者：前年度比50.1%減）し、平成26年度からは指定管理者による管理・運営を行っています。  
利用者数一人あたりの総コスト増の要因は、休園による利用者減にもかかわらず、運営経費は生物の維持・施設の維持のために大きく変動しなかったことによるものです。

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	1	1	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	2,918.0	2,918.0	
	平均面積	m <sup>2</sup>	2,918.0	2,918.0	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	66,414	39,229
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	6.0	4.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	4.0	1.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 3,160 H25 3,066	人	3.0	3.0
	管理運営費(元淵江公園分を含む)の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	186,975	189,534
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	32,745	26,688
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	17,162	9,696
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	131,386	147,569
	備品購入費	(F)	千円	0	2,745
	その他(昆虫施設連絡協議会参加費・補修工事・機器リース等)	(G)	千円	5,682	2,836
<b>総事業費</b>	<b>(H)=A+B</b>	千円	<b>253,389</b>	<b>228,763</b>	

財源内訳	財源総額	(I)	千円	253,389	228,763
	利用者(入園料等)		千円	26,919	12,607
	<b>区の負担分(事業運営分)</b>	<b>(J)</b>	千円	<b>226,470</b>	<b>216,156</b>
	都の負担分		千円	0	0
	国の負担分		千円	0	0
	その他( )		千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24 599 H25 129	千円	3,594	516
減価償却費	耐用年数 50年 (L)	千円	35,417	35,417

利用(対象)者数一人あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	1,788	3,229
利用(対象)者数	(N)	人	163,555	81,969
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	1,623	3,075

区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	437	395
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	397	376

【一般】年間パスポート 1,200円 【小・中学生】年間パスポート 600円  
 一日券 個人 300円 一日券 個人 150円  
 一日券 団体 200円 一日券 団体 100円(団体20名以上)  
 年間パスポート：平成25年8月25日までは半額発売(以降休園)



# 足立区都市農業公園における経費と財源

(都市建設部 公園管理課)

## 1 施設の概要

都市農業公園は、「自然と遊ぶ、自然に学ぶ、自然と共に生きる」をテーマに、春は五色桜やチューリップ、秋にはコスモスなど四季折々の花や、身近な自然や生き物について楽しみながら学ぶことができる施設です。園内には、古民家、長屋門など足立区指定文化財もあります。自然とふれあう機会として、水田や畑を利用した農作業体験教室、ハーブ教室や植物に関する講習会などを実施しています。

平成24年度から、指定管理者による管理・運営を行っています。

利用者数一人あたりの総コスト増の要因は、運営経費は減少したものの春のイベントが荒天で中止になったことと、桜の花が早く散ったことでの利用者数の大幅減によるものです。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	1	1	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	4,012.0	4,012.0	
	平均面積	m <sup>2</sup>	4,012.0	4,012.0	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	0	0
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	0.0	0.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 0 H25 0	人	0.0	0.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	149,255	145,267
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	0	6
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	0	0
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	141,106	145,261
	備品購入費	(F)	千円	0	0
	その他(維持補修費等)	(G)	千円	8,149	0
<b>総事業費</b>	<b>(H)=A+B</b>	千円	<b>149,255</b>	<b>145,267</b>	
財源内訳	財源総額	(I)	千円	149,255	145,267
	利用者(駐車場料金)	1 会議室利用料は指定管理者の収入	千円	5,872	5,555
	<b>区の負担分(事業運営分)</b>	<b>(J)</b>	千円	<b>143,383</b>	<b>139,712</b>
	都の負担分		千円	0	0
	国の負担分		千円	0	0
その他( )		千円	0	0	
退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24 599 H25 129	千円	0	0	
減価償却費	耐用年数 50年 (L)	千円	41,174	41,174	
利用(対象)者数一人あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	570	679	
利用(対象)者数	<sup>2</sup> (N)	人	333,945	274,616	
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	553	659	
2 公園の入場者測定器(5か所設置)で計測。荒川河川敷方面からの入場者は含んでいません。					
区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	285	278	
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592	
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	276	270	

施設使用料 会議室 5,300円～ (使用時間帯によって異なります)

駐車場使用料

30分以内 無料

30分を超えた場合 30分までごと 普通車100円 大型車200円

# 足立区花畑公園・桜花亭における経費と財源

(都市建設部 公園管理課)

## 1 施設の概要

花畑記念庭園は、四季折々の風情が楽しめる池泉回遊式の日本庭園です。  
 桜花亭には、貸出施設として1階に和室・茶室、2階に洋室があり、美しい庭園を眺めながらの会議・講演会・研修会、また茶道・華道教室などにも利用できます。  
 平成18年度から、指定管理者による管理・運営を行っており、平成25年度からは新たな指定管理者に引き継がれています。  
 利用者数一人あたりの総コスト減の要因は、指定管理者の運営により経費が減となったことです。また、利用者数が減少した主な要因は「さくら祭り」が荒天により中止になったことによるものです。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	か所	1	1
	施設総面積	m <sup>2</sup>	962.0	962.0
	平均面積	m <sup>2</sup>	962.0	962.0
経費内訳	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (A)	千円	0	0
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	0.0	0.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 0 H25 0	人	0.0	0.0
	管理運営費の総額 (B)=C+D+E+F+G	千円	42,368	39,349
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費) (C)	千円	252	0
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費) (D)	千円	0	0
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) (E)	千円	41,594	39,142
	備品購入費 (F)	千円	0	0
	その他(維持補修費等) (G)	千円	522	207
<b>総事業費 (H)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>42,368</b>	<b>39,349</b>	

財源内訳	財源総額 (I)	千円	42,368	39,349
	利用者(会議室使用料等) 1 指定管理者の収入	千円	0	0
	<b>区の負担分(事業運営分) (J)</b>	<b>千円</b>	<b>42,368</b>	<b>39,349</b>
	都の負担分	千円	0	0
	国の負担分	千円	0	0
	その他( )	千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24	599	H25	129	千円	0	0
減価償却費 耐用年数	50年		(L)	千円	10,209	10,209	

利用(対象)者数一人あたりの総コスト (M)=(H+K+L)/N	円	636	618
庭園・会議室利用者数 2 (N)	人	82,716	80,230
(M)のうち区の支出額 (O)=(J+K+L)/N	円	636	618

2 利用者数 = 午前・午後とも一定時間の滞留人数 + 開園時間から積算した庭園利用者 + 集会施設の利用者

区民一人あたりの総コスト (P)=(H+K+L)/Q	円	79	74
足立区の人口(4月1日現在) (Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額 (R)=(J+K+L)/Q	円	79	74

施設使用料  
 洋室 1,200円 ~ 和室 2,100円 ~ 茶室 1,100円 ~  
 使用時間帯によって異なります

# 足立区立小学校における経費と財源

(学校教育部 教育政策課・学校施設課・学務課・教職員課)

## 1 施設の概要

小学校70校の良好な学習環境を維持するため、学校施設・設備・校具等の修繕・購入、各種保守点検、機械警備委託、学校への予算配付による小破修繕等のほか、給食調理委託や給食調理用備品の更新等を行っています。平成25年度は、校舎の耐震補強工事(8校)を行ったため、前年度より経費が増えています。

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	71	70	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	410,389.0	405,664.0	
	平均面積	m <sup>2</sup>	5,780.1	5,795.2	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	259,026	216,818
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	12.0	9.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	26.0	21.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 68,330 H25 68,645	人	74.0	77.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	5,516,084	6,160,573
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	1,534,341	1,549,513
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	97,816	103,765
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	2,496,876	2,510,946
	備品購入費	(F)	千円	168,949	182,296
	その他(学校修繕費等)	(G)	千円	1,218,102	1,814,053
総事業費	(H)=A+B	千円	5,775,110	6,377,391	

財源内訳	財源総額	(I)	千円	5,775,110	6,377,391
	利用者使用料		千円	0	0
	区の負担分(事業運営分)	(J)	千円	5,733,652	6,031,616
	都の負担分		千円	41,458	43,297
	国の負担分		千円	0	302,478
	その他( )		千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24 599 H25 129	千円	7,188	1,161
減価償却費	耐用年数 24年 ~ 47年 (L)	千円	1,378,187	1,318,657

建物には倉庫等付属施設を含む

児童一人あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	227,592	246,200
児童数	(N)	人	31,462	31,264
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	226,274	235,141

区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	10,702	11,495
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	10,640	10,979

人件費には、以下の教員等東京都職員を含みません。(人数は常勤・再任用・嘱託員の合計)

教員系 H24:1,540人 H25:1,509人、事務系 H24:111人 H25:111人

管理運営費には、小学校費のうち小学校の改築事業経費、自然教室事業経費、要保護・準要保護児童就学援助事業経費は含まれていません。

24年度の国の負担分(351,310千円)は改築事業(本表対象外)への充当額のため削除しました。

# 足立区立中学校における経費と財源

(学校教育部 教育政策課・学校施設課・学務課・教職員課)

## 1 施設の概要

中学校37校の良好な学習環境を維持するため、学校施設・設備・校具等の修繕・購入、各種保守点検、機械警備委託、学校への予算配付による小破修繕等のほか、給食調理委託や給食調理用備品の更新等を行っています。平成25年度は、前年度と比べ校舎等の保全工事が少なかったため、経費が少なくなりました。

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	か所	37	37
	施設総面積	m <sup>2</sup>	247,277.0	247,277.0
	平均面積	m <sup>2</sup>	6,683.2	6,683.2
経費内訳	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (A)	千円	159,123	144,136
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	5.0	5.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	13.0	8.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 71,940 H25 74,882	人	77.0	81.0
	管理運営費の総額 (B)=C+D+E+F+G	千円	2,891,095	2,697,036
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費) (C)	千円	854,119	895,560
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費) (D)	千円	62,820	66,015
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) (E)	千円	1,216,717	1,176,400
	備品購入費 (F)	千円	100,993	110,451
	その他(学校修繕費等) (G)	千円	656,446	448,610
<b>総事業費 (H)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>3,050,218</b>	<b>2,841,172</b>	
財源内訳	財源総額 (I)	千円	3,050,218	2,841,172
	利用者使用料	千円	0	0
	<b>区の負担分(事業運営分) (J)</b>	<b>千円</b>	<b>3,028,385</b>	<b>2,805,029</b>
	都の負担分	千円	21,833	24,431
	国の負担分	千円	0	11,712
	その他( )	千円	0	0
退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24 599 H25 129	千円	2,995	645
減価償却費 耐用年数 24年 ~ 47年 (L)		千円	831,975	844,717
建物には倉庫等付属施設を含む				
生徒一人あたりの総コスト (M)=(H+K+L)/N		円	269,936	255,566
生徒数 (N)		人	14,393	14,425
(M)のうち区の支出額 (O)=(J+K+L)/N		円	268,419	253,060
区民一人あたりの総コスト (P)=(H+K+L)/Q		円	5,807	5,506
足立区の人口(4月1日現在) (Q)		人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額 (R)=(J+K+L)/Q		円	5,774	5,452

人件費には、以下の教員等東京都職員を含みません。(人数は常勤・再任用・嘱託員の合計)

教員系 H24:854人 H25:854人、事務系 H24:60人、H25:60人

管理運営費には、中学校費のうち中学校の改築事業経費、校地購入事業、自然教室事業経費、要保護・準要保護生徒就学援助事業経費は含まれていません。



# 足立区立鋸南自然の家における経費と財源

(学校教育部 学務課)

## 1 施設の概要

鋸南自然教室：小学校5年生を対象に、臨海施設の立地条件を生かした2泊3日の自然体験・観察学習を実施しています。【参加児童数 5,201名】  
 学校利用に支障のない範囲で、区民の皆様へ施設を開放しています。  
 【区民利用者数 大人/4,684名 子ども/2,730名】  
 経費の内容：バスの借上げ（児童送迎用、実地踏査用）、教員・児童に配付する実施要項・しおりの印刷、及び施設の運営・維持管理等を行います。  
 平成25年度は前年度より利用者数が減少したため、一人あたりの総コストが上昇しました。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	か所	1	1
	施設総面積	m <sup>2</sup>	7,804.0	7,804.0
	平均面積	m <sup>2</sup>	7,804.0	7,804.0
経費内訳	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (A)	千円	0	0
	従事職員数:常勤 単価(千円)	H24 8,165 H25 8,150 人	0.0	0.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円)	H24 3,566 H25 3,563 人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円)	H24 0 H25 0 人	0.0	0.0
	管理運営費の総額 (B)=C+D+E+F+G	千円	169,821	167,632
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費) (C)	千円	35,064	36,012
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費) (D)	千円	608	601
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) (E)	千円	78,999	73,072
	備品購入費 (F)	千円	1,721	581
	その他(報償費、使用料及び賃借料ほか) (G)	千円	53,429	57,366
<b>総事業費 (H)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>169,821</b>	<b>167,632</b>	

財源内訳	財源総額 (I)	千円	169,821	167,632
	利用者使用料利用者(宿泊料等) 指定管理者の収入	千円	0	0
	<b>区の負担分(事業運営分) (J)</b>	<b>千円</b>	<b>169,821</b>	<b>167,632</b>
	都の負担分	千円	0	0
	国の負担分	千円	0	0
	その他( )	千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24 599 H25 129	千円	0	0
減価償却費 耐用年数 22年~47年 (L)		千円	86,821	86,821

付属施設を含む

利用(対象)者数一人あたりの総コスト (M)=(H+K+L)/N	円	19,955	20,171
利用(対象)者数 (N)	人	12,861	12,615
(M)のうち区の支出額 (O)=(J+K+L)/N	円	19,955	20,171

区民一人あたりの総コスト (P)=(H+K+L)/Q	円	384	380
足立区の人口(4月1日現在) (Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額 (R)=(J+K+L)/Q	円	384	380

利用料金(1泊) 宿泊料:大人 3,500円 子ども 1,700円  
 平成18年度から、指定管理者による管理・運営を行っています。

# 足立区立日光林間学園における経費と財源

(学校教育部 学務課)

## 1 施設の概要

日光自然教室：小学校6年生を対象に、日光の自然と文化遺産に親しむ2泊3日の社会体験学習を実施しています。【参加児童数 5,364名】  
 学校利用に支障のない範囲で、区民の皆様へ施設を開放しています。  
 【区民利用者数 大人/2,896名 子ども/2,491名】  
 経費の内容：バスの借上げ（児童送迎用・実地踏査用）、教員・児童に配付する実施要項・しよりの印刷、及び施設の運営・維持管理等を行います。  
 平成25年度は前年度より利用者数が増加したため、一人あたりの総コストが下がりました。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度	
施設概要	施設数	か所	1	1	
	施設総面積	m <sup>2</sup>	6,484.0	6,484.0	
	平均面積	m <sup>2</sup>	6,484.0	6,484.0	
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円) (A)	千円	0	0
	従事職員数:常勤	単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	0.0	0.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円) H24 0 H25 0	人	0.0	0.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	123,472	130,705
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	22,849	30,055
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	1,095	1,260
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	52,664	48,892
	備品購入費	(F)	千円	0	0
	その他(報償費、使用料及び賃借料ほか)	(G)	千円	46,864	50,498
<b>総事業費</b>	<b>(H)=A+B</b>	千円	<b>123,472</b>	<b>130,705</b>	
財源内訳	財源総額	(I)	千円	123,472	130,705
	利用者(宿泊料等) 指定管理者の収入		千円	0	0
	<b>区の負担分(事業運営分)</b>	<b>(J)</b>	千円	<b>123,472</b>	<b>130,705</b>
	都の負担分		千円	0	0
	国の負担分		千円	0	0
	その他( )		千円	0	0
退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24 599 H25 129	千円	0	0	
減価償却費	耐用年数 34年~47年 (L)	千円	48,944	48,944	
付属施設を含む					
利用(対象)者数一人あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	19,079	16,710	
利用(対象)者数	(N)	人	9,037	10,751	
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	19,079	16,710	
区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	258	268	
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592	
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	258	268	

利用料金(1泊) 宿泊料：大人 3,500円 子ども 1,700円  
 平成17年度から、指定管理者による管理・運営を行っています。

# 区立保育園における経費と財源

(子ども家庭部 子ども家庭課、子ども・子育て施設課)

## 1 施設の概要

区立保育園の適正な運営のため、産休代替保育士等臨時職員の雇用、給食の食材・備品・消耗品の購入、各園で使用した光熱水費の支出、各園担当嘱託医への報酬支払い及び歯科健診等を実施しました。また、区立保育園40園のうち39園について給食調理民間委託を実施し、運営の効率化を図りました。  
ここでは、区立保育園のうち公設民営保育園の経費等は含んでいません。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度
施設概要	施設数	か所	42	40
	施設総面積	m <sup>2</sup>	26,276.2	24,803.9
	平均面積	m <sup>2</sup>	625.6	620.1
経費内訳	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (A)	千円	7,233,135	6,925,793
	従事職員数:常勤 単価(千円)	H24 8,165 H25 8,150 人	710.0	679.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円)	H24 3,566 H25 3,563 人	392.0	379.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円)	H24 38,113 H25 41,566 人	221.0	252.0
	管理運営費の総額 (B)=C+D+E+F+G	千円	1,528,787	1,531,592
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費) (C)	千円	597,739	621,745
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費) (D)	千円	47,464	50,436
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料) (E)	千円	664,562	635,479
	備品購入費 (F)	千円	32,341	25,738
	その他(中規模修繕費等) (G)	千円	186,681	198,194
<b>総事業費 (H)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>8,761,922</b>	<b>8,457,385</b>	

平成24年度の面積を公設公営のみに修正しました。

財源内訳	財源総額 (I)	千円	8,761,922	8,457,385
	利用者保育料	千円	1,024,308	1,021,197
	<b>区の負担分(事業運営分) (J)</b>	<b>千円</b>	<b>7,669,415</b>	<b>7,333,820</b>
	都の負担分	千円	13,092	15,305
	国の負担分	千円	27,369	16,253
	その他(民生施設目的外使用料等)	千円	27,738	70,810

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (K)	H24 599 H25 129 千円	425,290	87,591
減価償却費 耐用年数 31年～47年 (L)	千円	123,728	120,386

区が建物を所有している保育園(自転車置場を含む)の減価償却費の平均値×保育園数で算出しています

保育園児一人あたりの総コスト (M)=(H+K+L)/N	円	2,095,171	2,216,772
保育園児数 (N)	人	4,444	3,909
(M)のうち区の支出額 (O)=(J+K+L)/N	円	1,849,332	1,929,342
区民一人あたりの総コスト (P)=(H+K+L)/Q	円	13,916	12,941
足立区の人口(4月1日現在) (Q)	人	669,097	669,592
(P)のうち区の支出額 (R)=(J+K+L)/Q	円	12,283	11,263

平成25年度 保育園児一人あたりの保育料の平均額

1,021,197千円÷3,909人=262千円(年額)

【参考】認可保育所園児数(区立、区立(公設民営)、私立)

平成24年度 8,857人 平成25年度 9,111人

# ギャラクシティ(足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール)における経費と財源

(子ども家庭部 青少年課・地域のちから推進部 地域文化課)

## 1 施設の概要

ギャラクシティは、西新井文化ホールを含む複合体験型施設です。23区最大の大型プラネタリウム・国内最大級のネット遊具などの充実した設備を活用し、「科学」「ものづくり」「体を動かす遊び・運動」の3分野を中心とした体験学習を提供しています。

子どもたちに特色ある遊び・体験の機会を提供し、子どもたちの知的好奇心に応え、自発的な成長を支援します。

また、大学連携や区民ボランティアの参画、子どもたちのイベント企画などを通じて、特色あふれる施設運営をしています(平成25年4月リニューアルオープン)。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度			
施設概要	施設数	か所	工事中	1			
	施設総面積	m <sup>2</sup>	-	15,219.8			
	平均面積	m <sup>2</sup>	-	15,219.8			
経費内訳	平均年間人件費	1人あたり単価(千円)	(A)	千円	-	24,450	
	従事職員数:常勤	単価(千円)	H24 8,165	H25 8,150	人	-	3.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円)	H24 3,566	H25 3,563	人	-	0.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円)	H24 5,548	H25 0	人	-	0.0
	管理運営費の総額	(B)=C+D+E+F+G	千円	-	555,676		
	需用費(光熱水費、修繕費、その他需用費)	(C)	千円	-	4,381		
	役務費(通信運搬費、清掃費、その他役務費)	(D)	千円	-	28		
	委託料(清掃、機械保守、警備、その他委託料)	(E)	千円	-	527,830		
	備品購入費	(F)	千円	-	569		
	その他(施設用地賃借料等)	(G)	千円	-	22,868		
<b>総事業費</b>	<b>(H)=A+B</b>	千円	-	<b>580,126</b>			
財源内訳	財源総額	(I)	千円	-	580,126		
	利用者(入館料等)	千円	-	47,463			
	<b>区の負担分(事業運営分)</b>	<b>(J)</b>	千円	-	<b>522,746</b>		
	都の負担分	千円	-	0			
	国の負担分	千円	-	0			
	その他(自動販売機電気料金収入等)	千円	-	9,917			
退職給付費用(1年勤務で増額する額)(K)	H24 599	H25 129	千円	-	387		
減価償却費	耐用年数 50年	(L)	千円	-	220,076		
入館者一人あたりの総コスト	(M)=(H+K+L)/N	円	-	<b>492</b>			
入館者数	(N)	人	-	1,627,473			
(M)のうち区の支出額	(O)=(J+K+L)/N	円	-	457			
区民一人あたりの総コスト	(P)=(H+K+L)/Q	円	-	<b>1,196</b>			
足立区の人口(4月1日現在)	(Q)	人	669,097	669,592			
(P)のうち区の支出額	(R)=(J+K+L)/Q	円	-	1,110			

プラネタリウム観覧料 大人500円 小中高生100円  
 1日券 大人800円 小中高生160円 年間パスポート 大人1,500円 小中高生300円  
 貸室使用料 1時間使用料: 250円~(部屋によって異なります)  
 西新井文化ホール(902席)



## 5 主な事業における経費と財源

ここでは、施設の運営を伴わない事業の決算状況を掲載します。  
 事業の概要、かかった経費とその財源、新公会計制度の考え方に基づいて現金会計以外のコストとして退職給付費用を盛り込み、利用者一人あたりのコストを計算しています。  
 (事業の内容にあわせて、一部表記等を変更している場合があります。)

<<表の見方>>

(事業名)における経費と財源		(部 課)		
1 事業の概要				
1人あたり平均単価×常勤・非常勤従事職員数+臨時職員総額で算出。 実際の支給額とは異なります。				
2 経費と財源				
経費内訳	事業費の総額 (A)	千円		
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)	千円	0	0
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人		
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人		
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 H25	人		
総事業費 (C)=A+B		千円	0	0
財源内訳	財源総額 (D)	千円	0	0
	区の負担分 (E)	千円	0	0
	都の負担分	千円		
	国の負担分	千円		
	その他 ( )	千円		
職員が1年勤務することで増加する退職金の平均増加額×従事常勤職員数で算出。実際の退職金とは異なります。				
退職給付費用(1年勤務で増額する額) (F)		H24 599 H25 129 千円	0	0
利用(対象)者数一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H		円		
対象者数(利用者数) (H)		人		
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H		円		
区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K		円		
足立区の人口(4月1日現在) (K)		人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K		円		
備考欄(利用料や利用者数の説明等)				

区民一人あたりの総コストのうち、国等の財源を除いた区の負担分です。

# 子ども医療費助成事業における経費と財源

(福祉部 親子支援課)

## 1 事業の概要

児童（乳幼児・義務教育就学児童）を養育している方に対し、児童に係る医療費を助成することにより児童の保健の向上と健やかな育成を図り、子育ての支援に資することを目的としています。

足立区に住所があり医療保険に加入している出生から中学校修了（15歳に達した最初の3月31日まで）の児童の医療費のうち保険診療の自己負担分（食事療養費を除く）を助成しました（養育者の所得制限はありません）。

## 2 経費と財源

		項 目				単位	平成24年度	平成25年度	
経費内訳	事業費の総額 (A)					千円	3,065,687	2,992,242	
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)					千円	41,444	53,429	
	従事職員数:常勤	単価(千円)	H24	8,165	H25	8,150	人	4.0	5.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円)	H24	3,566	H25	3,563	人	2.0	3.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円)	H24	1,652	H25	1,990	人	2.0	2.0
総事業費 (C)=A+B					千円	3,107,131	3,045,671		

財源内訳	財源総額 (D)					千円	3,107,131	3,045,671
	区の負担分 (E)					千円	3,106,637	3,044,930
	都の負担分					千円	0	0
	国の負担分					千円	0	0
	その他(返還金)					千円	494	741

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(F)		H24	599	H25	129	千円	2,396	645
-----------------------	--	-----	-----	-----	-----	----	-------	-----

対象児童一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H		円	35,960	34,957
対象児童数 (H)		人	86,471	87,145
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H		円	35,955	34,948

区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K		円	4,647	4,550
足立区の人口(4月1日現在) (K)		人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K		円	4,647	4,548

平成25年度の医療証を交付している対象児童数は674人増加しましたが、保険診療による一般医療、歯科、薬剤等の医療費自己負担額の助成額が減少したため、対象児童一人あたりの総コストも1,003円減少しました。

平成19年10月診療分から現行制度の助成対象に拡大しました。

# 障がい者自立支援給付費支給事業における経費と財源

(福祉部 足立福祉事務所)

## 1 事業の概要

障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスに係る介護給付費、訓練等給付費等の支給を行い、障がい者福祉の増進を図ります。

- (1) 障がい者自立支援給付費支給事業
- (2) 障がい者給付事業施行事務

## 2 経費と財源

		項目	単位	平成24年度	平成25年度
経費内訳	事業費の総額 (A)		千円	10,127,575	10,857,360
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)		千円	468,971	476,263
	従事職員数:常勤	単価(千円)	H24 8,165 H25 8,150 人	57.0	58.0
	従事職員数:非常勤	単価(千円)	H24 3,566 H25 3,563 人	1.0	1.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円)	H24 0 H25 0 人	0.0	0.0
総事業費 1		(C)=A+B	千円	10,596,546	11,333,623

財源内訳	財源総額 (D)		千円	10,596,546	11,333,623
	区の負担分 (E)		千円	3,263,465	3,140,708
	都の負担分		千円	2,476,843	2,756,065
	国の負担分		千円	4,851,627	5,436,850
	その他(介護給付費等返還金)		千円	4,611	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (F)	H24 599 H25 129	千円	34,143	7,482
------------------------	-----------------	----	--------	-------

利用(対象)者数一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H	円	134,285	134,459
対象者数(利用者数 2)延人数 (H)	人	79,165	84,346
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H	円	41,655	37,325

区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K	円	15,888	16,937
足立区の人口(4月1日現在) (K)	人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K	円	4,928	4,702

平成25年度の利用者数が5,181人増加したことにより、事業費総額が増加しました。利用者一人あたりの給付費も増加しているため、一人あたりの総コストが174円増加しました。財源内訳の区負担分は減少していますが、平成26年度に国庫負担金、都負担金の超過交付分を返還するため、確定額ではありません。

- 1 総事業費には、障がい者給付事業施行事務費を含みます。
- 2 利用者数は、実人数ではなく各種サービスの延人員数となっています。

# 生活保護事業における経費と財源

(福祉部 足立福祉事務所)

## 1 事業の概要

- (1) 福祉事務所の運営
- (2) 生活保護費給付事業施行事務  
生活保護法による要保護者等に対する訪問調査活動等
- (3) 生活保護費給付事業 (4) 若年層の就労支援事業 (5) 再就職支援事業

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度
経費内訳	事業費の総額 (A)	千円	46,604,484	47,740,364
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)	千円	2,499,792	2,522,866
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	290.0	295.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	37.0	33.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 0 H25 1,037	人	0.0	1.0
<b>総事業費 (C)=A+B</b>	<b>千円</b>	<b>49,104,276</b>	<b>50,263,230</b>	

財源内訳	財源総額 (D)	千円	49,104,276	50,263,230
	<b>区の負担分 (E)</b>	<b>千円</b>	<b>12,298,303</b>	<b>13,473,483</b>
	都の負担分	千円	1,129,162	1,086,348
	国の負担分	千円	35,217,377	35,164,859
	その他(返還金等)	千円	459,434	538,540

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (F)	H24 599 H25 129	千円	173,710	38,055
------------------------	-----------------	----	---------	--------

被保護者一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H	円	1,909,407	1,919,384
被保護者数 (H)	人	25,808	26,207
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H	円	483,262	515,570

区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K	円	73,648	75,122
足立区の人口(4月1日現在) (K)	人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K	円	18,640	20,179

事業費の総額(A)には、福祉事務所の運営分、H24=71,999千円、H25=79,903千円を加算しています。  
 従事職員数では、庶務係と援護担当を除いたものを生活保護担当職員としました。  
 庶務係は、文書管理・会計事務・福祉統計・庁舎管理等に従事し、援護担当は障がい者福祉・高齢者福祉に従事しているためです。常勤は所長を含みます。  
 総事業費(C)には法外援護を含み、生活保護以外の経費を可能な限り除外しています。  
 被保護者数(H)は各年度末時点の人数としました。

足立区の被保護者の割合(保護率)は、約3.9%です。仮に、以下の区と保護率が同じであるとした場合、単純計算で総事業費約503億円は次のようになります。  
 世田谷区の保護率(1.2%)なら約155億円、大田区の保護率(2.4%)なら約310億円、板橋区の保護率(3.6%)なら約464億円、台東区の保護率(4.8%)なら約619億円

生活保護担当職員のうちケースワーカーは203人で、一人あたり約90.9世帯を担当しています。仮に、国の基準である80世帯を担当するとした場合、さらに約28人のケースワーカー、人件費約2億2千8百万円が必要となります。



# 予防接種事業における経費と財源

(衛生部 保健予防課・保健総合センター)

## 1 事業の概要

予防接種事業は、感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために欠くことのできないものです。  
 予防接種は、契約医療機関で一人おひとりに個別接種することが基本ですが、種類によっては、各保健総合センターにおいて日時を指定したうえで集団接種を行うものもあります。  
 なお、これらと別に、足立区医師会館内で8月と12月を除く各月第3土曜日に予防接種外来を行っています。

## 2 経費と財源

項 目		単位	平成24年度	平成25年度
経費内訳	事業費の総額 (A)	千円	1,464,071	1,498,735
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)	千円	60,167	65,046
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	5.9	6.5
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	2.0	2.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 4,861 H25 5,235	人	5.0	5.0
総事業費 (C)=A+B		千円	1,524,238	1,563,781

財源内訳	財源総額 (D)	千円	1,524,238	1,563,781
	区の負担分 (E)	千円	1,320,690	1,502,054
	都の負担分	千円	183,906	29,016
	国の負担分	千円	0	0
	その他 (他区接種受託分)	千円	19,642	32,711

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (F)	H24	599	H25	129	千円	3,534	833
------------------------	-----	-----	-----	-----	----	-------	-----

利用(対象)者数一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H	円	6,527	7,654
対象者数(利用者数)延人数 (H)	人	234,057	204,430
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H	円	5,658	7,352

区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K	円	2,283	2,337
足立区の人口(4月1日現在) (K)	人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K	円	1,979	2,244

### 【対象予防接種(平成25年度)】

#### 定期予防接種(原則自己負担なし)

ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、ポリオ、BCG、二種混合、MR(麻しん、風しん)、日本脳炎、子宮頸がん

高齢者インフルエンザ・・・・・・自己負担 1接種につき 2,200円 1

#### 任意予防接種(原則自己負担あり)

MR任意・・・・・・自己負担なし

高齢者肺炎球菌ワクチン・・・・・・自己負担 1人につき 4,000円 1

水痘・・・・・・助成上限 1人につき 5,000円 2

先天性風しん症候群緊急対策・・・・自己負担 1人につき 3,000円 1、 3

1 生活保護等受給者は自己負担額免除

2 水痘は、接種後の申請による後払い、区内共通商品券にて対応

3 風しん単抗原ワクチンで接種した場合の自己負担

平成24年度と比較して、接種単価の低い高齢者肺炎球菌ワクチンの接種件数が大幅に減少し、接種単価の高いヒブ・小児用肺炎球菌の接種件数が増えたことにより、対象者数延人数は減少しましたが、事業費総額は増加しました。

平成25年度からヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチンが定期予防接種化され、都からの補助金が終了となったため、財源総額の区の負担分が増加しました。

# ごみ収集運搬事業における経費と財源

(環境部 ごみ減量推進課)

## 1 事業の概要

区民の生活環境の保全のため、ごみ(可燃・不燃・粗大)の収集・運搬を行っています。  
また、ごみの減量と適正処理のため分別の徹底及び排出指導を行い、集積所の美化対策にも努めています。

## 2 経費と財源

		項 目				単位	平成24年度	平成25年度	
経費内訳	事業費の総額 (A)						千円	1,722,448	1,715,603
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)						千円	1,430,368	1,358,976
	従事職員数:常勤	単価(千円)	H24	8,165	H25	8,150	人	154.6	145.7
	従事職員数:非常勤	単価(千円)	H24	3,566	H25	3,563	人	29.0	29.0
	従事職員数:臨時職員	総額(千円)	H24	64,645	H25	68,194	人	308.0	309.0
総事業費 (C)=A+B						千円	3,152,816	3,074,579	
財源内訳	財源総額 (D)						千円	3,152,816	3,074,579
	区の負担分 (E)						千円	2,770,572	2,675,563
	都の負担分						千円	0	0
	国の負担分						千円	0	0
	その他(有料ごみ処理券等)						千円	382,244	399,016
退職給付費用(1年勤務で増額する額)(F)		H24	599	H25	129	千円	92,605	18,795	
利用(対象)者数一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H						円	4,850	4,620	
対象者数(利用者数) (H)						人	669,097	669,592	
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H						円	4,279	4,024	
区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K						円	4,850	4,620	
足立区の人口(4月1日現在) (K)						人	669,097	669,592	
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K						円	4,279	4,024	

### 【平成25年度実績】

収集形態：可燃ごみ(収集回数：週3回)  
不燃ごみ(収集回数：月2回)  
粗大ごみ(収集曜日：月曜日～日曜日)・その他粗大自己持込制度

集積所数：約23,000箇所

区収集量： 可燃 不燃 粗大(粗大自己持込含む)

25年度 134,316 t 3,805 t 4,420 t

24年度 136,600 t 4,066 t 4,403 t

増減 2,284 t 261 t 17 t

不燃ごみ・粗大ごみを徹底して選別し、資源として有効活用することにより、ごみ減量に努めています。

# 児童・生徒の就学援助事業における経費と財源

(学校教育部 学務課)

## 1 事業の概要

(1) 経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の必要な費用を援助し、義務教育の円滑化を図っています。

(2) 「就学が困難な児童生徒」とは、要保護者(生活保護受給世帯)及び準要保護者(生活保護基準の1.1倍以内の所得世帯)の児童生徒をいいます。

[対象者及び援助費目]  
 要保護世帯の保護者/修学旅行費・校外活動費・卒業記念アルバム費・自然教室費・医療費(学校病のみ)  
 準要保護世帯の保護者/学用品通学用品費・新入学児童生徒学用品費等・学校給食費・修学旅行費・校外活動費・卒業記念アルバム費・自然教室費・体育実技用具費・医療費(学校病のみ)・通学費(特別支援学級のみ)

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度
経費内訳	事業費の総額 (A)	千円	1,478,764	1,417,582
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)	千円	42,112	42,081
	従事職員数:常勤 単価(千円) H24 8,165 H25 8,150	人	5.0	5.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円) H24 3,566 H25 3,563	人	0.0	0.0
	従事職員数:臨時職員 総額(千円) H24 1,287 H25 1,331	人	3.0	3.0
総事業費 (C)=A+B		千円	1,520,876	1,459,663

財源内訳	財源総額 (D)	千円	1,520,876	1,459,663
	区の負担分 (E)	千円	1,512,877	1,452,684
	都の負担分	千円	0	0
	国の負担分	千円	7,999	6,979
	その他 ( )	千円	0	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額) (F)	H24	599	H25	129	千円	2,995	645
------------------------	-----	-----	-----	-----	----	-------	-----

受給児童・生徒一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H	円	84,182	84,279
就学援助対象児童・生徒数 (H)	人	18,102	17,327
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H	円	83,741	83,877

区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K	円	2,278	2,181
足立区の人口(4月1日現在) (K)	人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K	円	2,266	2,170

平成25年5月1日現在区立小中学校児童・生徒数 45,614人 受給割合 37.99%  
 (普通学級 四中夜間除く + 特別支援学級・固定)

- 1 小学校費 688,623,833円  
 中学校費 721,486,408円  
 庶務事務 7,471,674円(庶務事務決算額から臨時職員の賃金を除いたもの、賃金は2で積算)
- 2 常勤(@8,150千円×5) + 臨時職員(1,331千円)
- 3 係長以外の担当者数(事務事業評価では4.46名)
- 4 国庫補助金  
 (中:要保護修学旅行費、小・中:東京都被災児童生徒就学援助支援等事業補助金)
- 5 校外活動費支給者数 17,327人(小10,769人+中6,558人)

# 幼稚園等保護者補助事業における経費と財源

(子ども家庭部 子ども家庭課)

## 1 事業の概要

私立幼稚園等に通園する園児保護者の経済的負担を軽減するために、「私立幼稚園児保護者負担軽減」および「幼稚園就園奨励」の2事業により、所得に応じて入園料と保育料の一部を補助しています。区民のみなさんが安心して子育てができるよう、また幼児期の教育が充実するよう応援し、公・私立幼稚園の格差是正と幼児教育の振興を図っています。

これまで「私立幼稚園児保護者負担軽減」の経費・財源等だけ記載していましたが、平成25年度から「就園奨励費補助」の経費等も本表に加えることとし、本表の平成24年度の経費も両事業合わせたものとしたしました。

## 2 経費と財源

項目		単位	平成24年度	平成25年度
経費内訳	事業費の総額 (A)	千円	1,951,550	1,966,469
	平均年間人件費 1人あたり単価(千円) (B)	千円	9,948	9,932
	従事職員数:常勤 単価(千円)	人	1.0	1.0
	従事職員数:非常勤 単価(千円)	人	0.5	0.5
	従事職員数:臨時職員 総額(千円)	人	0.0	0.0
総事業費 (C)=A+B		千円	1,961,498	1,976,401

財源内訳	財源総額 (D)	千円	1,961,498	1,976,401
	区の負担分 (E)	千円	1,406,491	1,434,145
	都の負担分	千円	424,273	401,466
	国の負担分	千円	130,533	140,790
	その他(返還金)	千円	201	0

退職給付費用(1年勤務で増額する額)(F)	H24	599	H25	129	千円	599	129
-----------------------	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----

対象園児一人あたりの総コスト (G)=(C+F)/H	円	202,633	200,806
対象園児数 (H)	人	9,683	9,843
(G)のうち区の支出額 (I)=(E+F)/H	円	145,316	145,715

区民一人あたりの総コスト (J)=(C+F)/K	円	2,932	2,952
足立区の人口(4月1日現在) (K)	人	669,097	669,592
(J)のうち区の支出額 (L)=(E+F)/K	円	2,103	2,142

### 補助金の種類及び限度額(25年度)

#### 保育料補助金(月額)【私立園】

3,500円～38,567円

課税状況、保育料、子どもの数・年齢構成などにより補助額が変動します。

#### 保育料補助金(月額)【区立園】

1,819円～6,000円

課税状況、保育料、子どもの数・年齢構成などにより補助額が変動します。

#### 入園料補助金(年額)

50,000円～100,000円

課税状況、入園料により補助額が変動します。



# 財務報告書（平成25年度）

平成26年9月発行

発行 足立区

編集 足立区政策経営部財政課

〒120-8510

足立区中央本町一丁目17番1号

電話 (03)3880-5814(直通)

FAX (03)3880-5610